

大田原市
こども・子育て支援に関するアンケート調査

結果報告書

令和6年9月
大 田 原 市

目 次

調査の概要	1
調査の目的	1
調査の方法	1
報告書の留意点	2
就学前児童保護者調査 集計結果	3
子どもと家族の状況について	3
母親の就労状況について	6
父親の就労状況について	11
教育・保育事業の利用状況について	17
地域の子育て支援拠点事業の利用状況について	24
子どもの病気の際の対応について	27
子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方について	30
子どもの育ちを巡る環境について	32
子育て支援について	35
小学生児童保護者調査 集計結果	40
子どもと家族の状況について	40
母親の就労状況について	43
父親の就労状況について	48
子どもの放課後の過ごし方について	53
子どもの病気の際の対応（一時預かり）について	56
子どもの育ちを巡る環境について	60
子育て支援について	63
妊産婦調査 集計結果	69
子どもの状況について	69
母親学級（プレママ教室）・両親学級について	71
困りごとや相談先等について	73
就労状況について	76
教育・保育の事業や地域の子育て支援事業について	80
子育て情報について	90
配偶者（パートナー）について	93
あなたご自身のことについて	95

調査の概要

調査の目的

本調査は、「第3期大田原市子ども・子育て支援事業計画」の策定のための基礎資料とすること、また市民の皆さまの子育て環境、教育・保育の利用状況及び利用希望、子育て支援に関するご意見などを把握することを目的に実施しました。

調査の方法

(1) 調査対象

就学前児童保護者調査：市内在住の0～5歳のお子さんの保護者

小学生児童保護者調査：市内在住の6～11歳のお子さんの保護者

妊産婦調査：市内在住の母子健康手帳交付者

(2) 調査期間

令和6年4月26日～令和6年5月14日

(3) 調査方法

調査票配付方法：郵送配付

調査票回収方法：郵送回収またはWEBによる回答

(4) 配付・回収状況

	配付数	有効回収数			有効回収率
		郵送	WEB	合計	
就学前児童保護者調査	2,000 票	570 票	307 票	877 票	43.9%
小学生児童保護者調査	2,300 票	670 票	323 票	993 票	43.2%
妊産婦調査	206 票	73 票	40 票	113 票	54.9%
合計	4,506 票	1,313 票	670 票	1,983 票	44.0%

報告書の留意点

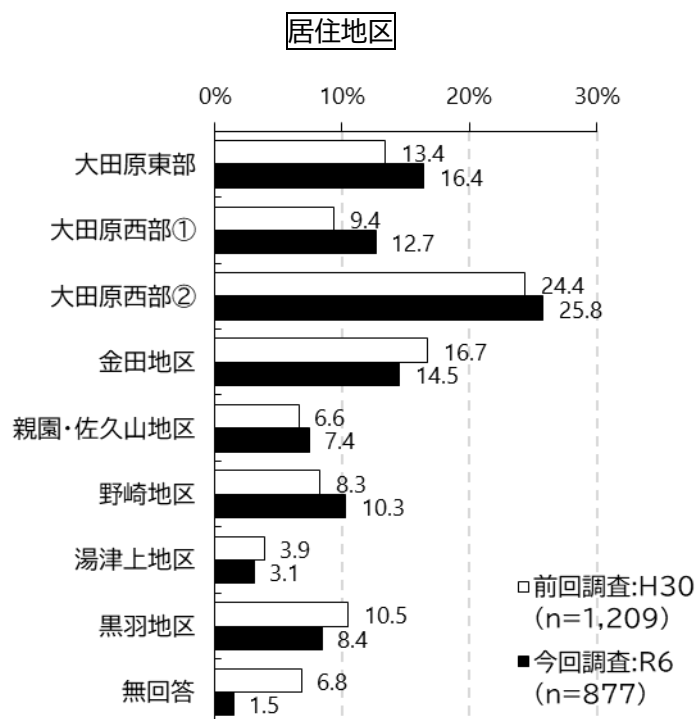
- 「集計結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n（Number of case）」は、その設問の回答者数で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当設問においては該当者数）を 100%として算出し、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを表記します。そのため、割合の合計が 100%にならない場合があります。
- 複数回答（2 つ以上選ぶ問）の設問では、すべての割合の合計が 100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表します。
- 図表の記載にあたり調査票の設問文、グラフ及び文章中の選択肢を一部簡略化している場合があります。

就学前児童保護者調査 集計結果

子どもと家族の状況について

問1 お住まいの地区はどちらですか。

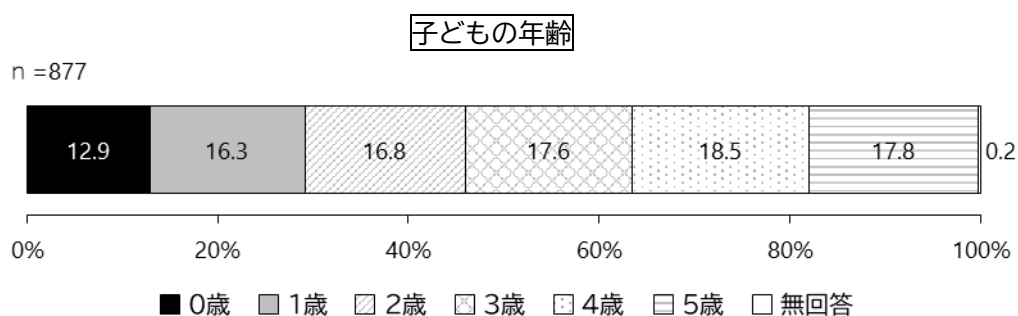
居住地区は「大田原西部②」が25.8%、「大田原東部」が16.4%、「金田地区」が14.5%となっています。



選択肢	行政区
1. 大田原東部	山の手、城山、元町、新富町、中央1丁目、若松町、富士見、若草
2. 大田原西部①	中央2丁目、住吉町、紫塚、本町
3. 大田原西部②	末広、美原、浅香、加治屋
4. 金田地区	中田原、町島、荒井、岡、今泉、戸野内、富池、市野沢、練貫、羽田、乙連沢、小滝、北金丸、南金丸、上奥沢、奥沢、鹿畑、倉骨、赤瀬、北大和久
5. 親園・佐久山地区	親園、実取、滝沢、滝岡、花園、宇田川、荻野目、佐久山、藤沢、大神、福原
6. 野崎地区	上石上、下石上、薄葉、平沢、野崎
7. 湯津上地区	狭原、小船渡、湯津上、佐良土、蛭畑、蛭田、新宿、片府田
8. 黒羽地区	黒羽田町、前田、堀之内、北野上、八塩、北滝、片田、亀久、矢倉、黒羽向町、大豆田、余瀬、蜂巣、桧木沢、寒井、中野内、河原、両郷、寺宿、木佐美、大久保、久野又、大輪、川田、須佐木、須賀川、雲岩寺、川上、南方

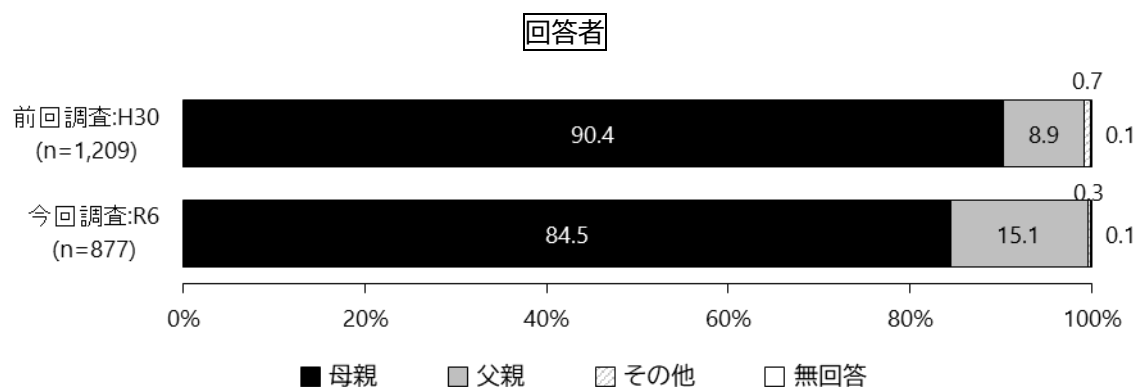
問2 宛名のお子さんの年齢は何歳ですか。(令和6年4月2日時点)

子どもの年齢は「3歳」、「4歳」、「5歳」がやや多くなっています。



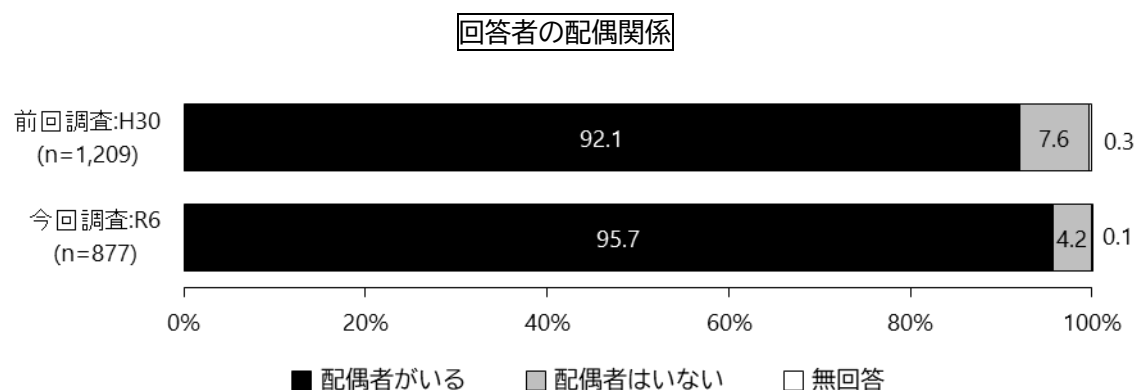
問3 この調査にご回答いただく方はどなたですか。

回答者は「母親」が84.5%、「父親」が15.1%となっています。



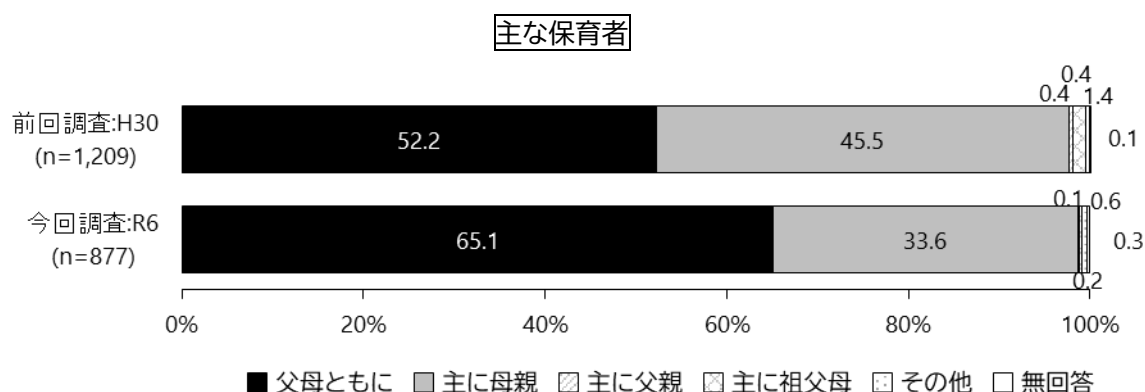
問4 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。

回答者の配偶関係は「配偶者がいる」が95.7%、「配偶者はいない」が4.2%となっています。



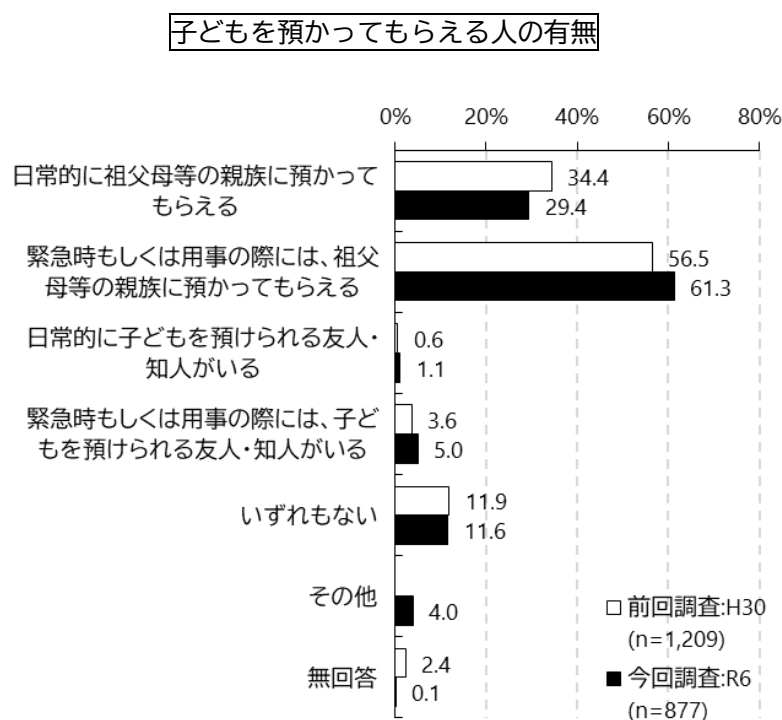
問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

主な保育者は「父母ともに」が 65.1%、「主に母親」が 33.6%となっています。



問6 日頃、宛名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。（複数回答）

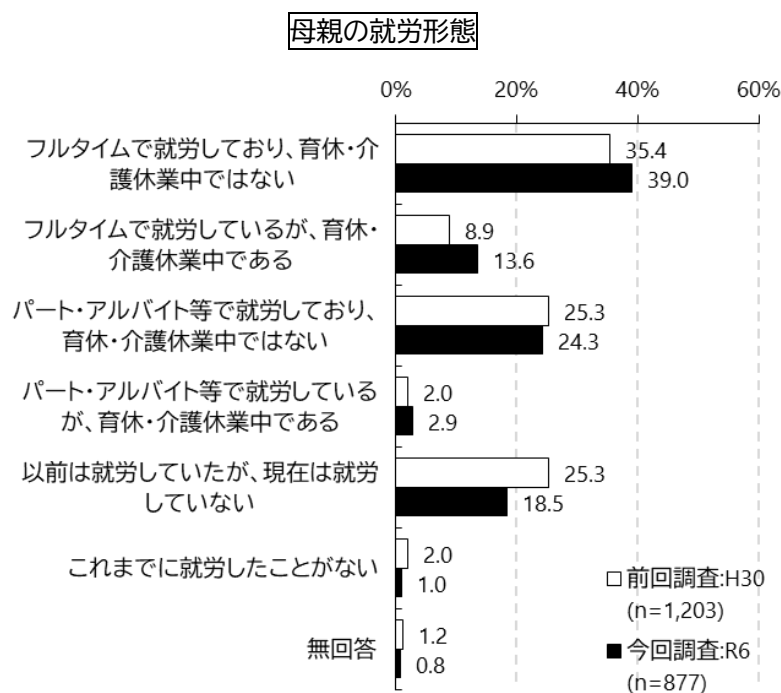
子どもを預かってもらえる人の有無は「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる」が 61.3%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が 29.4%となっています。また、「いずれもない」は 11.6%となっています。



母親の就労状況について

問7 現在の就労形態（自営業、家族従業者含む）について、お答えください。

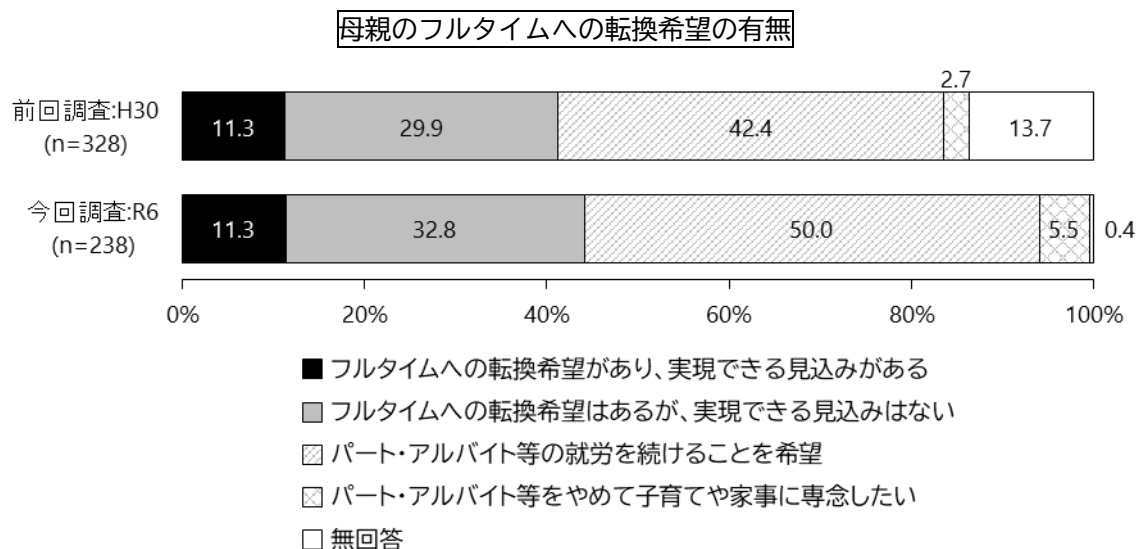
母親の就労形態は「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が39.0%、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が24.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が18.5%となっています。



問7で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で就労）を選んだ方

問7-1 フルタイムへの転換希望はありますか。

母親のフルタイムへの転換希望は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が50.0%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が32.8%となっています。



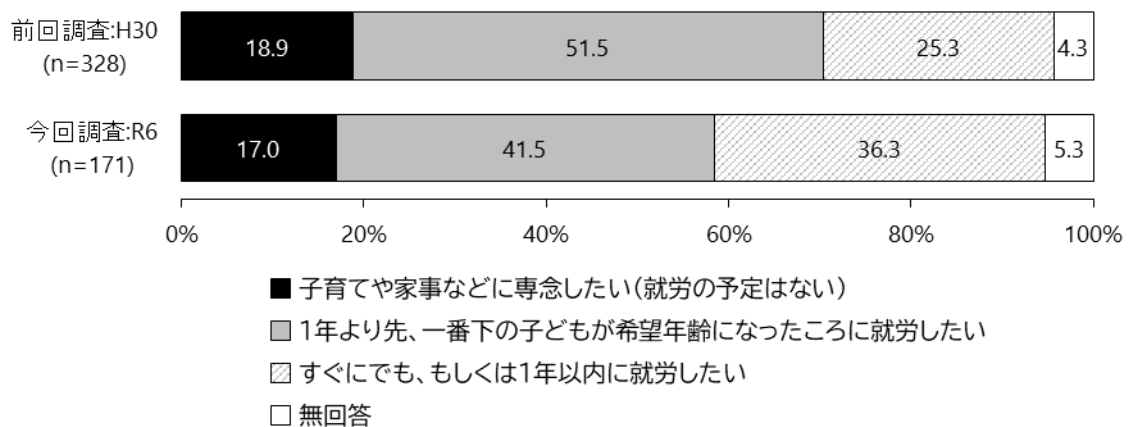
問7で「5.」「6.」（就労していない／就労したことがない）を選んだ方

問7-2 今後の就労意向をおうかがいします。

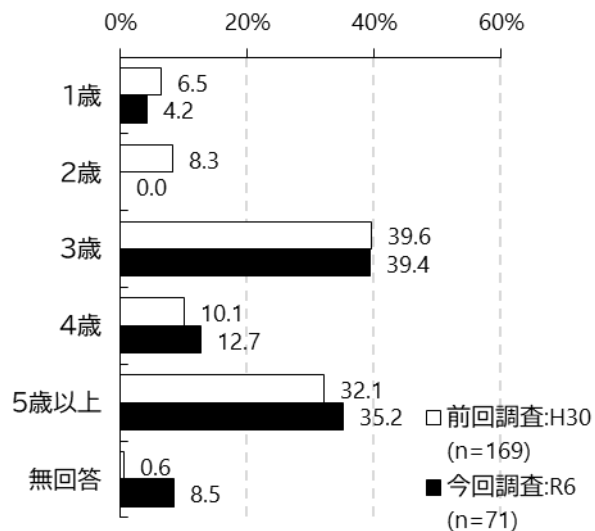
母親の今後の就労意向は「1年より先、一番下の子どもが希望年齢になったところに就労したい」が41.5%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が36.3%となっています。

「1年より先、一番下の子どもが希望年齢になったところに就労したい」を選んだ人の希望する時期は、末子の年齢が「3歳」が39.4%、「5歳以上」が35.2%となっています。

母親の今後の就労意向の有無



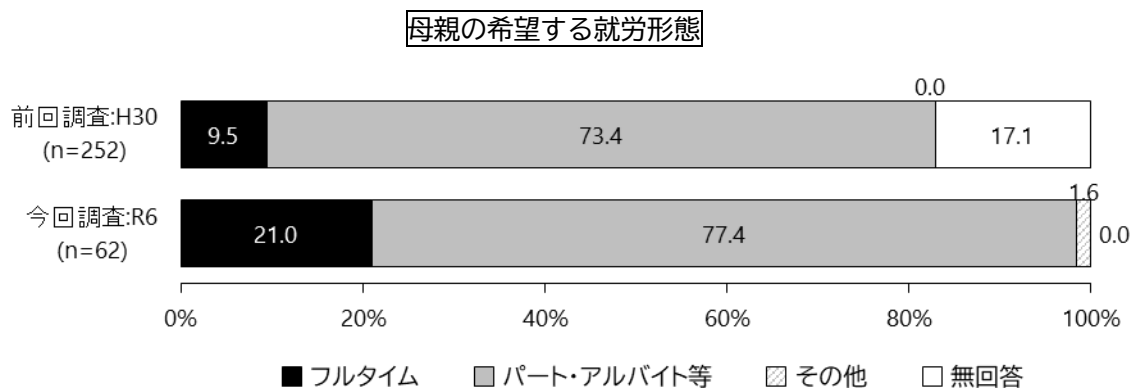
母親の希望する就労時期（末子の子どもの年齢）



問7-2で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方

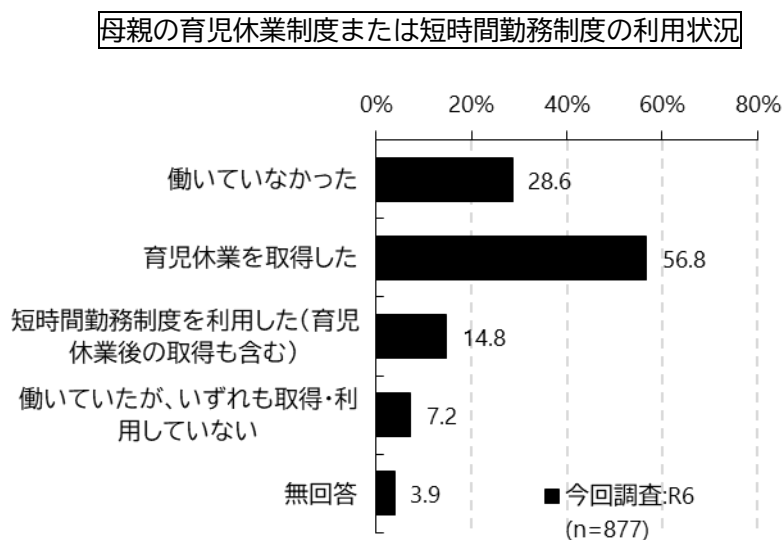
問7-3 希望する就労形態をお答えください。

母親の希望する就労形態は「パート・アルバイト等」が77.4%、「フルタイム」が21.0%となっています。



問8 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業制度または短時間勤務制度を利用しましたか。(複数回答)

母親の育児休業制度または短時間勤務制度の利用状況は「育児休業を取得した」が56.8%と最も多く、次いで「働いていなかった」が28.6%、「短時間勤務制度を利用した（育児休業後の取得も含む）」が14.8%となっています。



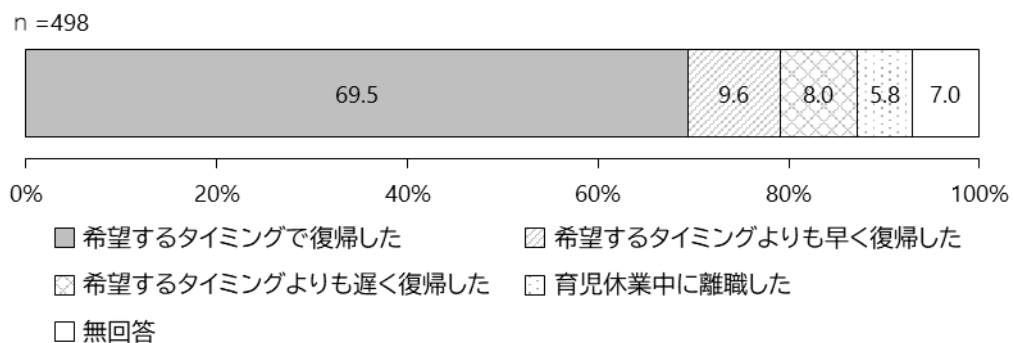
問8で「2. 育児休業を取得した」を選んだ方

問8-1 育児休業後、職場に復帰しましたか。

母親の育児休業後の職場復帰の状況は「希望するタイミングで復帰した」が69.5%、「希望するタイミングよりも早く復帰した」が9.6%、「希望するタイミングよりも遅く復帰した」が8.0%、「育児休業中に離職した」が5.8%となっています。

早く復帰した理由の記述内容は「保育園の都合」、「職場の都合、プレッシャー」、「経済的理由」が多く、遅く復帰した理由の記述内容は「保育園に入れなかったため」、「コロナ禍のため」が多く、離職した理由の記述内容は「自身の転職、夫の転勤」、「コロナ禍による会社の人員整理のため」、「家庭の事情」等が多くなっています。

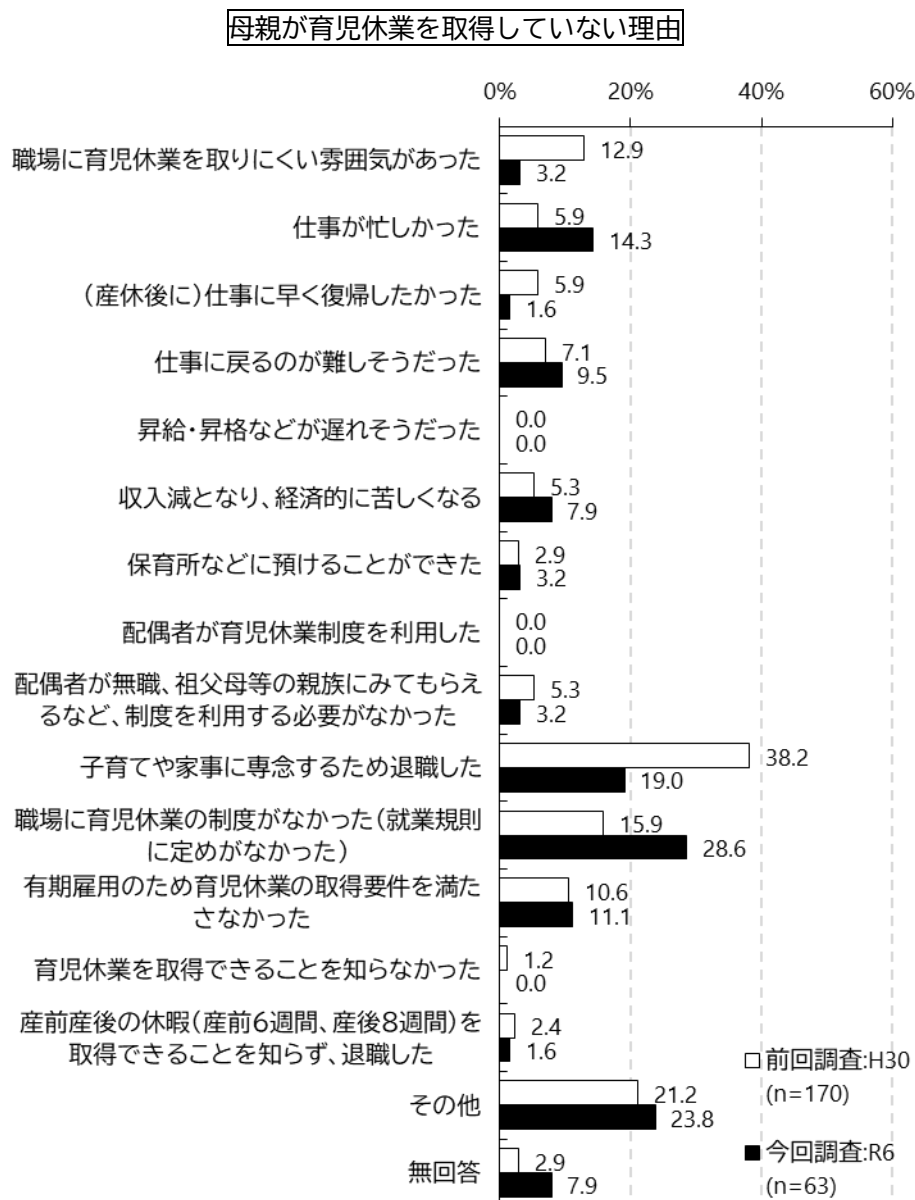
母親の育児休業後の職場復帰の状況



問8で「4. 働いていたが、いずれも取得・利用していない」を選んだ方

問8-2 育児休業を取得していない主な理由をお答えください。(複数回答)

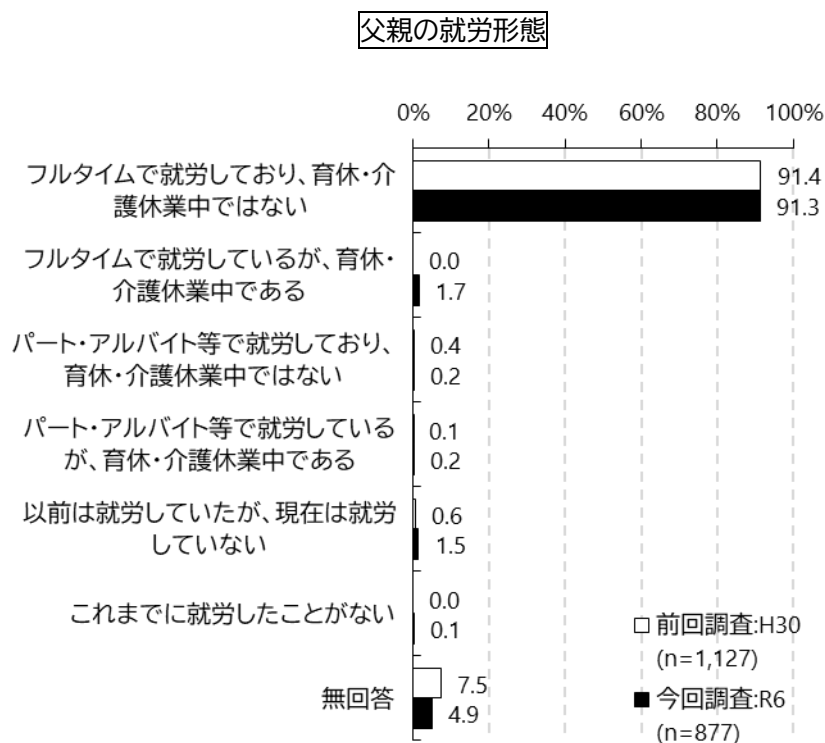
母親が育児休業を取得していない理由は「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が28.6%と最も多く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が19.0%、「仕事が忙しかった」が14.3%となっています。また、「その他」は23.8%で、記述の内容は「自営業のため」、「アルバイトだったため」等が多くなっています。



父親の就労状況について

問9 現在の就労形態（自営業、家族従業者含む）について、お答えください。

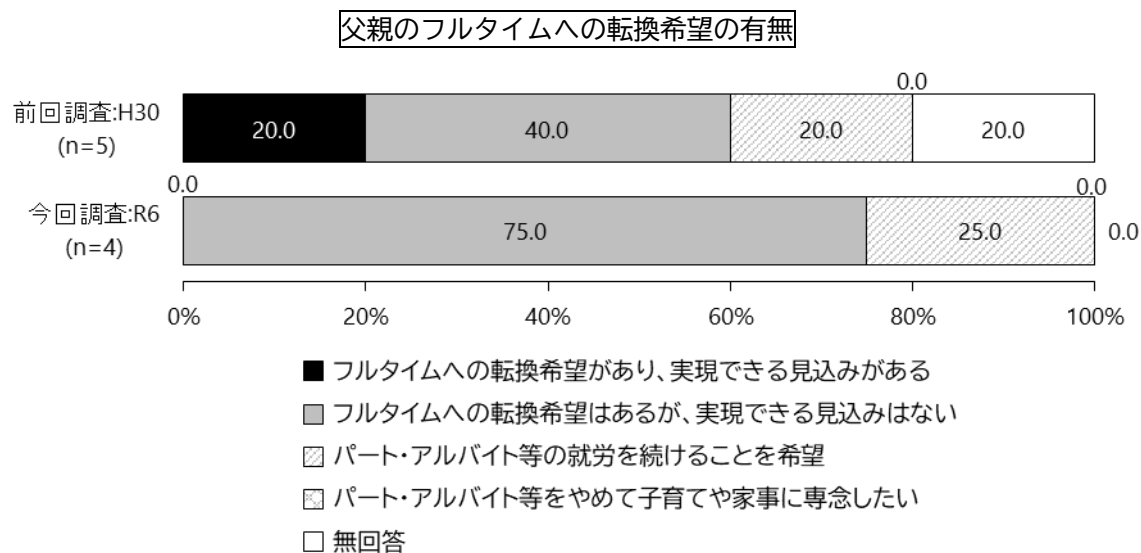
父親の就労形態は「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が91.3%と多くを占めています。



問9で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で就労）を選んだ方

問9-1 フルタイムへの転換希望はありますか。

父親のフルタイムへの転換希望は4件中「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が3件、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が1件となっています。

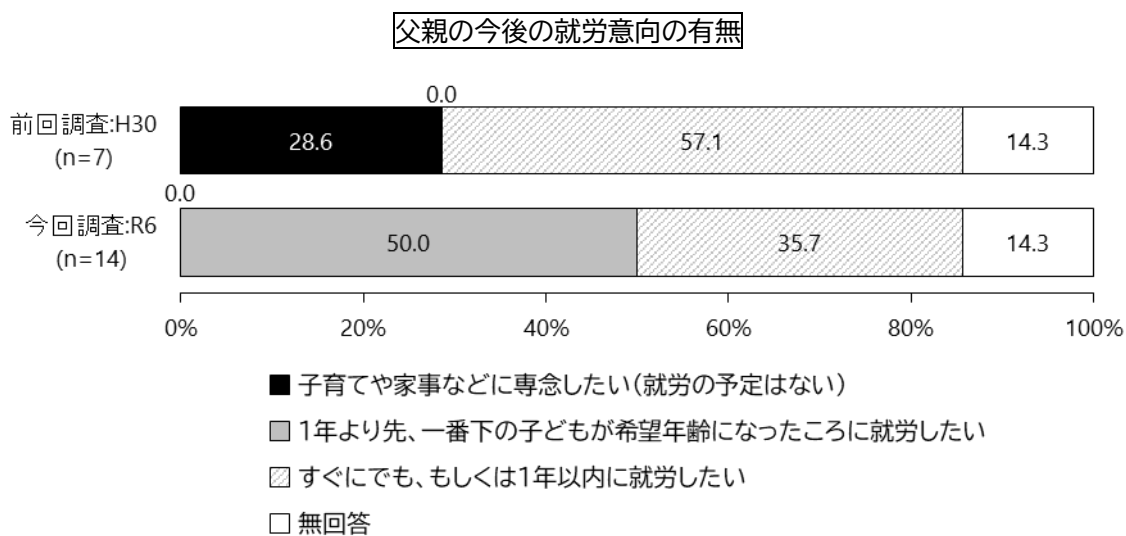


問9で「5.」「6.」（就労していない／就労したことがない）を選んだ方

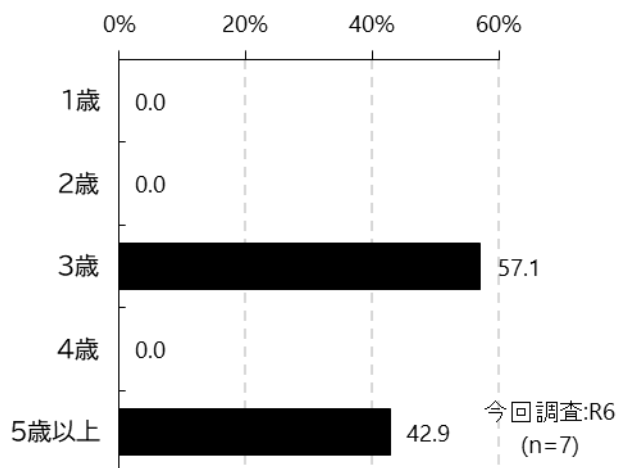
問9-2 今後の就労意向をおうかがいします。

父親の今後の就労意向は「1年より先、一番下の子どもが希望年齢になったところに就労したい」が50.0%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が35.7%となっています。

「1年より先、一番下の子どもが希望年齢になったところに就労したい」を選んだ人の希望する時期は、末子の年齢が「3歳」が57.1%、「5歳以上」が42.9%となっています。



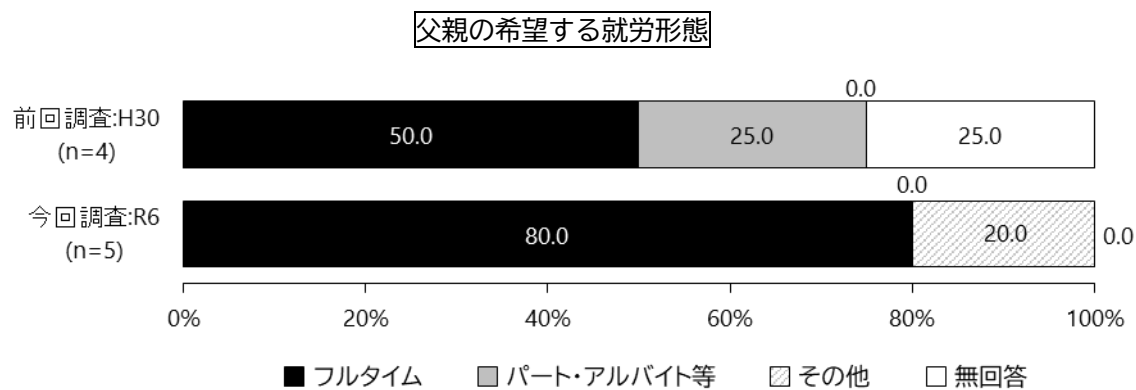
父親の希望する就労時期（末子の子どもの年齢）



問9-2で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方

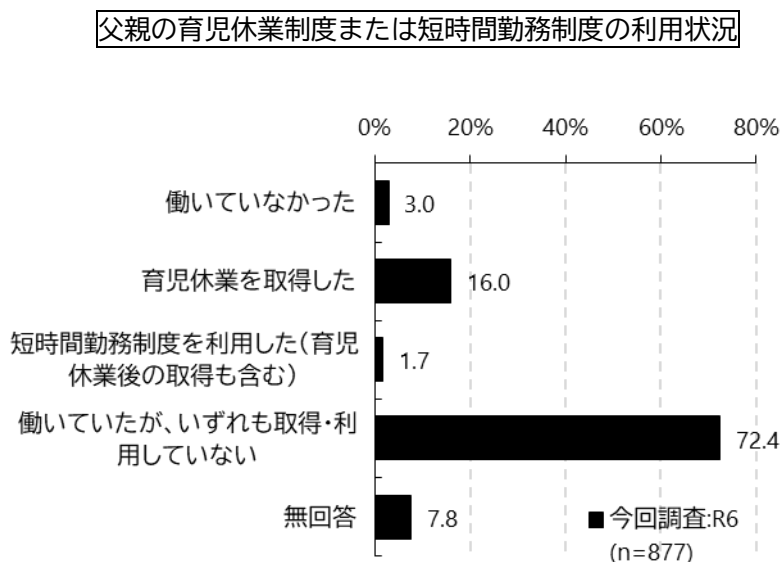
問9-3 希望する就労形態をお答えください。

父親の希望する就労形態は5件中「フルタイム」が4件、「その他」が1件となっています。



問10 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業制度または短時間勤務制度を利用しましたか。(複数回答)

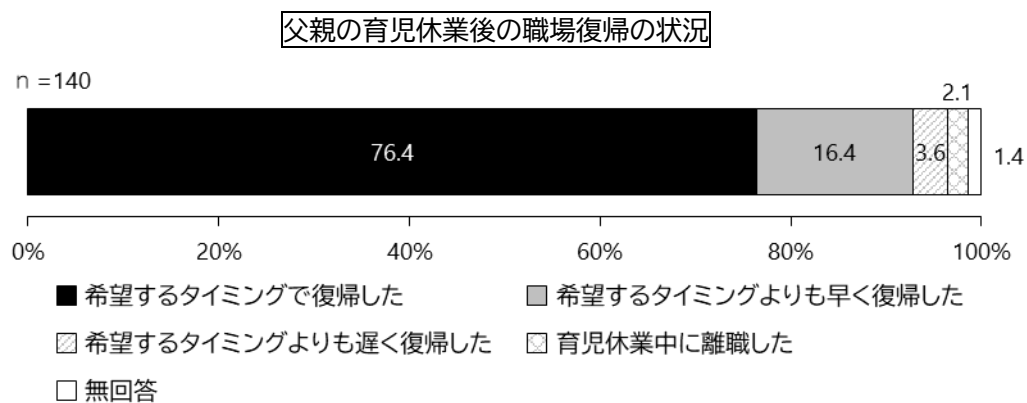
父親の育児休業制度または短時間勤務制度の利用状況は「働いていたが、いずれも取得・利用していない」が72.4%と多くを占め、「育児休業を取得した」は16.0%となっています。



問 10 で「2. 育児休業を取得した」を選んだ方

問10-1 育児休業後、職場に復帰しましたか。

父親の育児休業後の職場復帰の状況は「希望するタイミングで復帰した」が76.4%、「希望するタイミングよりも早く復帰した」が16.4%となっています。早く復帰した理由の記述内容は「職場の都合（人員不足など）」が多くなっています。

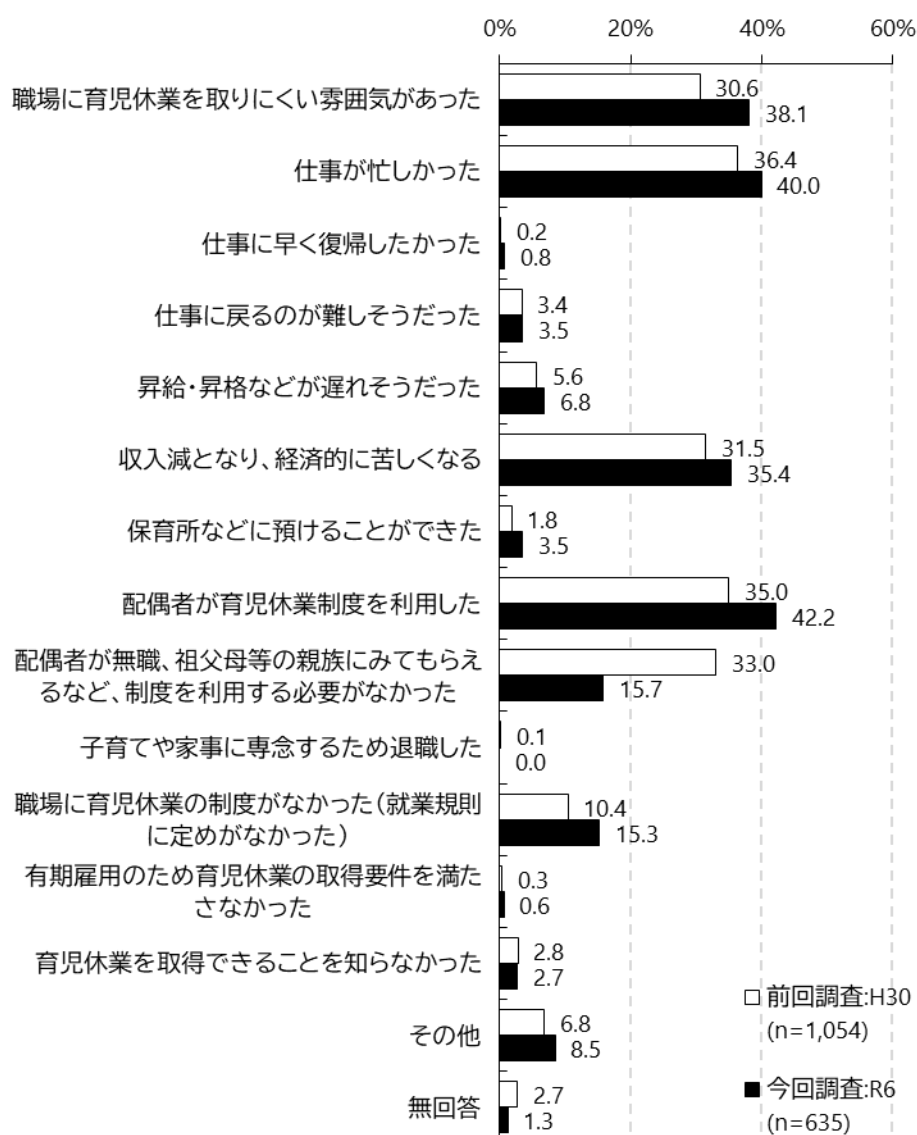


問10で「4. 働いていたが、いずれも取得・利用していない」を選んだ方

問10-2 育児休業を取得していない主な理由をお答えください。(複数回答)

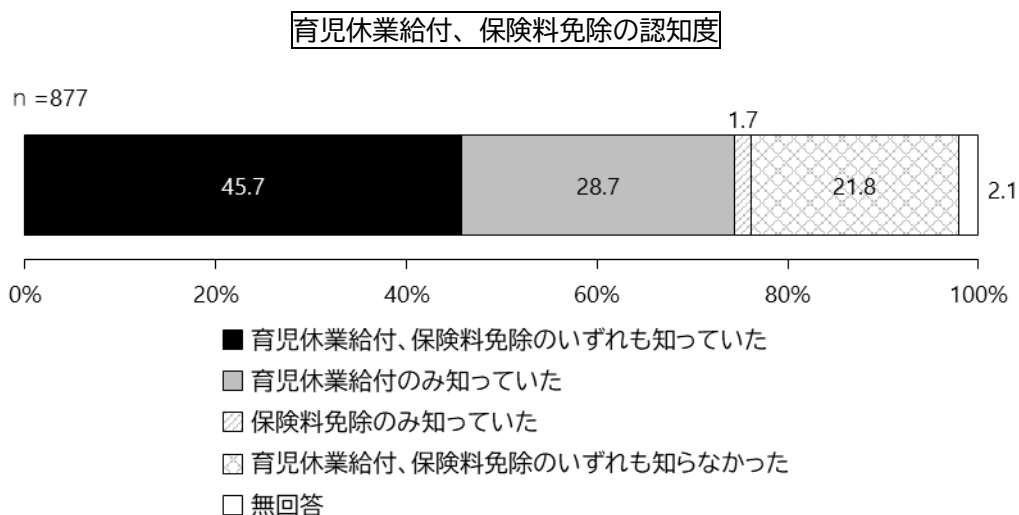
父親が育児休業を取得していない理由は「配偶者が育児休業制度を利用した」が42.2%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が40.0%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が38.1%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が35.4%となっています。また、「その他」は8.5%で、記述の内容は「自営業のため」、「前例がなかったため」等が多くなっています。

父親が育児休業を取得していない理由



問11 育児休業を取得した場合に、お子さんが1歳になるまで「育児休業給付」が支給される制度や、お子さんが満3歳になるまでの育児休業などの期間は、「健康保険及び厚生年金保険料が免除（保険料免除）」になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

育児休業給付、保険料免除の認知度は「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が45.7%、「育児休業給付のみ知っていた」が28.7%となっています。「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」は21.8%となっています。

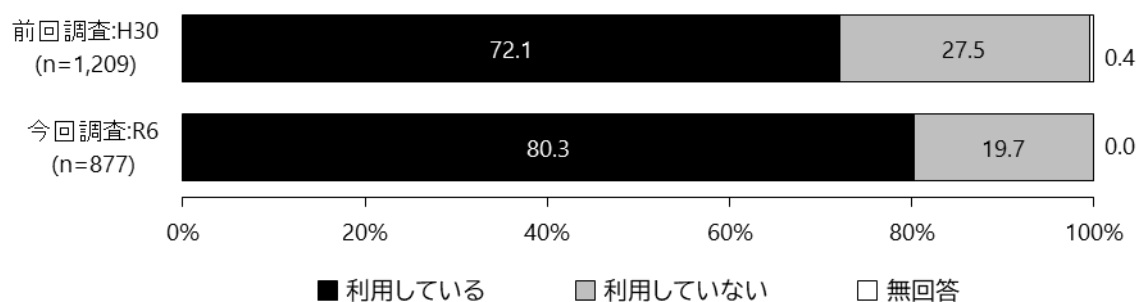


教育・保育事業の利用状況について

問12 宛名のお子さんは現在、平日に幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況は「利用している」が80.3%、「利用していない」が19.7%となっています。

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

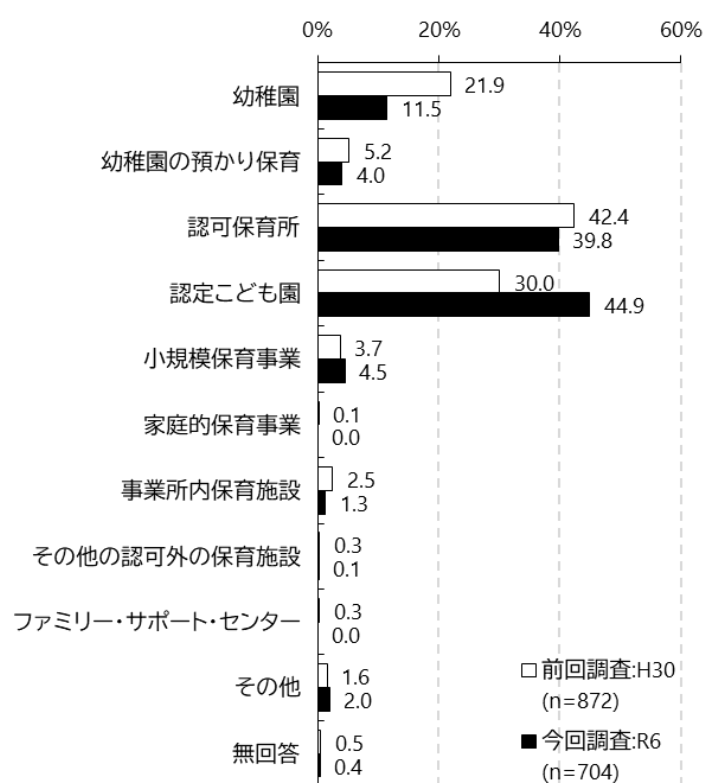


問12で「1. 利用している」を選んだ方

問12-1 宛名のお子さんは現在、平日にどのような事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(複数回答)

平日に利用している教育・保育事業は「認定こども園」が44.9%と最も多く、次いで「認可保育所」が39.8%、「幼稚園」が11.5%となっています。

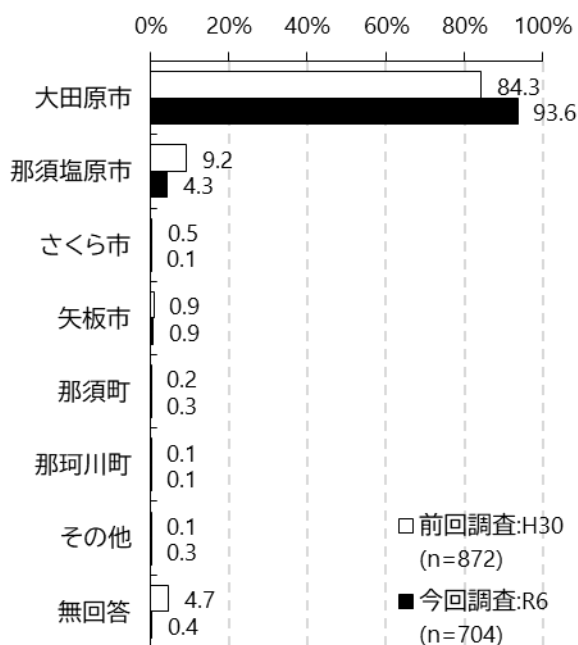
平日に利用している教育・保育事業



問12-2 現在利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。

教育・保育事業の実施場所は「大田原市」が93.6%と多くを占めています。

教育・保育事業の実施場所

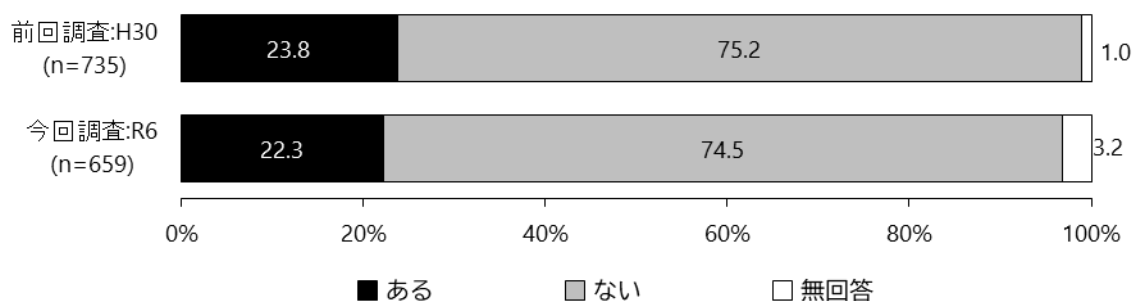


問12-2で「1. 大田原市」を選んだ方

問12-3 宛名のお子さんが利用している教育・保育施設は、改修・増改築の必要があると思いますか。

市の教育・保育施設の改修・増改築の必要性は「ある」が22.3%、「ない」が74.5%となっています。

市の教育・保育施設の改修・増改築の必要性

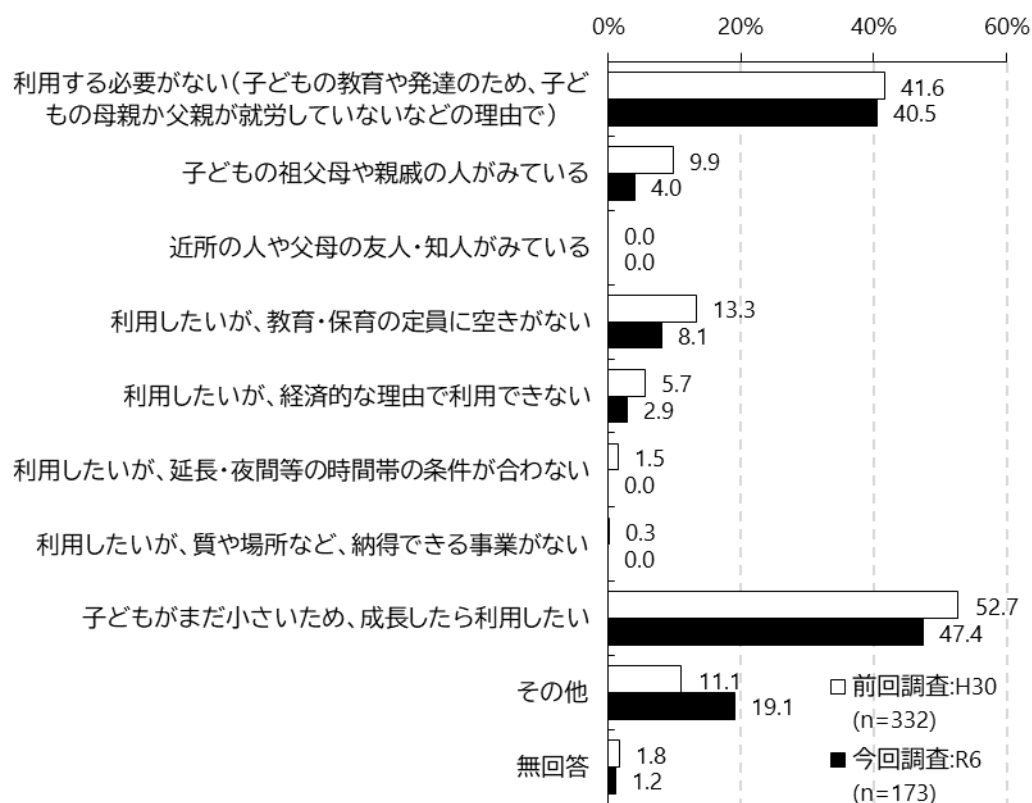


問12で「2. 利用していない」を選んだ方

問12-4 定期的な教育・保育事業を利用していない主な理由は何ですか。(複数回答)

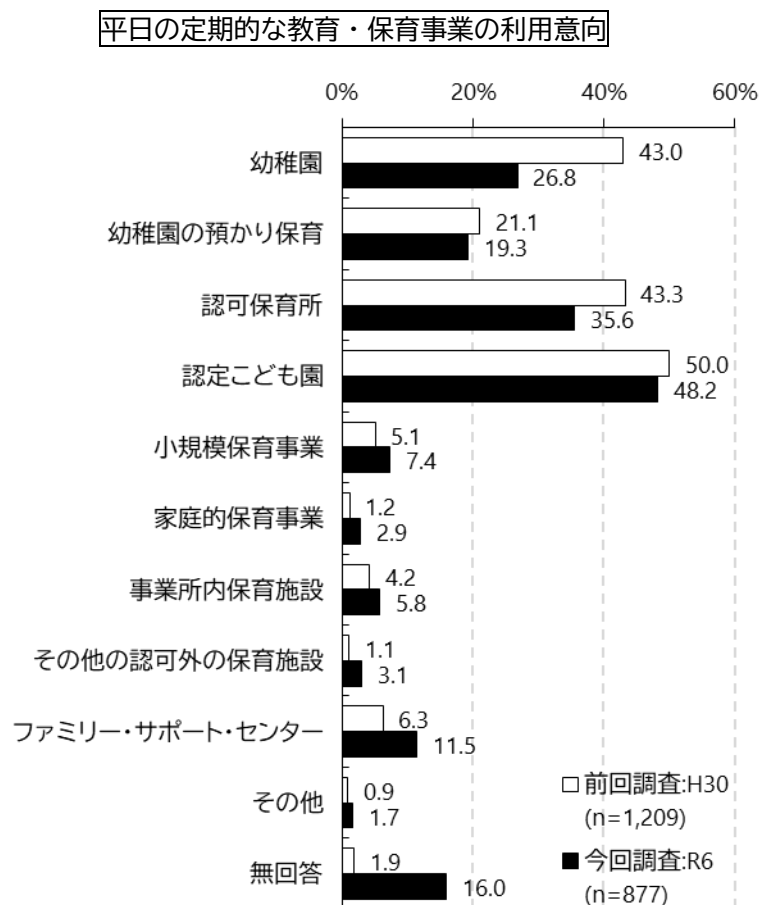
定期的な教育・保育事業を利用していない理由は「子どもがまだ小さいため、成長したら利用したい」が47.4%と最も多く、次いで「利用する必要がある(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)」が40.5%となっています。また、「その他」は19.1%で、記述の内容は「育休中のため」、「これから利用予定のため」等が多くなっています。

定期的な教育・保育事業を利用していない理由



問13 宛名のお子さんの現在の利用状況にかかわらず、今後平日に、定期的に利用したい事業は何ですか。（複数回答）

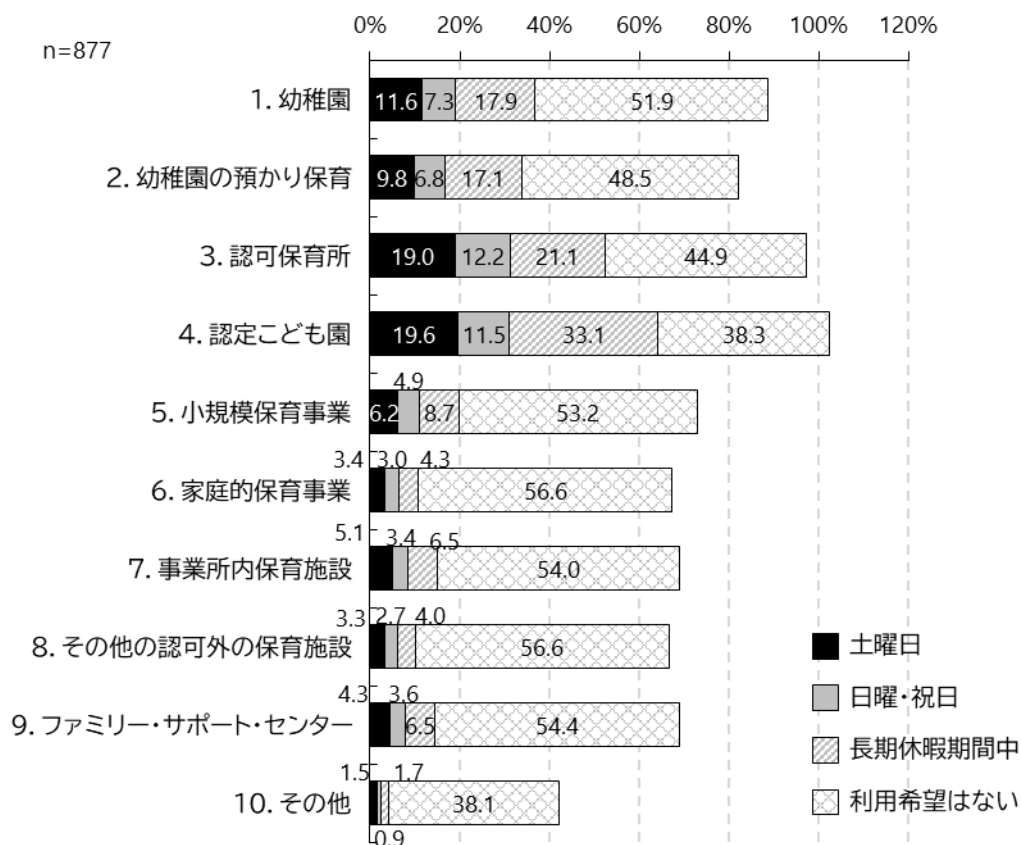
平日の定期的な教育・保育事業の利用意向は「認定こども園」が48.2%と最も多く、次いで「認可保育所」が35.6%、「幼稚園」が26.8%となっています。



問14 宛名のお子さんについて、今後、利用が可能であれば土曜日、日曜・祝日、お子さんの長期休暇期間中、「定期的に」以下の事業を利用したいですか。(複数回答)

土曜日・日曜祝日・長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の利用意向は「土曜日」、「長期休暇期間中」は「4. 認定こども園」が最も多く、「日曜・祝日」は「3. 認可保育所」が最も多くなっています。

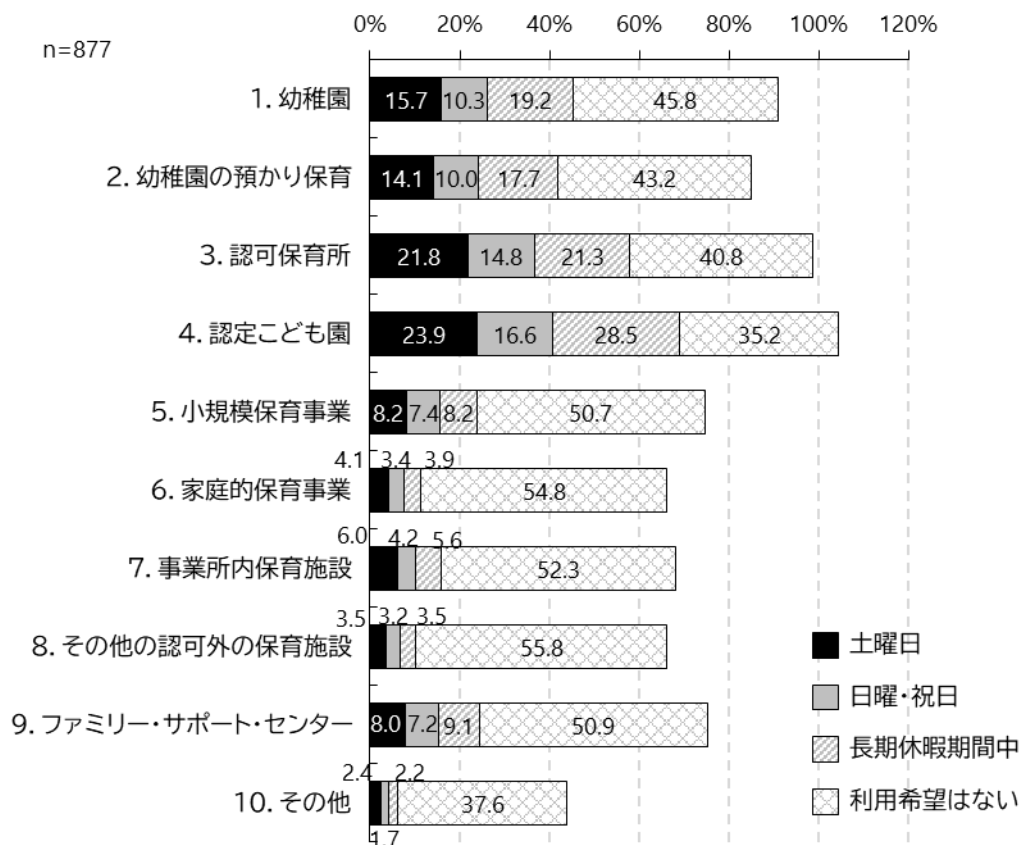
土曜日・日曜祝日・長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の利用意向



問15 宛名のお子さんについて、今後、利用が可能であれば土曜日、日曜・祝日、お子さんの長期休暇期間中、「不定期に」以下の事業を利用したいですか。（複数回答）

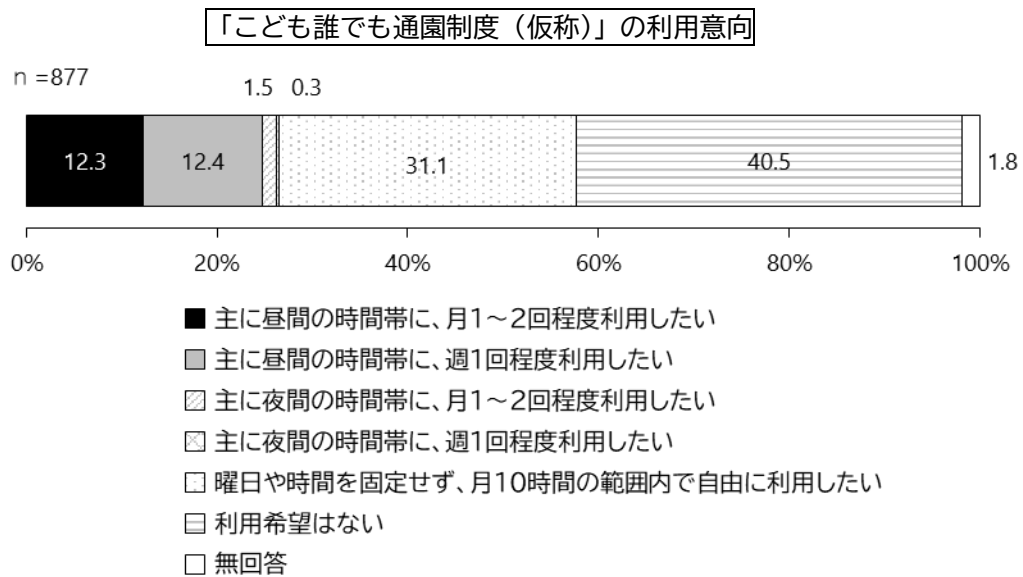
土曜日・日曜祝日・長期休暇期間中の不定期な教育・保育事業の利用意向は「土曜日」、「日曜・祝日」、「長期休暇期間中」ともに「4. 認定こども園」が最も多くなっています。

土曜日・日曜祝日・長期休暇期間中の不定期な教育・保育事業の利用意向



問16 国は現在、2024年度からの「こども誰でも通園制度（仮称）」の本格実施を検討しています。仮に本制度が大田原市で実施され、月10時間まで利用できるとしたら、利用したいと思いますか。

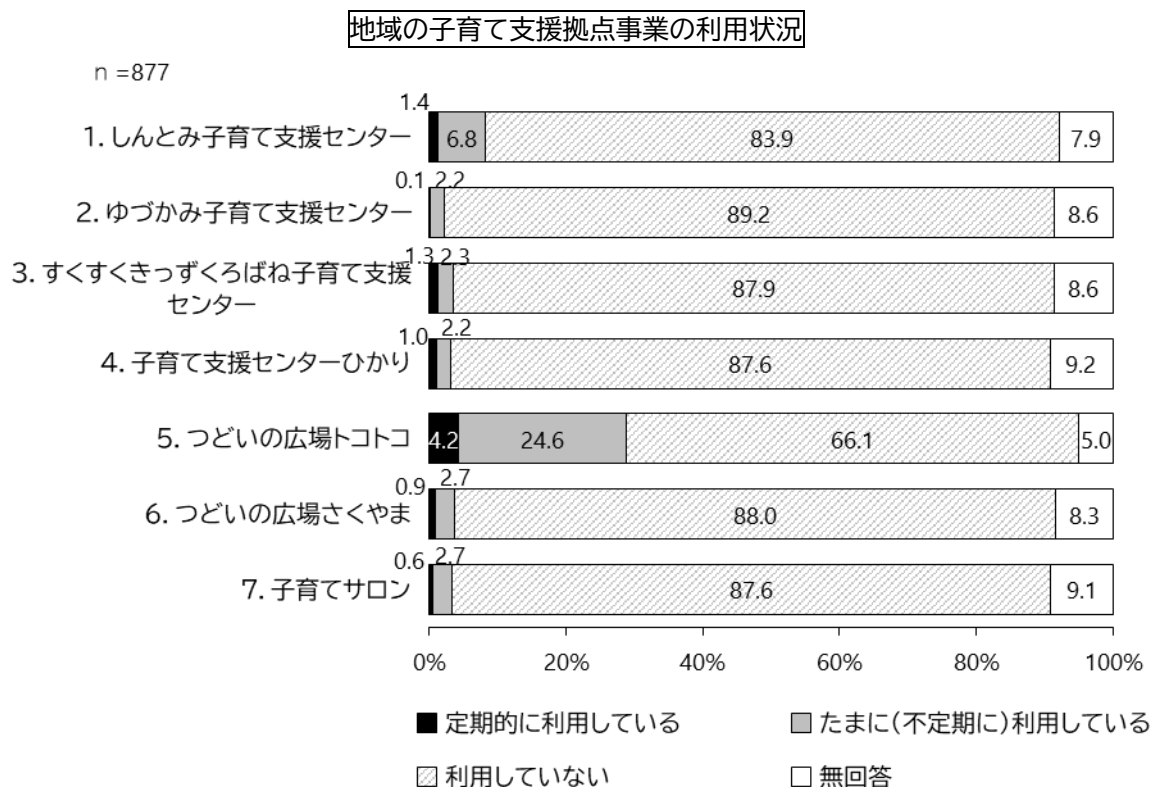
「こども誰でも通園制度（仮称）」の利用意向は「曜日や時間を固定せず、月10時間の範囲内で自由に利用したい」が31.1%、「主に昼間の時間帯に、週1回程度利用したい」が12.4%、「主に昼間の時間帯に、月1～2回程度利用したい」が12.3%となっています。また、「利用希望はない」は40.5%となっています。



地域の子育て支援拠点事業の利用状況について

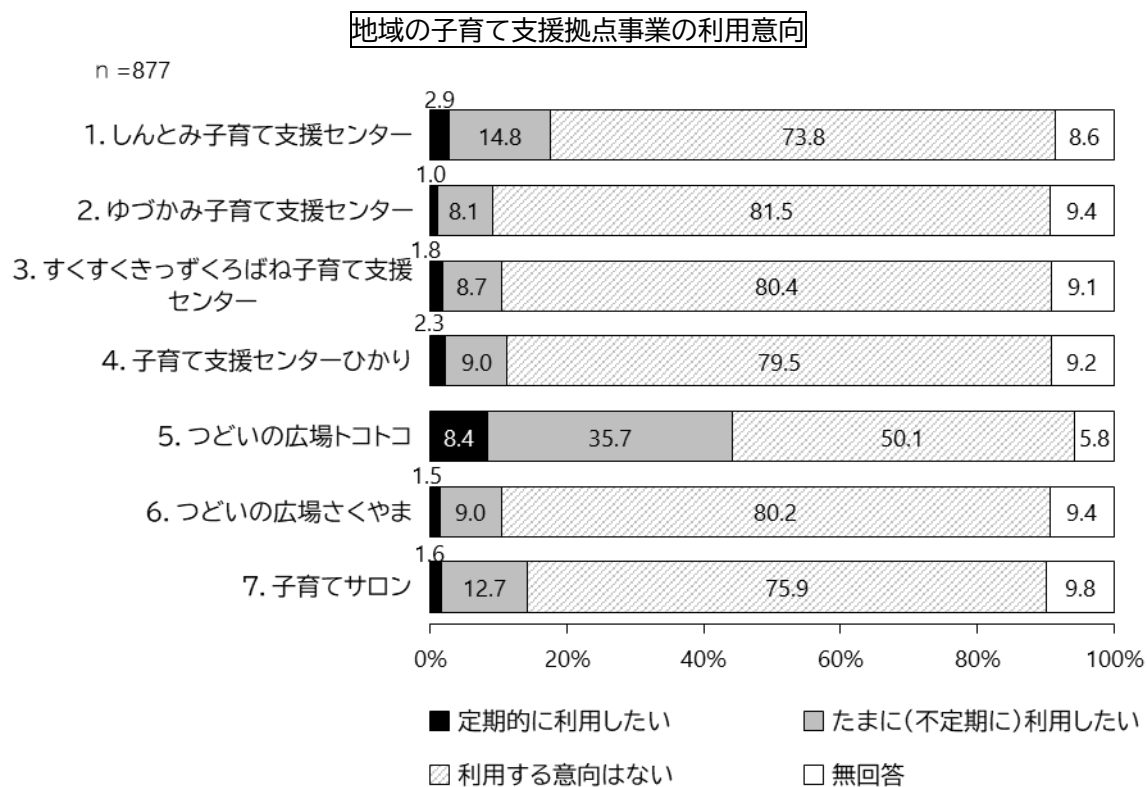
問17 宛名のお子さんは現在、地域の子育て支援拠点事業を利用していますか。

地域の子育て支援拠点事業の利用状況は「定期的に利用している」、「たまに（不定期に）利用している」ともに「5. つどいの広場トコトコ」で最も多くなっています。それ以外の事業では「利用していない」が8割以上となっています。



問18 地域の子育て支援拠点事業の今後の利用頻度のご意向はいかがですか。

地域の子育て支援拠点事業の利用意向は「定期的に利用したい」、「たまに（不定期に）利用したい」とともに「5. つどいの広場トコトコ」で最も多くなっています。それ以外の事業では「たまに（不定期に）利用したい」は1割前後となっています。

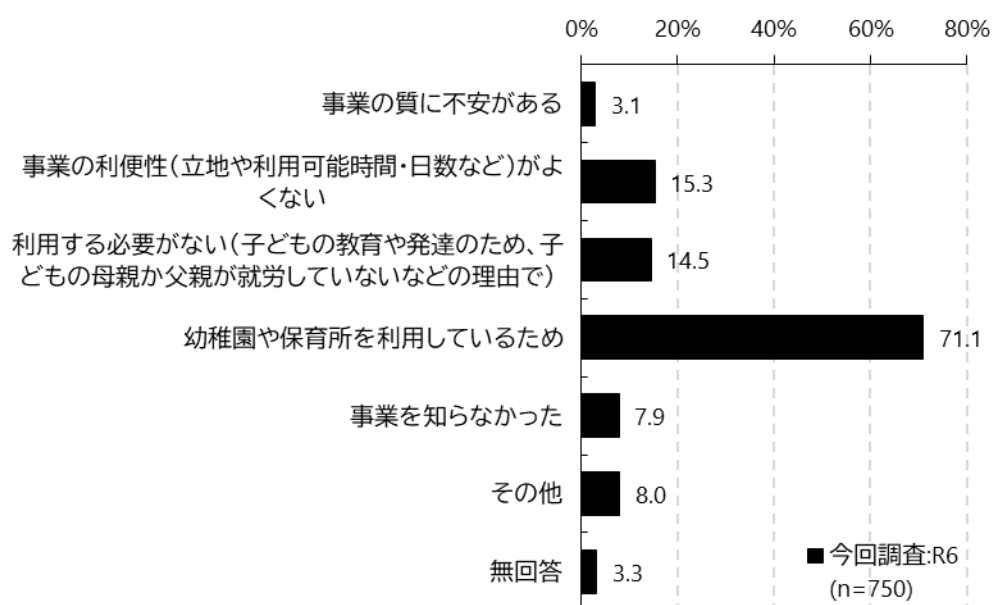


問 18 で1 つでも「3. 利用する意向はない」を選んだ方

問18－1 地域の子育て支援拠点事業を利用しない理由は何ですか。（複数回答）

地域の子育て支援拠点事業を利用しない理由は「幼稚園や保育所を利用しているため」が71.1%と最も多く、次いで「事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない」が15.3%、「利用する必要がない（子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で）」が14.5%となっています。また、「その他」は8.0%で、記述の内容は「家から遠いため」、「子どもの年齢的に不要」、「興味がない、必要性を感じない」、「コロナのため利用できなかった」となっています。

地域の子育て支援拠点事業を利用しない理由

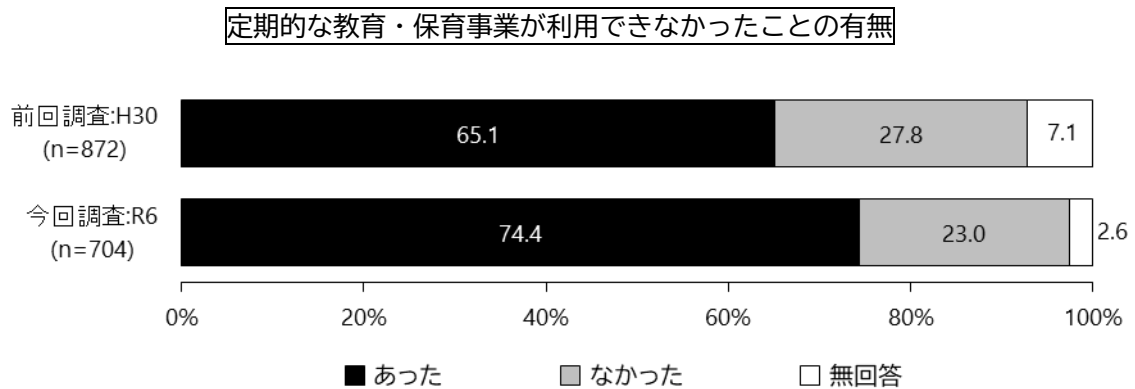


子どもの病気の際の対応について

問 12 で平日に「定期的な教育・保育の事業」を「1. 利用している」を選んだ方

問19 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで定期的に利用している教育・保育事業が利用できなかったことはありますか。

定期的な教育・保育事業が利用できなかったことの有無は「あった」が74.4%、「なかった」が23.0%となっています。

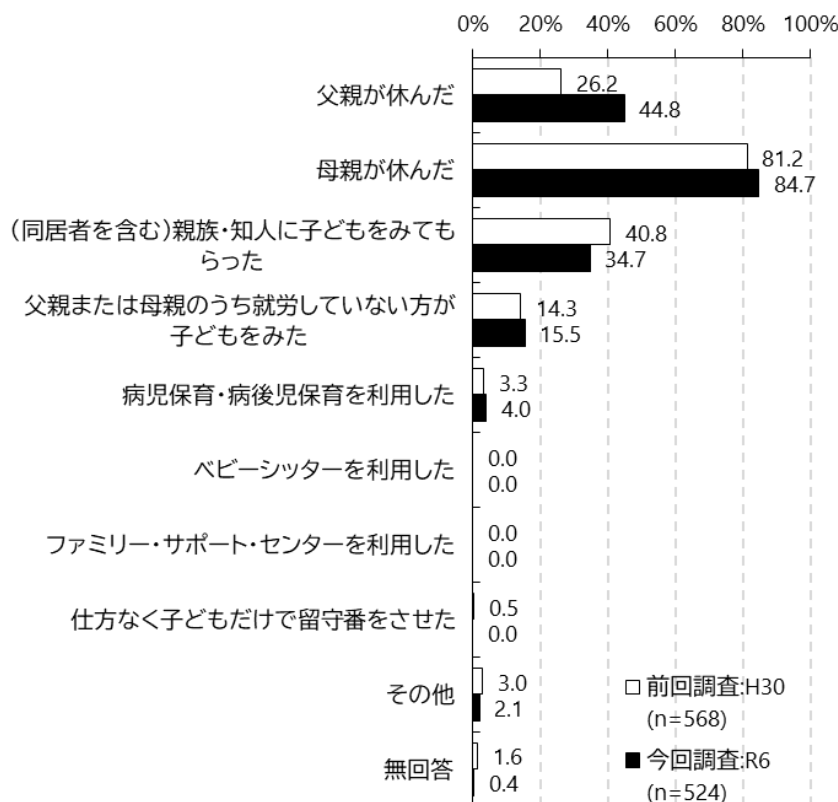


問 19 で「1. あった」を選んだ方

問19-1 宛名のお子さんが病気やケガで定期的に利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。(複数回答)

定期的な教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法は「母親が休んだ」が84.7%と最も多く、次いで「父親が休んだ」が44.8%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が34.7%となっています。

定期的な教育・保育事業が利用できなかった場合の対処方法

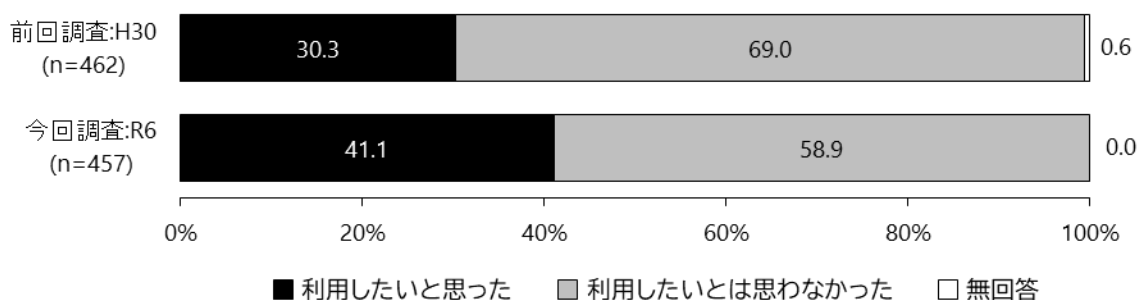


問 19-1 で「1. 父親が休んだ」、「2. 母親が休んだ」を選んだ方

問19-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われたか。

病児保育事業の利用意向は「利用したいと思った」が41.1%、「利用したいとは思わなかった」が58.9%となっています。

病児保育事業の利用意向

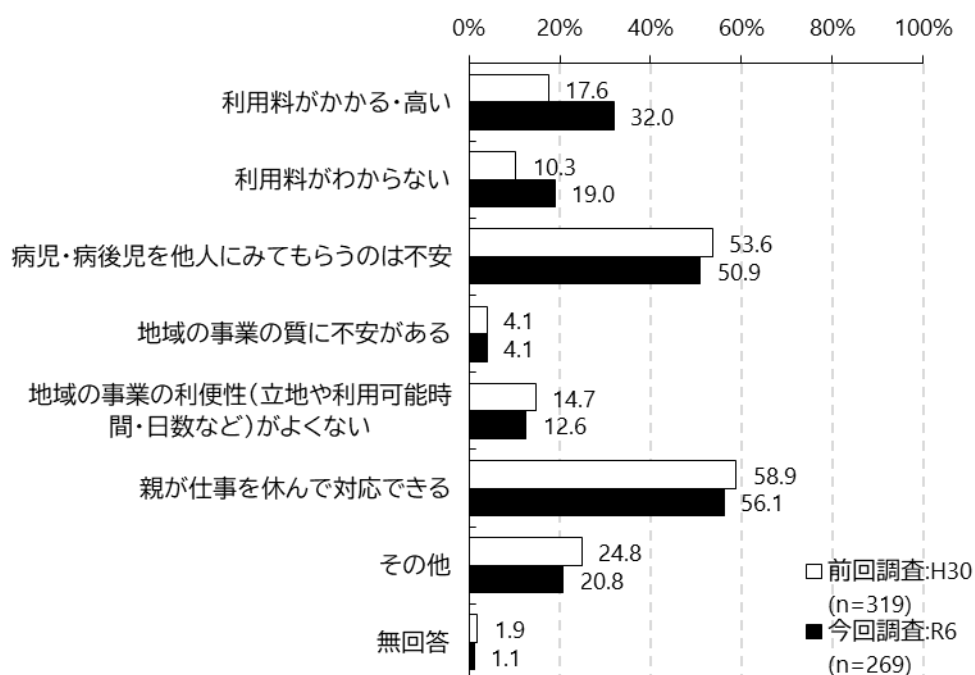


問19-2で「2. 利用したいとは思わなかった」を選んだ方

問19-3 病児保育事業を利用したいと思わない理由は何ですか。(複数回答)

病児保育事業を利用したいと思わない理由は「親が仕事を休んで対応できる」が56.1%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が50.9%、「利用料がかかる・高い」が32.0%となっています。また、「その他」は8.0%で、記述の内容は「申請・手続きがめんどろ」、「一緒にいてあげたい」、「利用のしかたがわからない」、「祖父母がみてくれる」となっています。

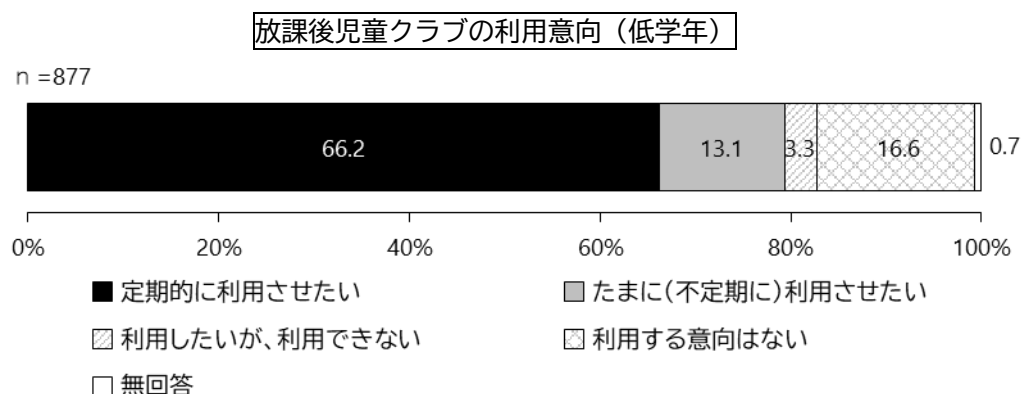
病児保育事業を利用したいと思わない理由



子どもの小学校就学後の放課後の過ごし方について

問20 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）に放課後児童クラブ（学童保育）を利用させたいですか。

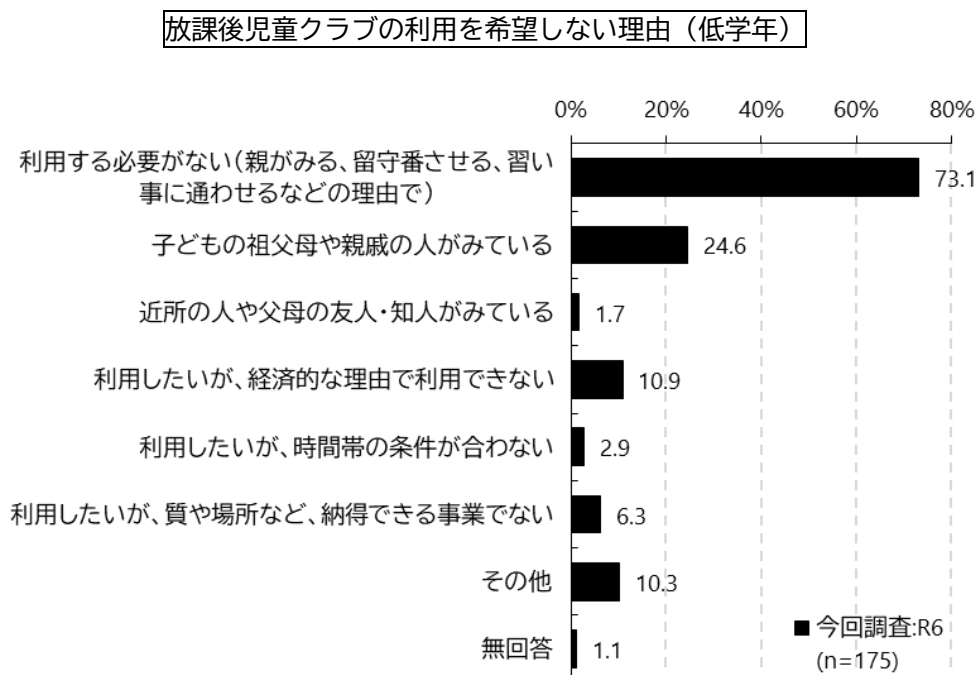
低学年の放課後児童クラブの利用意向は「定期的に利用させたい」が 66.2%、「たまに（不定期に）利用させたい」が 13.1%となっています。



問 20 で「3. 利用したいが、利用できない」「4. 利用する意向はない」を選んだ方

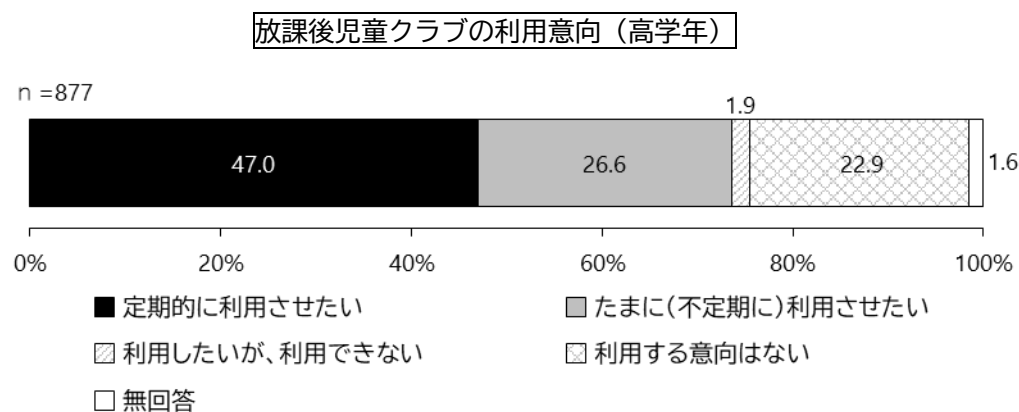
問20－1 放課後児童クラブ（学童保育）を小学校低学年（１～３年生）で利用しない主な理由は何ですか。（複数回答）

低学年の放課後児童クラブの利用を希望しない理由は「利用する必要がない（親がみる、留守番させる、習い事に通わせるなどの理由で）」が 73.1%と最も多く、次いで「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が 24.6%となっています。



問21 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）に放課後児童クラブ（学童保育）を利用させたいですか。

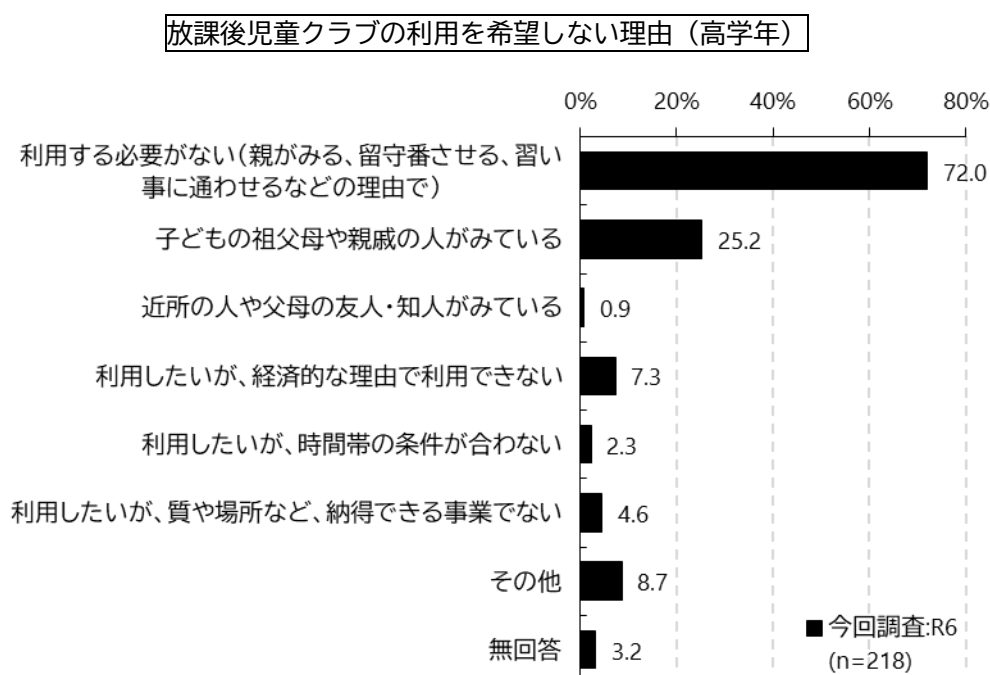
高学年の放課後児童クラブの利用意向は「定期的に利用させたい」が47.0%、「たまに（不定期に）利用させたい」が26.6%となっています。



問21で「3. 利用したいが、利用できない」「4. 利用する意向はない」を選んだ方

問21-1 放課後児童クラブ（学童保育）を小学校高学年（4～6年生）で利用しない主な理由は何ですか。（複数回答）

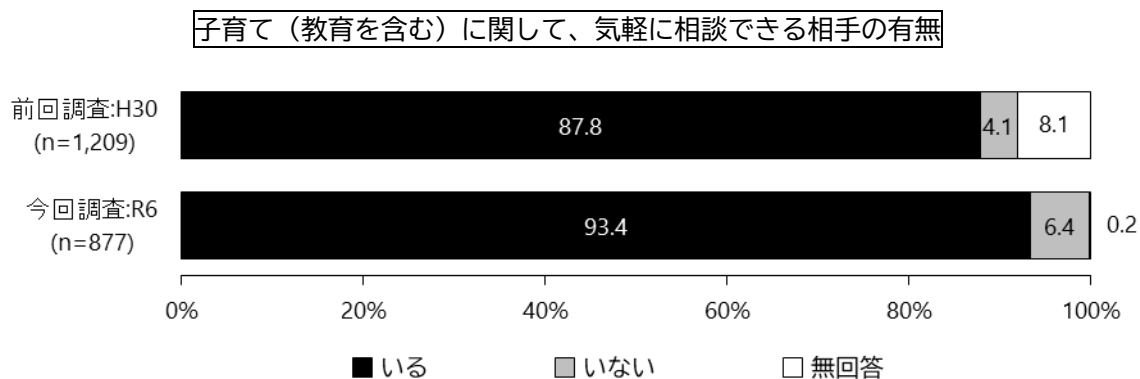
高学年の放課後児童クラブの利用を希望しない理由は「利用する必要がない（親がみる、留守番させる、習い事に通わせるなどの理由で）」が72.0%と最も多く、次いで「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が25.2%となっています。



子どもの育ちを巡る環境について

問22 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。

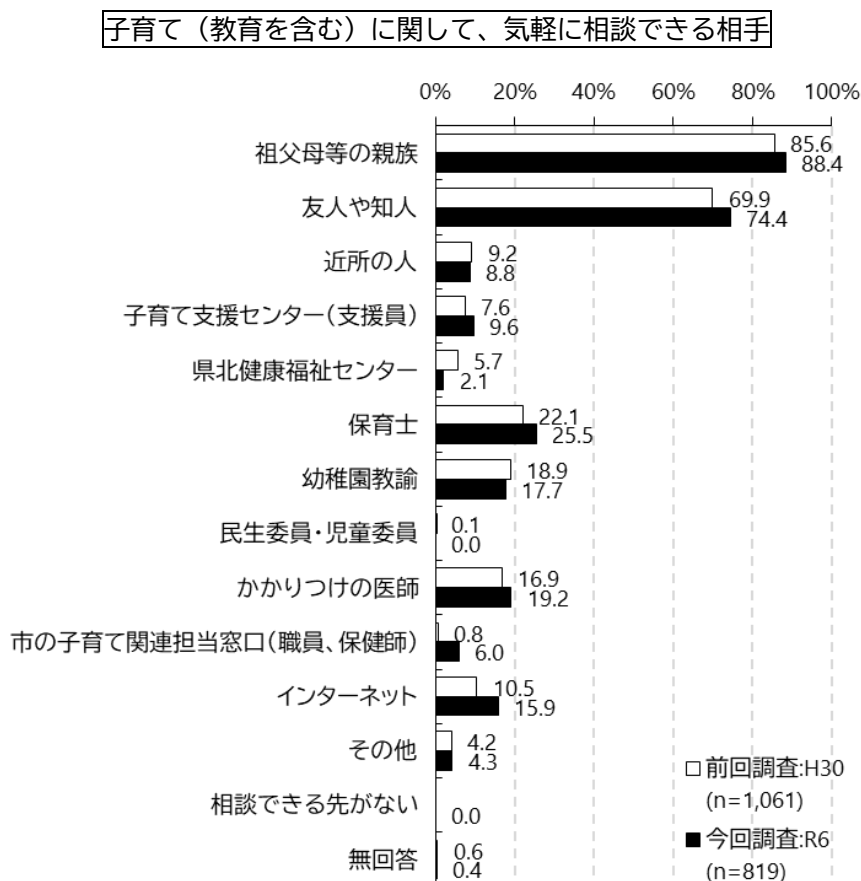
子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手の有無は「いる」が93.4%、「いない」が6.4%となっています。



問22で「1. いる」を選んだ方

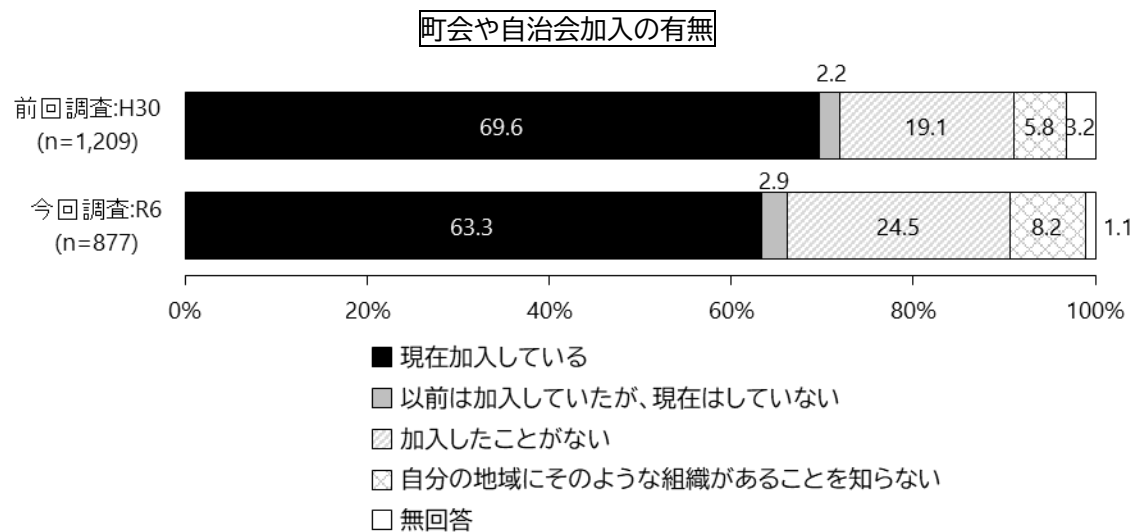
問22-1 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（複数回答）

子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手は「祖父母等の親族」が88.4%と最も多く、次いで「友人や知人」が74.4%、「保育士」が25.5%となっています。



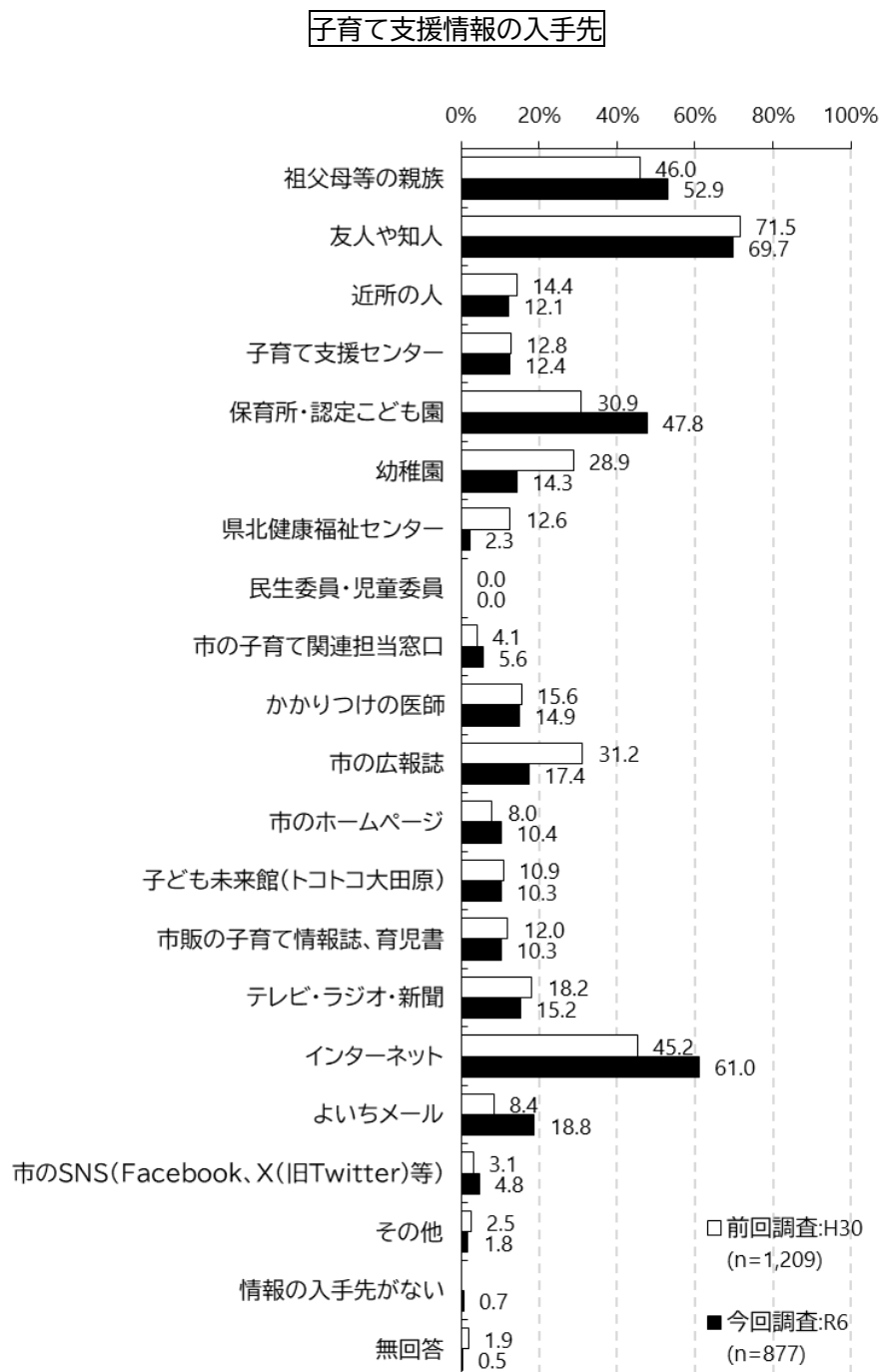
問23 あなたのご家庭は、町会や自治会に加入していますか。

町会や自治会加入の有無は「現在加入している」が 63.3%、「加入したことがない」が 24.5% となっています。



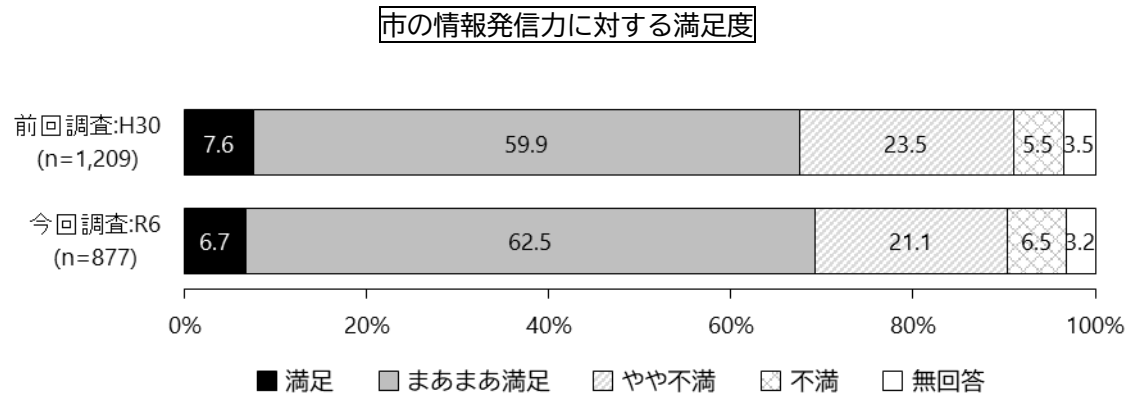
問24 子育てに関する情報は、どちらから入手していますか。(複数回答)

子育て支援情報の入手先は「友人や知人」が69.7%と最も多く、次いで「インターネット」が61.0%、「祖父母等の親族」が52.9%となっています。



問25 市の情報発信力に対する満足度をお答えください。

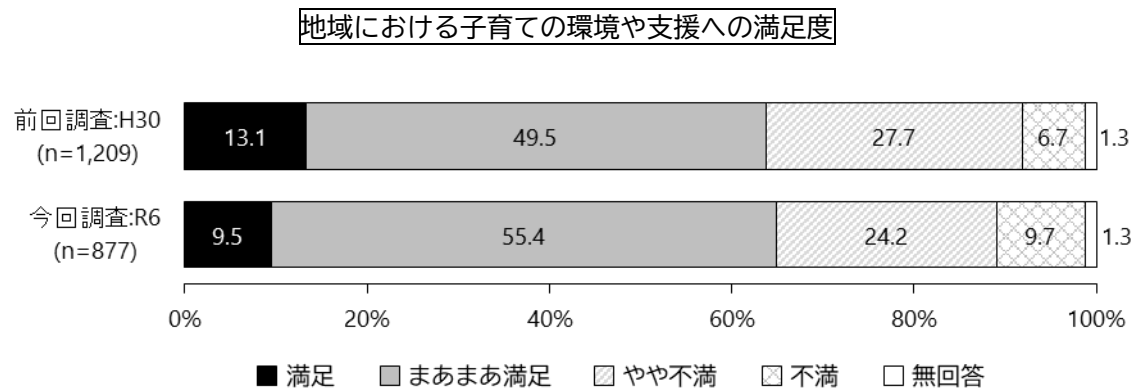
市の情報発信力に対する満足度は「満足」が 6.7%、「まあまあ満足」が 62.5%と合わせると、69.2%が『満足』と回答しています。



子育て支援について

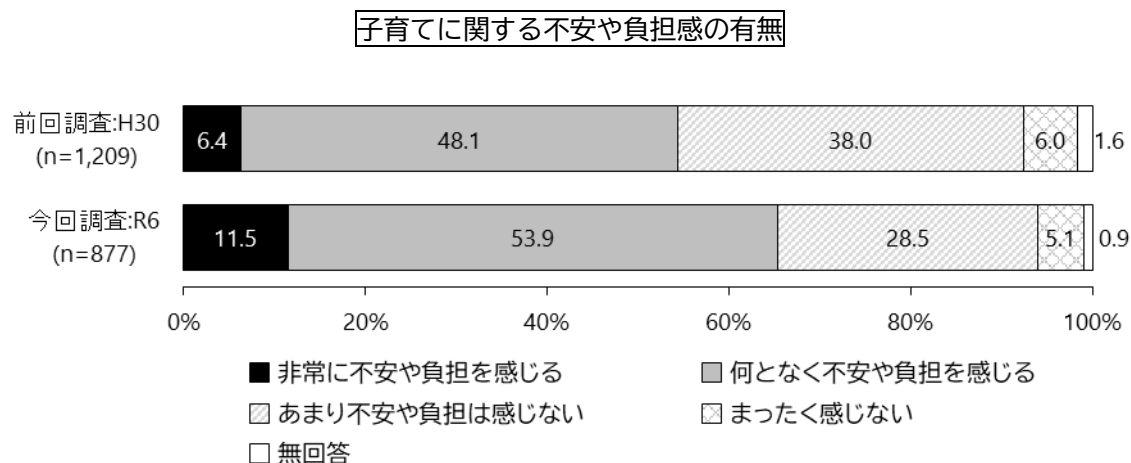
問26 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。

地域における子育ての環境や支援への満足度は「満足」が 9.5%、「まあまあ満足」が 55.4%と合わせると、64.9%が『満足』と回答しています。



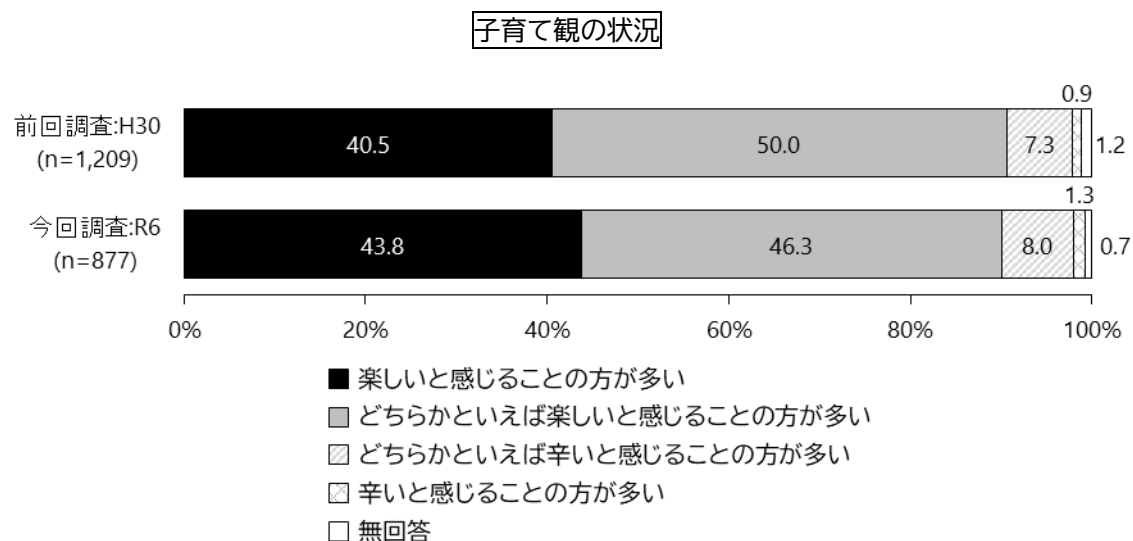
問27 子育てに関して不安や負担を感じることがありますか。

子育てに関する不安や負担感の有無は「非常に不安や負担を感じる」が11.5%、「何となく不安や負担を感じる」が53.9%と合わせると、65.4%が『不安や負担を感じる』と回答しています。



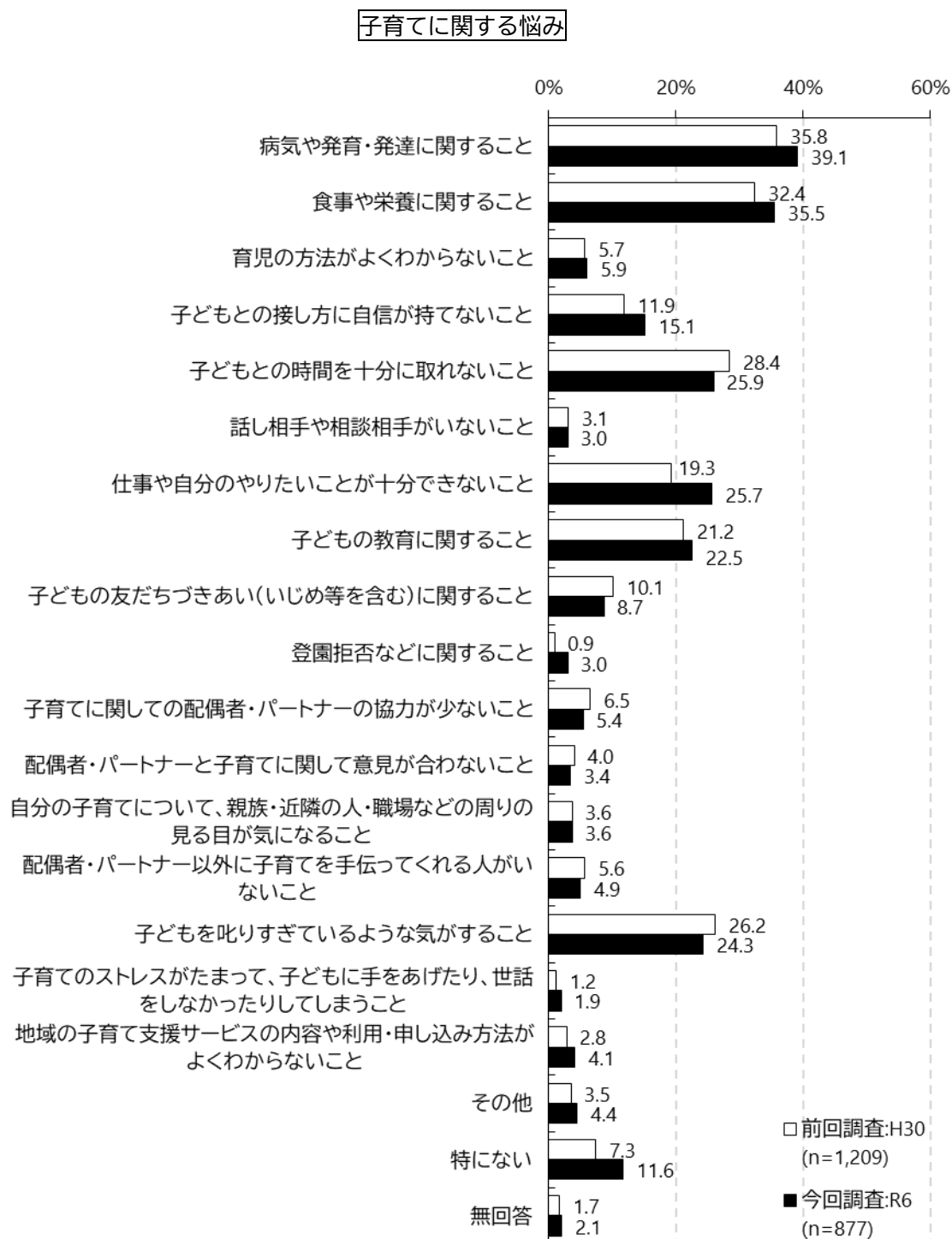
問28 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいると感じるときが多いと思いますか。それとも辛いと感じるときが多いと思いますか。

子育て観の状況は「楽しいと感じることの方が多い」が43.8%、「どちらかといえば楽しいと感じることの方が多い」が46.3%と合わせると、90.1%が『楽しいと感じることの方が多い』と回答しています。



問29 子育てに関して、日頃悩んでいること、気になることはどのようなことですか。
(複数回答)

子育てに関する悩みは「病気や発育・発達に関すること」が39.1%と最も多く、次いで「食事や栄養に関すること」が35.5%、「子どもとの時間を十分に取れないこと」が25.9%、「仕事や自分のやりたいことが十分できないこと」が25.7%となっています。



問30 最後に、教育・保育事業の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。（自由記述）

意見欄に記入があったのは 293 件で主な意見は以下のとおりです。

- ・情報が少ない。ホームページを見なければわからないことが多い。子育て支援センターの利用や子ども未来館の利用においても、電話やその場に行って申し込むなど、気軽には使えない。もう少しネットでの予約などの充実を図ってほしい。子連れで外食などに行きにくい。行った先の子ども向けサービスがどんなものかわからない（オムツ交換台の有無、チェア等の有無 etc…）。市などで、子育て家族向けの店等をまとめてくれたりすると、孤立が防げてよい。
- ・保育士の人数を増やしてほしい。
- ・検診の時間を午前中にしてもらいたい。午後だと昼寝の時間と重なり、子どもがつらそうです。子どもが作業したり受け答えすることが普段の様子よりもできなくなるように感じます。
- ・公園の遊具が増えたらうれしいです。道の駅などにも公園などがあるともっと利用する機会が増えるかと思います。また、トコトコ大田原の子ども未来館は、県外の方の利用料と市内に住んでいる人の利用料が同じなのも疑問に思います。最近はインスタグラム等で県外の方が紹介している動画などもよくみかけます。200 円という金額はとても安く利用しやすいですが、休日等、県外などからの利用が増えると市民が利用しづらくなってしまいます。県外、市外の方が増えれば収益も増えるかと思うので、利用料の見直しを検討していただきたいです。
- ・日中1人で子どもをみている日が続くと、ストレスがたまるときも多く、それをパートナーにわかってもらえないとよけいイライラしてしまうときがあります。そういった悩みを気軽に相談できる支援や施設があればいいなと思います（話をする間は子どもをみている方がいるとありがたいです。どうしても子どもをみながらだとおちついて話ができないので）。
- ・病児保育は慣れてないところだから、病気で弱っているときこそ、職場の当たり前に休める環境や、慣れている幼稚園内に病児保育をつくってほしいです。その辺が可能になったり、ストレスがなくなると、パートからフルタイムへ変更できると思います。
- ・毎日子育てについて悩むことばかりで、軽い気持ちで受けられるカウンセリングがあるといいなと思います。うつまではいいないけど、生きていて楽しくないと感じるためです。
- ・子どもが熱などで仕事を休まなければいけないとき、職場での理解が少ない。仕事は続けたいけど、メンタルが持つか不安になる。もっと働きやすい社会になってほしい。男性側にも休みを取りやすい環境になってほしい。

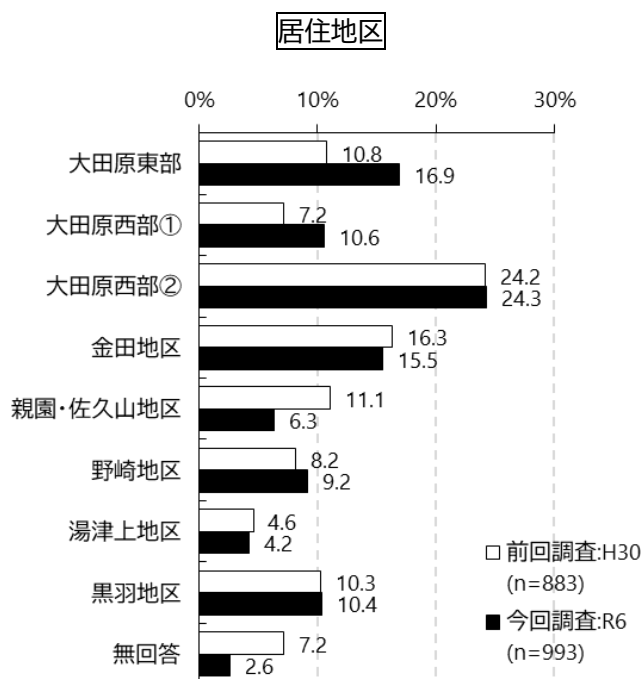
- ・保健師さんに気軽に会える環境があると嬉しいです。決まった日に支援センター等で身体測定ができるのは知っていますが、いつでも気軽に行ける場所があると安心です。
- ・保育所等の制度を充実していただけるのはありがたいのですが、子どもたちをみてくださる現場の方たち（保育士等）への待遇を充実させるのがまずは大切なのかなと思います。保育や教育に関わる方たちの満足度が上がれば、その職業に就きたいと考える方も増え、結果、子どもに与える影響も良くなり、いい環境が生まれるのではないかと思います。また、子育てや家事を行うのが女性である現実、昔からほとんど変わらないと感じています。日常的にそういった女性たちのサポート制度、例えば、家に食事をつくりに来てくれる、または届けてくれるようなサービスがあれば（お金を払ってでも）救われる方が多いように感じます。
- ・第一子が生まれて3か月くらいの時に月齢の近いママさんたちと集まって話をする会がとても良かったです。そこで仲良くなったママ友とは今も定期的に会って子どものことを相談し合えるので、これからも続けてほしいです。
- ・「こども誰でも通園制度（仮称）」で「月10時間まで」というのは、少ない。実施されるのであれば、もっと利用時間を増やしてほしい。
- ・祖父母向けの育児情報を紙で配るだけでなく、講習会のような形で発信してほしい。飲食の時間を適切に確保することで虫歯を予防することや、年齢ごとの適正な睡眠時間の確保など、現代の子育てへの理解が甘いと、少し預かってほしいときに頼りにくなる。祖母も今の知識がほしいと言っているので、積極的なサポートをお願いするためにも、祖父母が知識を得る機会を設けてほしい。
- ・どこの園も発表会や親子遠足など子どもたちの様子をみられることをやってほしいです。発表会で子どもたちの成長をみられるいい機会。発表会って幼稚園時代しかできないことだし、あんなに感動する場面ってないと思う。

小学生児童保護者調査 集計結果

子どもと家族の状況について

問1 お住まいの地区はどちらですか。

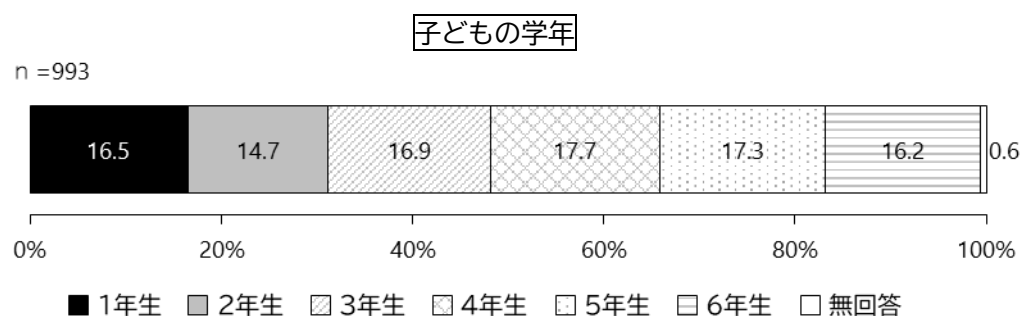
居住地区は「大田原西部②」が24.3%、「大田原東部」が16.9%、「金田地区」が15.5%となっています。



選択肢	行政区
1. 大田原東部	山の手、城山、元町、新富町、中央1丁目、若松町、富士見、若草
2. 大田原西部①	中央2丁目、住吉町、紫塚、本町
3. 大田原西部②	末広、美原、浅香、加治屋
4. 金田地区	中田原、町島、荒井、岡、今泉、戸野内、富池、市野沢、練貫、羽田、乙連沢、小滝、北金丸、南金丸、上奥沢、奥沢、鹿畑、倉骨、赤瀬、北大和久
5. 親園・佐久山地区	親園、実取、滝沢、滝岡、花園、宇田川、荻野目、佐久山、藤沢、大神、福原
6. 野崎地区	上石上、下石上、薄葉、平沢、野崎
7. 湯津上地区	狭原、小船渡、湯津上、佐良土、蛭畑、蛭田、新宿、片府田
8. 黒羽地区	黒羽田町、前田、堀之内、北野上、八塩、北滝、片田、亀久、矢倉、黒羽向町、大豆田、余瀬、蜂巣、桧木沢、寒井、中野内、河原、両郷、寺宿、木佐美、大久保、久野又、大輪、川田、須佐木、須賀川、雲岩寺、川上、南方

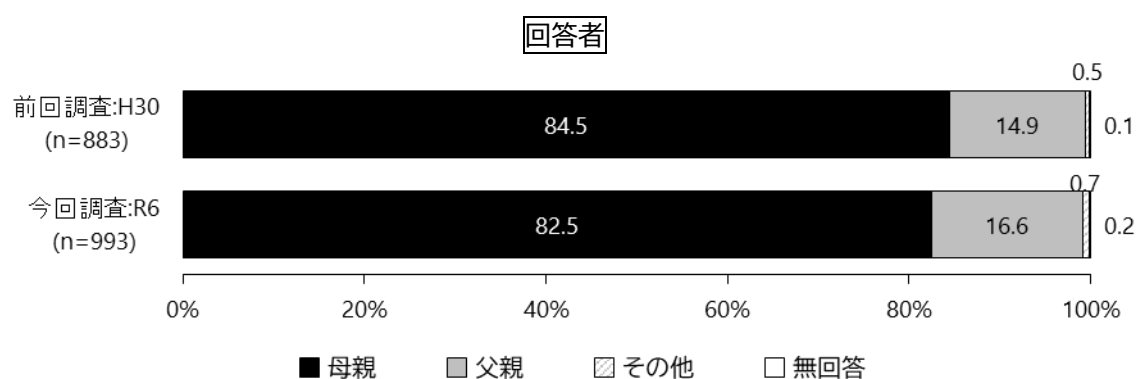
問2 宛名のお子さんの学年についてお答えください。(令和6年度)

子どもの学年は「3年生」、「4年生」、「5年生」がやや多くなっています。



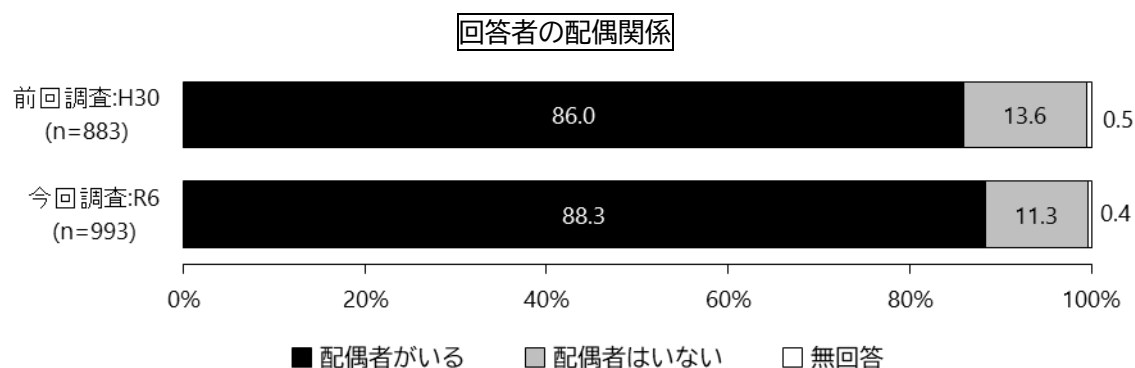
問3 この調査にご回答いただく方はどなたですか。

回答者は「母親」が 82.5%、「父親」が 16.6%となっています。



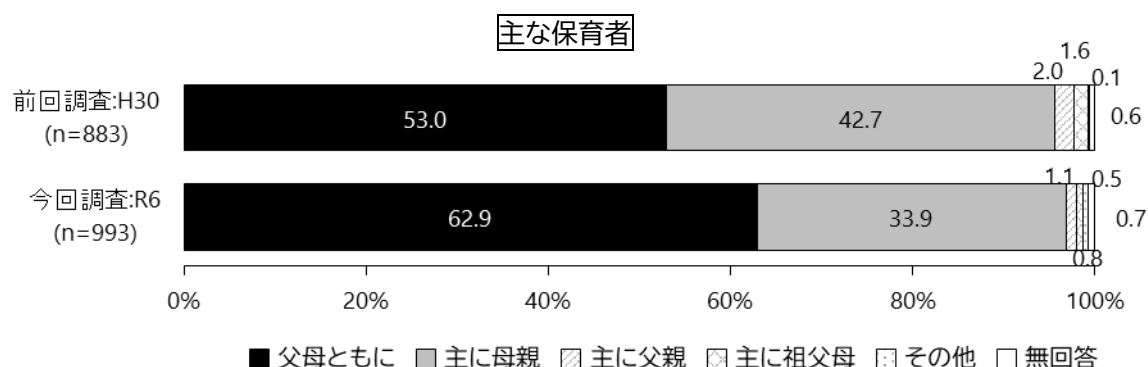
問4 この調査にご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。

回答者の配偶関係は「配偶者がいる」が 88.3%、「配偶者がいない」が 11.3%となっています。



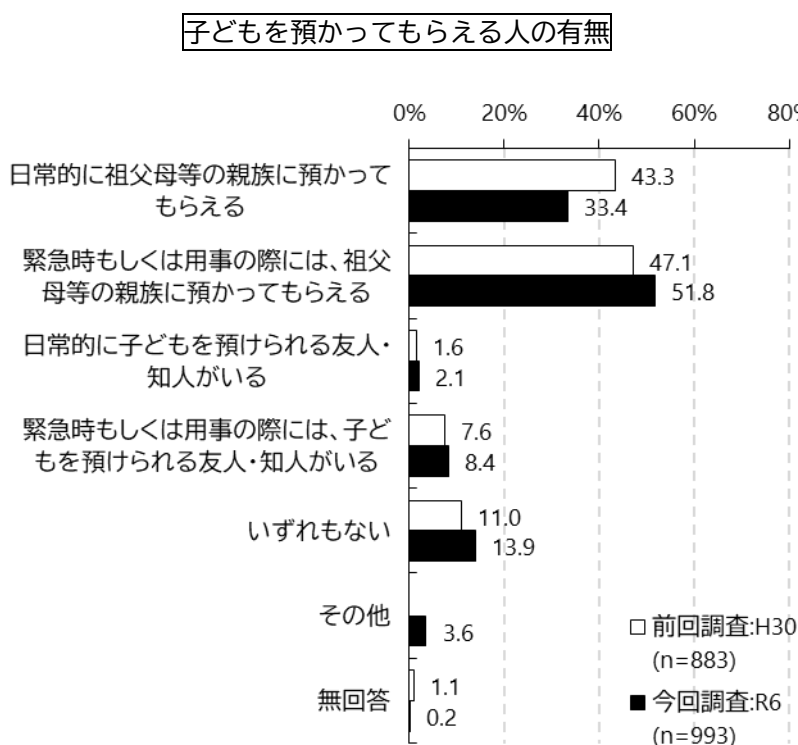
問5 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。

主な保育者は「父母ともに」が 62.9%、「主に母親」が 33.9%となっています。



問6 日頃、宛名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。（複数回答）

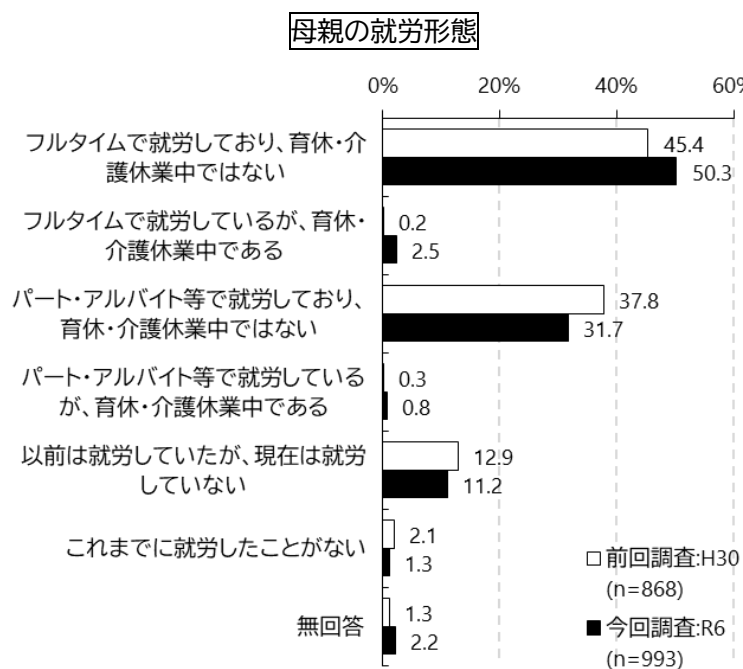
子どもを預かってもらえる人の有無は「緊急時もしくは用事の際には、祖父母等の親族に預かってもらえる」が 51.8%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が 33.4%となっています。また、「いずれもない」は 13.9%となっています。



母親の就労状況について

問7 現在の就労形態（自営業、家族従業者含む）について、お答えください。

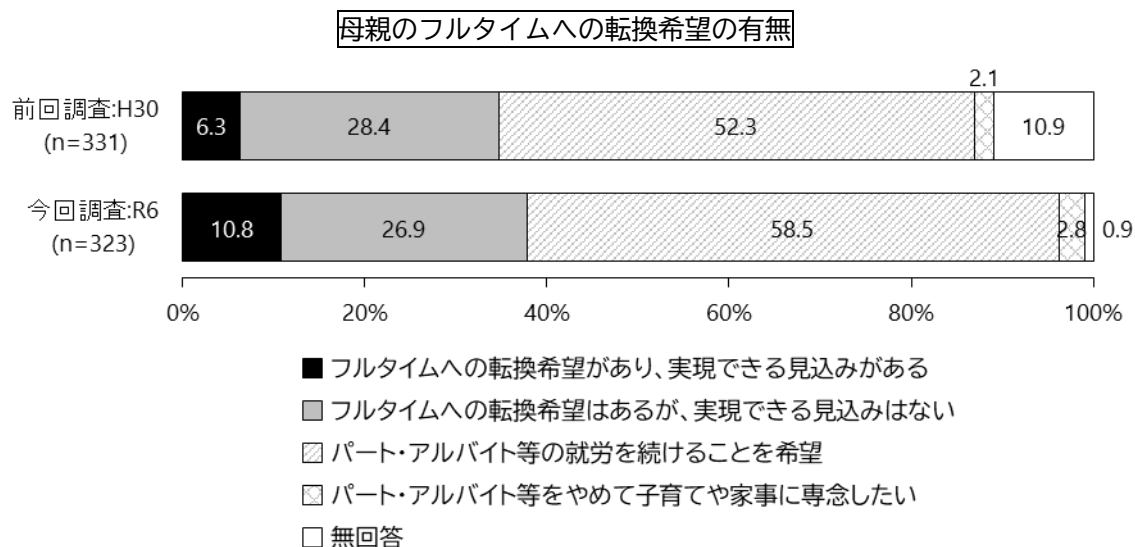
母親の就労形態は「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が50.3%、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が31.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が11.2%となっています。



問7で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で就労）を選んだ方

問7-1 フルタイムへの転換希望はありますか。

母親のフルタイムへの転換希望は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が58.5%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が26.9%となっています。



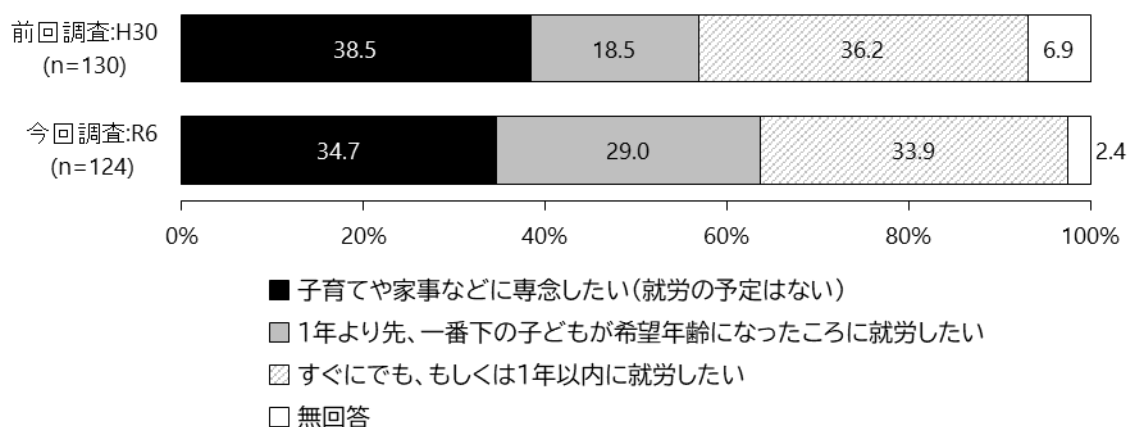
問7で「5.」「6.」（就労していない／就労したことがない）を選んだ方

問7-2 今後の就労意向をおうかがいします。

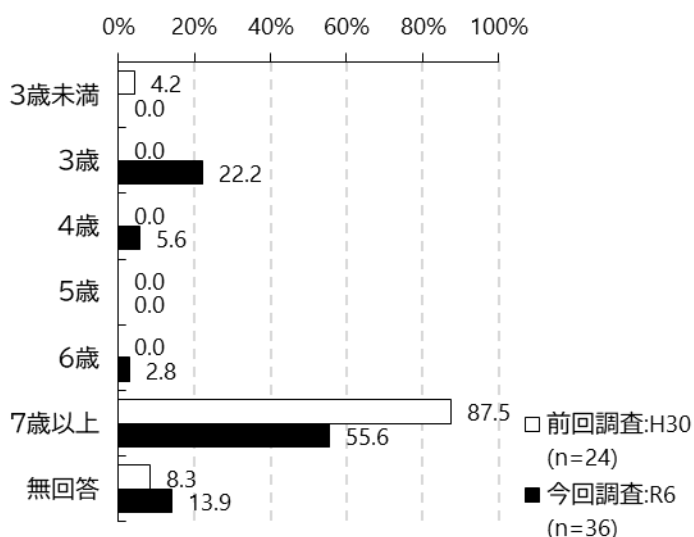
母親の今後の就労意向は「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が34.7%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が33.9%、「1年より先、一番下の子どもが希望年齢になったところに就労したい」が29.0%となっています。

「1年より先、一番下の子どもが希望年齢になったところに就労したい」を選んだ人の希望する時期は、末子の年齢が「7歳以上」が55.6%、「3歳」が22.2%となっています。

母親の今後の就労意向の有無



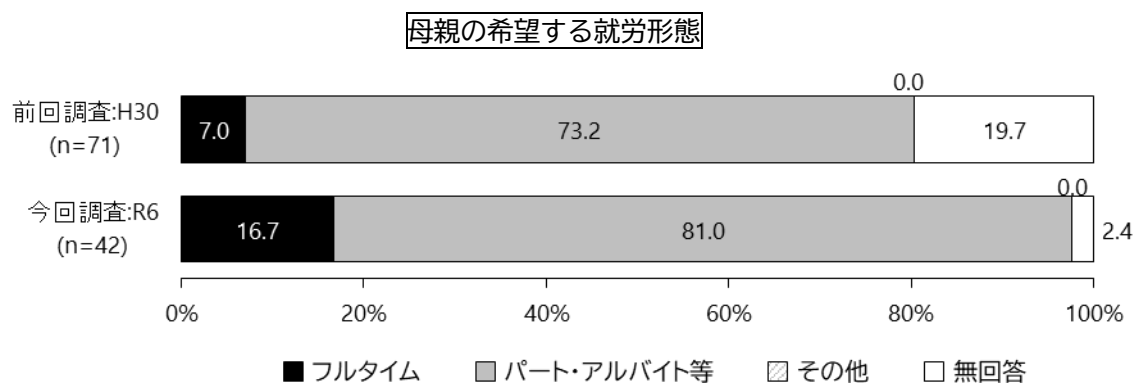
母親の希望する就労時期（末子の子どもの年齢）



問7-2で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方

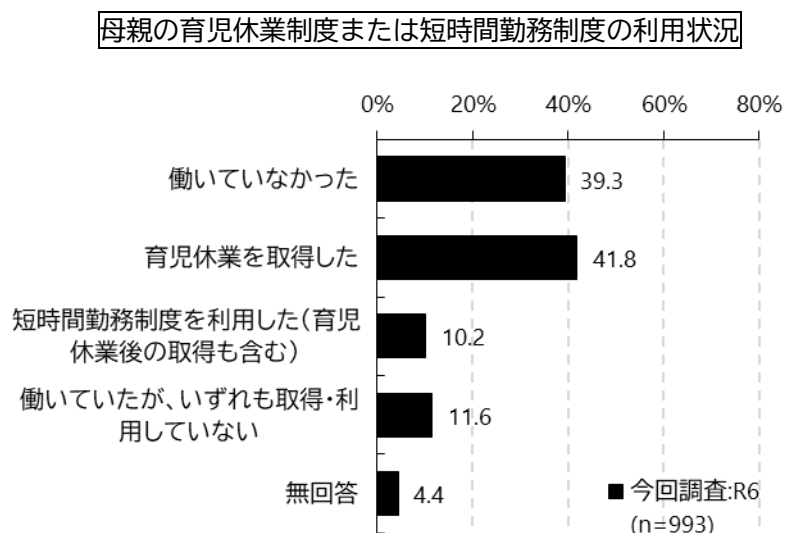
問7-3 希望する就労形態をお答えください。

母親の希望する就労形態は「パート・アルバイト等」が81.0%、「フルタイム」が16.7%となっています。



問8 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業制度または短時間勤務制度を利用しましたか。(複数回答)

母親の育児休業制度または短時間勤務制度の利用状況は「育児休業を取得した」が41.8%と最も多く、次いで「働いていなかった」が39.3%となっています。「働いていたが、いずれも取得・利用していない」は11.6%となっています。

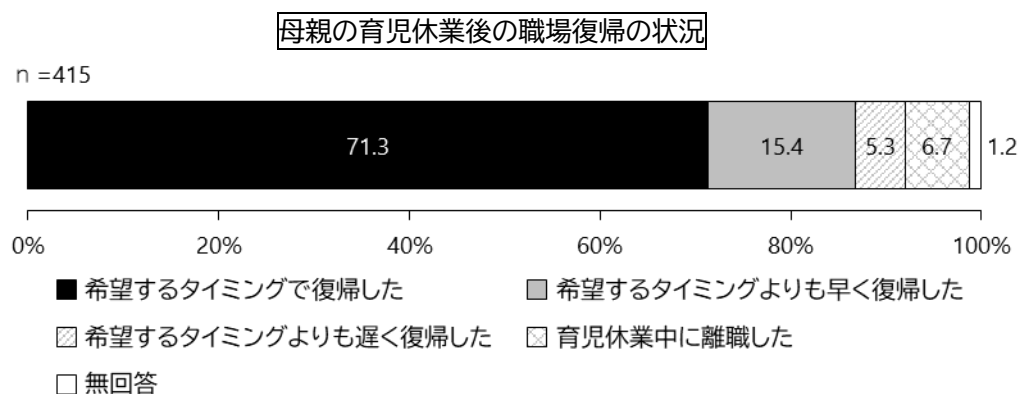


問8で「2. 育児休業を取得した」を選んだ方

問8-1 育児休業後、職場に復帰しましたか。

母親の育児休業後の職場復帰の状況は「希望するタイミングで復帰した」が71.3%、「希望するタイミングよりも早く復帰した」が15.4%、「希望するタイミングよりも遅く復帰した」が5.3%、「育児休業中に離職した」が6.7%となっています。

早く復帰した理由の記述内容は「保育園の都合」、「職場の都合、人員不足」、「経済的理由」が多く、遅く復帰した理由の記述内容は「保育園に入れなかったため」が多く、離職した理由の記述内容は「保育園に入れなかったため」、「転居のため」、「第2子妊娠のため」等が多くなっています。

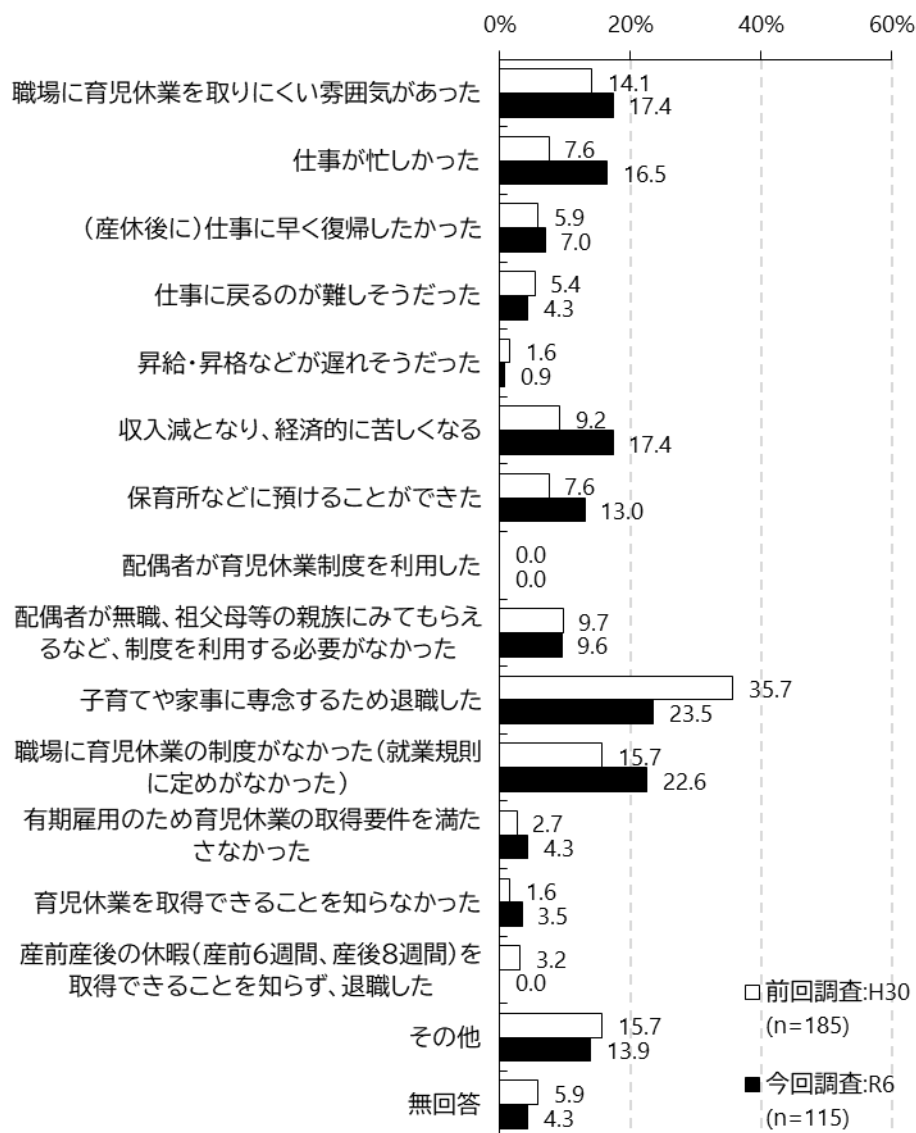


問8で「4. 働いていたが、いずれも取得・利用していない」を選んだ方

問8-2 育児休業を取得していない主な理由をお答えください。(複数回答)

母親が育児休業を取得していない理由は「子育てや家事に専念するため退職した」が23.5%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が22.6%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が17.4%となっています。また、「その他」は13.9%で、記述の内容は「自営業のため」、「派遣社員だったため」等が多くなっています。

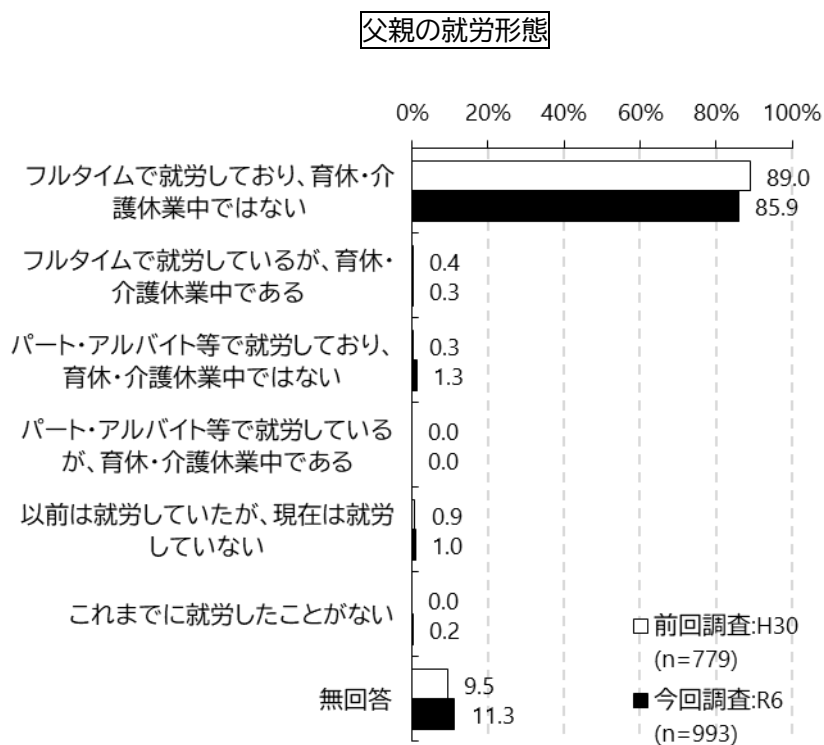
母親が育児休業を取得していない理由



父親の就労状況について

問9 現在の就労形態（自営業、家族従業者含む）について、お答えください。

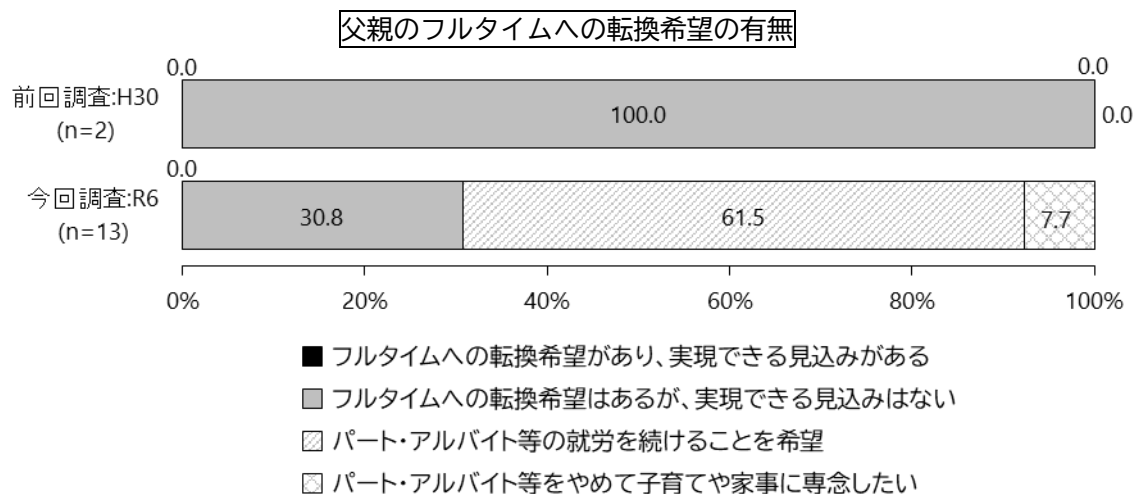
父親の就労形態は「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が85.9%と多くを占めています。



問9で「3.」「4.」（パート・アルバイト等で就労）を選んだ方

問9-1 フルタイムへの転換希望はありますか。

父親のフルタイムへの転換希望は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が61.5%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が30.8%となっています。

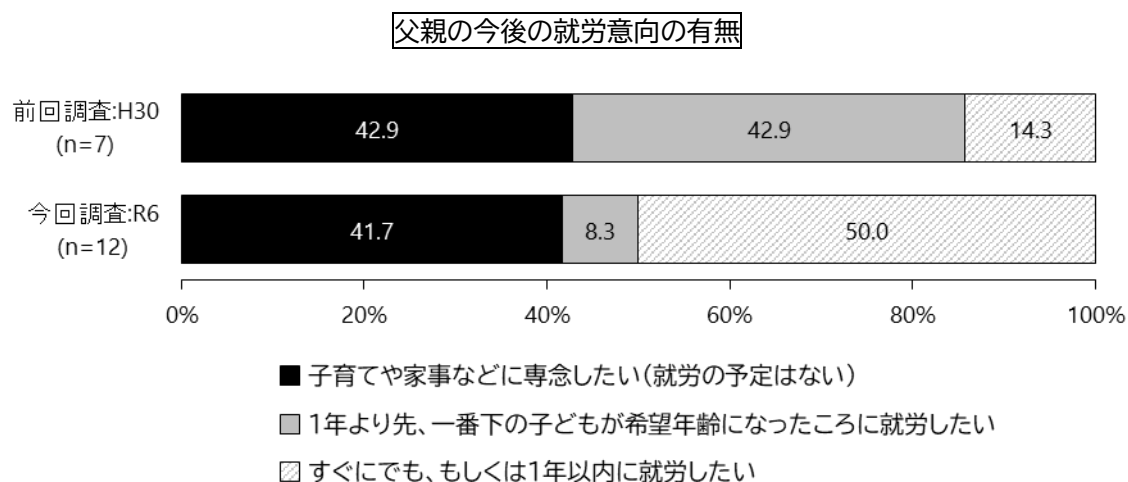


問9で「5.」「6.」（就労していない／就労したことがない）を選んだ方

問9-2 今後の就労意向をおうかがいします。

父親の今後の就労意向は「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が50.0%、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が41.7%となっています。

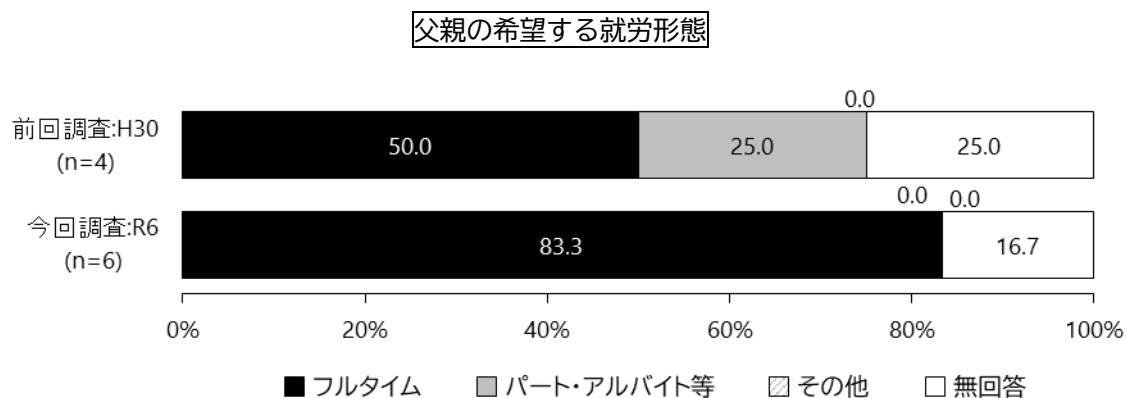
「1年より先、一番下の子どもが希望年齢になったところに就労したい」を選んだ人の希望する時期は、末子の年齢が「15歳」が1件となっています。



問9-2で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方

問9-3 希望する就労形態をお答えください。

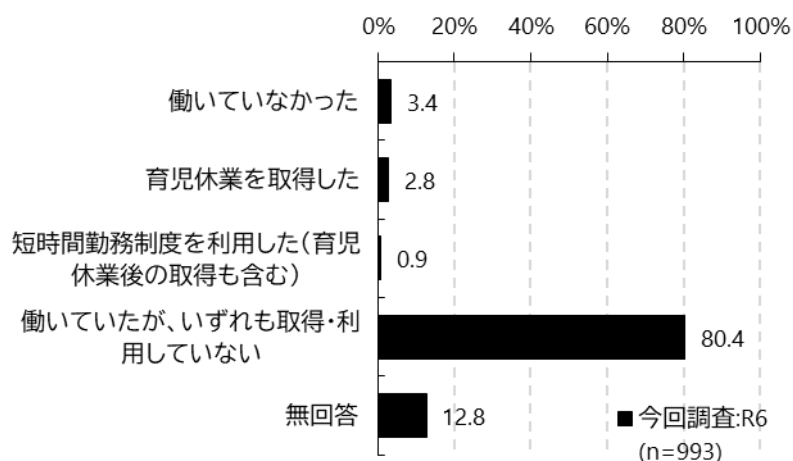
父親の希望する就労形態は6件中「フルタイム」が5件となっています。



問10 宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業制度または短時間勤務制度を利用しましたか。(複数回答)

父親の育児休業制度または短時間勤務制度の利用状況は「働いていたが、いずれも取得・利用していない」が80.4%と多くを占め、「育児休業を取得した」は2.8%となっています。

父親の育児休業制度または短時間勤務制度の利用状況



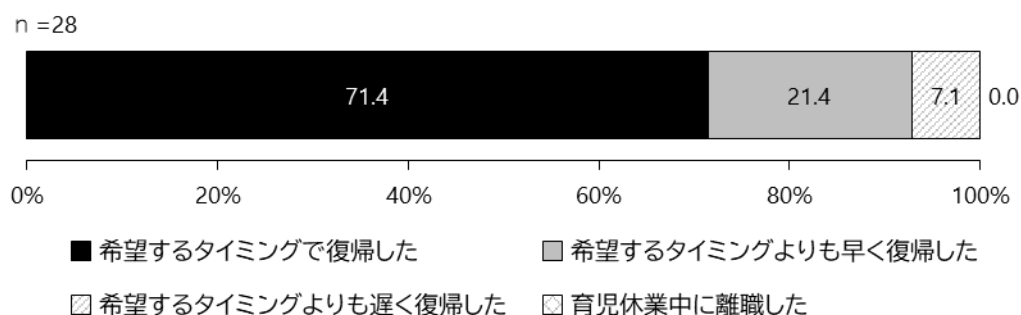
問10で「2. 育児休業を取得した」を選んだ方

問10-1 育児休業後、職場に復帰しましたか。

父親の育児休業後の職場復帰の状況は「希望するタイミングで復帰した」が71.4%、「希望するタイミングよりも早く復帰した」が21.4%となっています。

早く復帰した理由の記述内容は「職場の制度のため」が多くなっています。

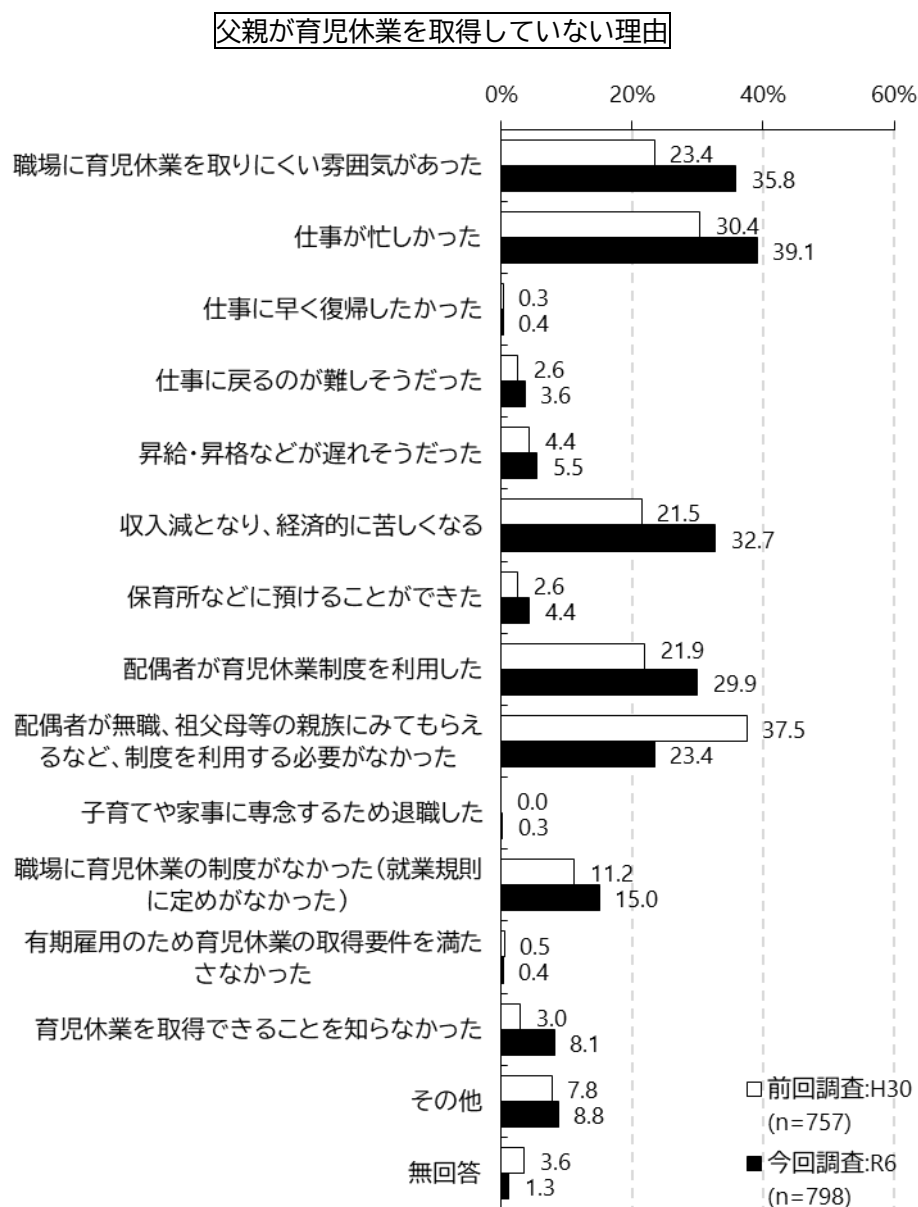
父親の育児休業後の職場復帰の状況



問10で「4. 働いていたが、いずれも取得・利用していない」を選んだ方

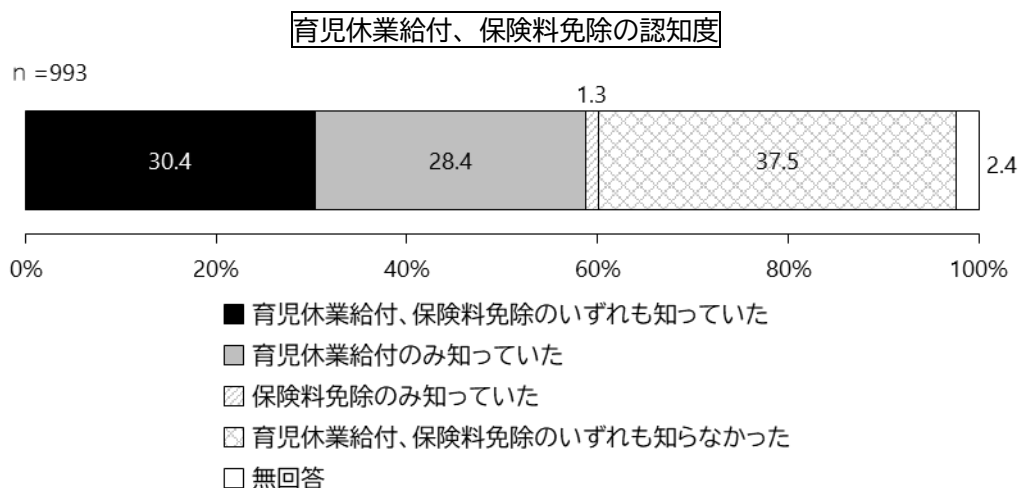
問10-2 育児休業を取得していない主な理由をお答えください。(複数回答)

父親が育児休業を取得していない理由は「仕事が忙しかった」が39.1%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が35.8%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が32.7%となっています。また、「その他」は8.8%で、記述の内容は「自営業のため」、「取得の考えがなかったため」等が多くなっています。



問11 育児休業を取得した場合に、お子さんが1歳になるまで「育児休業給付」が支給される制度や、お子さんが満3歳になるまでの育児休業などの期間は、「健康保険及び厚生年金保険料が免除（保険料免除）」になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。

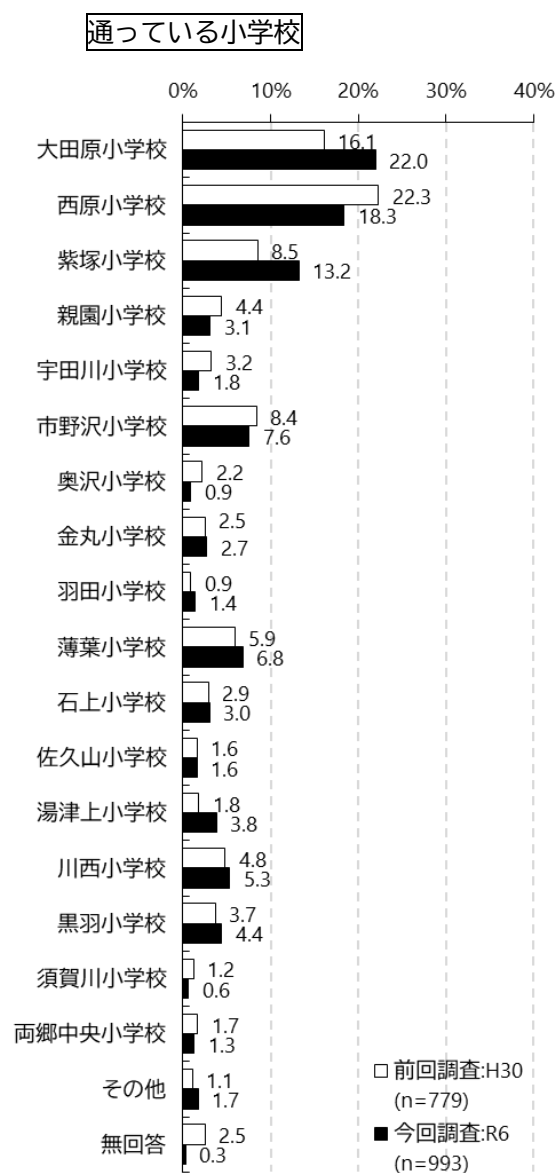
育児休業給付、保険料免除の認知度は「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が30.4%、「育児休業給付のみ知っていた」が28.4%となっています。「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」は37.5%となっています。



子どもの放課後の過ごし方について

問12 宛名のお子さんが通っている小学校はどちらですか。

通っている小学校は「大田原小学校」が 22.0%、「西原小学校」が 18.3%、「紫塚小学校」が 13.2%と多くなっています。

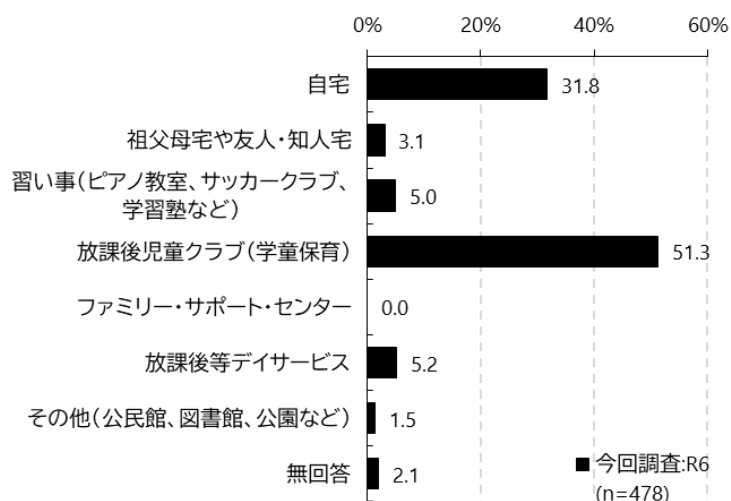


小学校低学年（１年生～３年生）の方

問13 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

低学年時の放課後に過ごさせたい場所は「放課後児童クラブ（学童保育）」が 51.3%、「自宅」が 31.8%となっています。

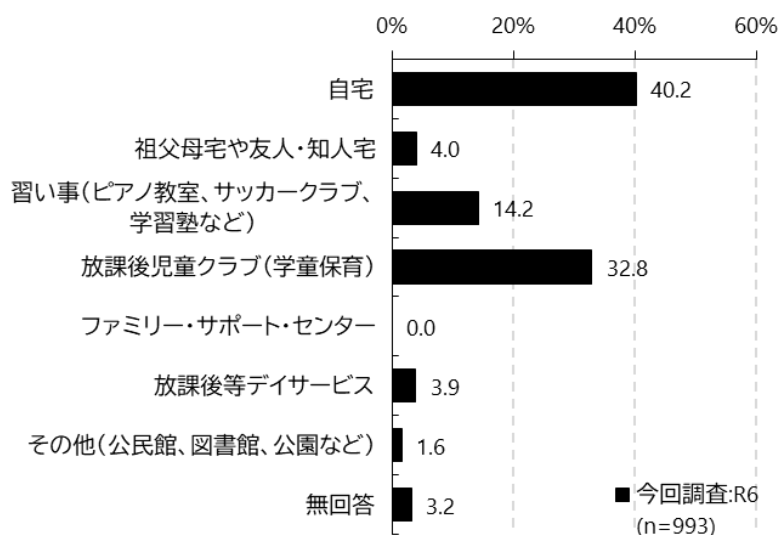
放課後に過ごさせたい場所（低学年）



問14 宛名のお子さんについて、小学校高学年（４～６年生）になったら、または、小学校高学年（４～６年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

高学年時に放課後に過ごさせたい場所は「自宅」が 40.2%、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 32.8%、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 14.2%となっています。

放課後に過ごさせたい場所（高学年）



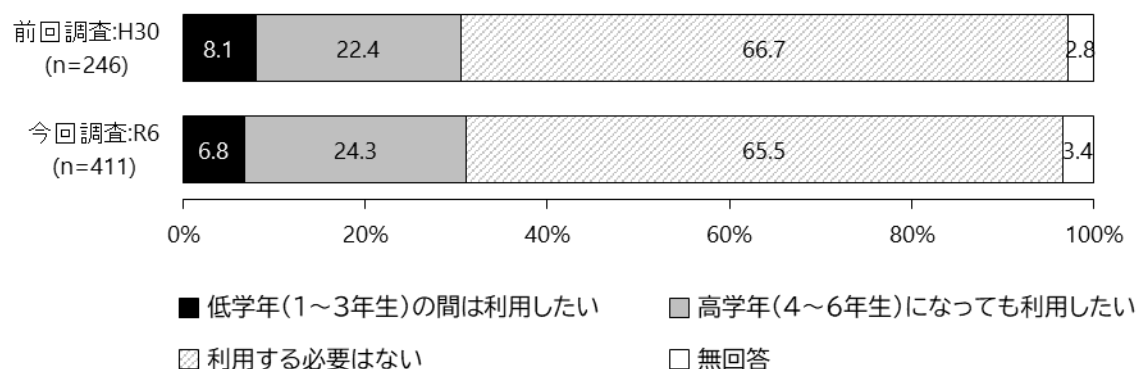
問 13 または問 14 で「放課後児童クラブ（学童保育）」を選んだ方

問15 宛名のお子さんについて、土曜日や夏休みなどの長期休暇中に、放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望はありますか。

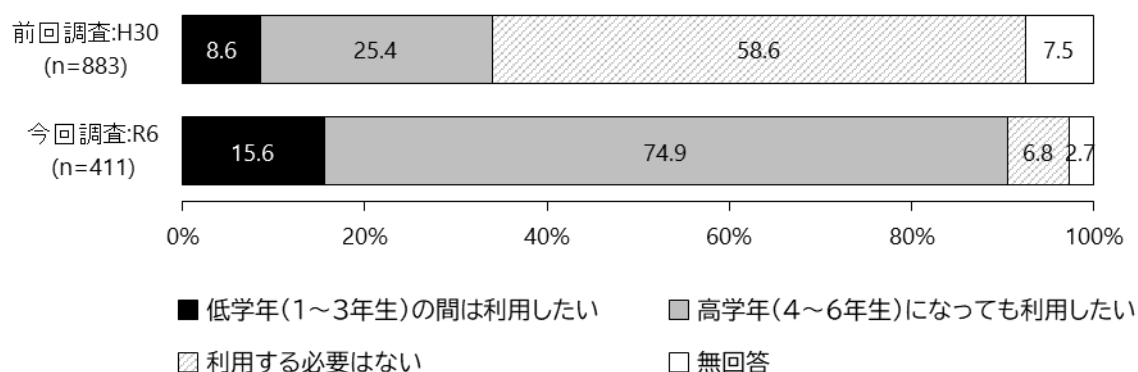
土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用意向は「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が6.8%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が24.3%と合わせて31.1%が『（低学年、高学年でも）利用したい』と回答しています。

夏休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用意向は「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が15.6%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が74.9%と合わせて90.5%が『（低学年、高学年でも）利用したい』と回答しています。

土曜日の放課後児童クラブ（学童保育）の利用意向



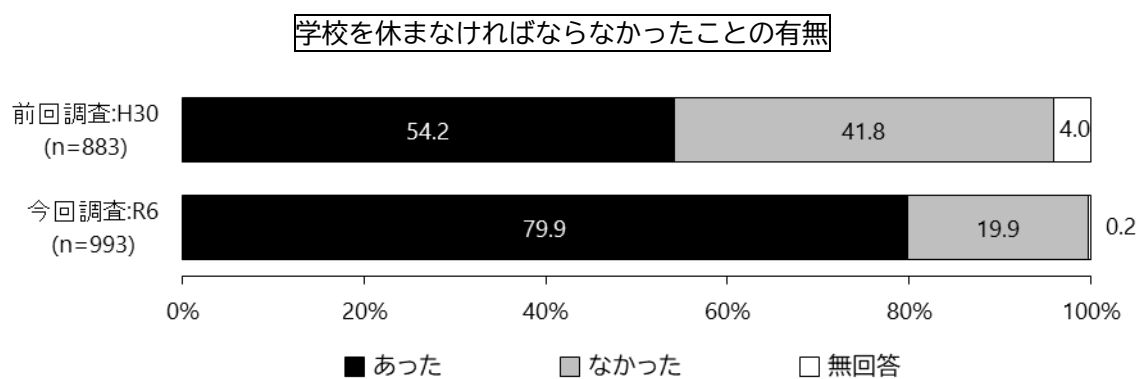
夏休みなどの長期休暇中の放課後児童クラブ（学童保育）の利用意向



子どもの病気の際の対応（一時預かり）について

問16 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。

学校を休まなければならなかったことの有無は「あった」が79.9%、「なかった」が19.9%となっています。

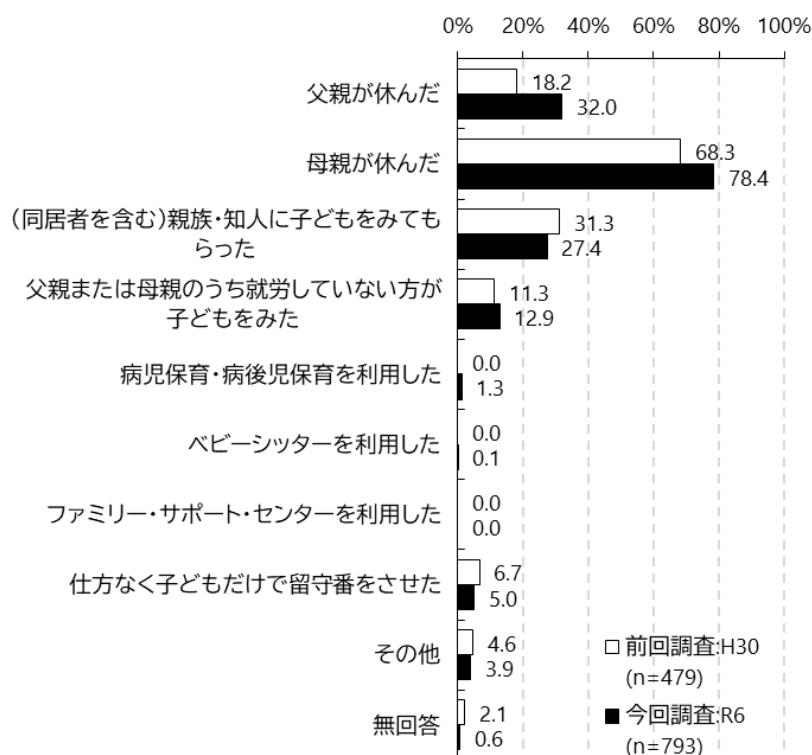


問16で「1. あった」を選んだ方

問16-1 宛名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法をお答えください。(複数回答)

学校を休まなければならなかった場合の対処方法は「母親が休んだ」が78.4%と最も多く、次いで「父親が休んだ」が32.0%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が27.4%となっています。

学校を休まなければならなかった場合の対処方法

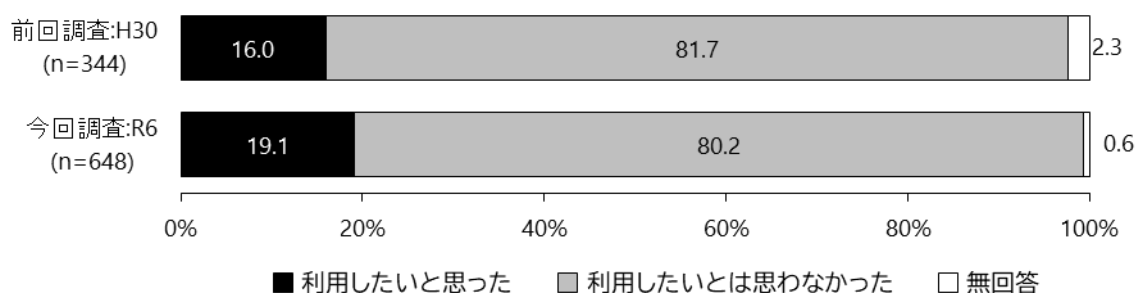


問16-1で「1. 父親が休んだ」「2. 母親が休んだ」を選んだ方

問16-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われたか。

病児保育事業の利用意向は「利用したいと思った」が19.1%、「利用したいとは思わなかった」が80.2%となっています。

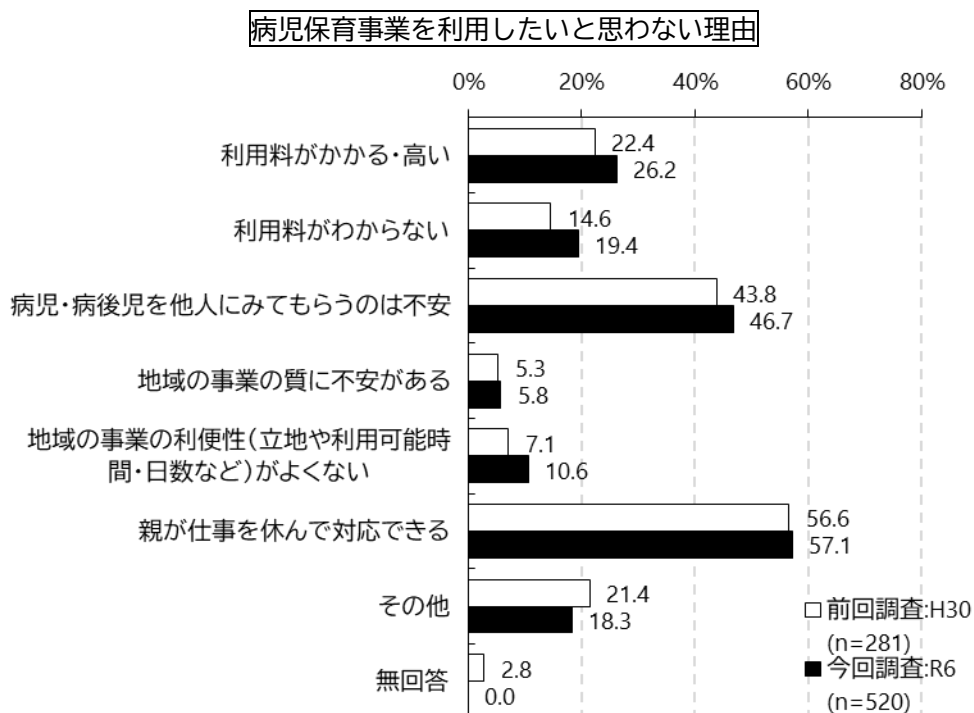
病児保育事業の利用意向



問16-2で「2. 利用したいとは思わなかった」を選んだ方

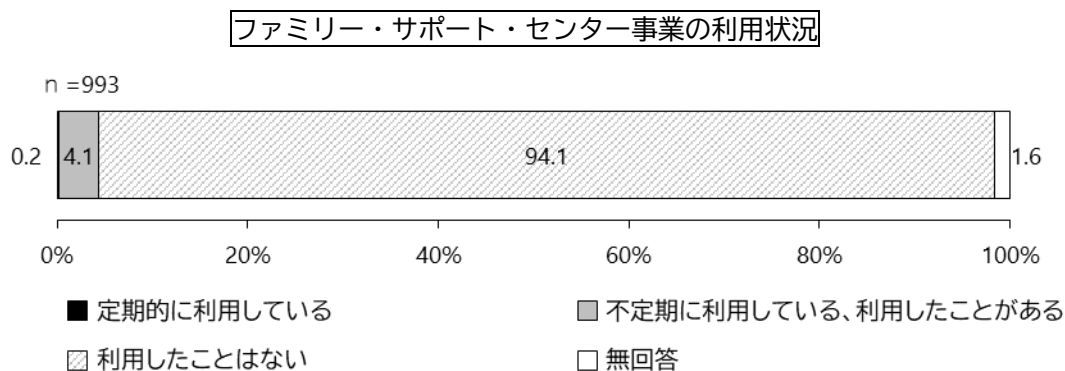
問16-3 病児保育事業を利用したいと思わない理由は何ですか。(複数回答)

病児保育事業を利用したいと思わない理由は「親が仕事を休んで対応できる」が57.1%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が46.7%、「利用料がかかる・高い」が26.2%となっています。また、「その他」は18.3%で、記述の内容は「一緒にいてあげたい」、「本人が嫌がる、子どもがかわいそう」、「申し込み方法が面倒、わからない」、「リモートワークが可能」、「祖父母等にみてもらえる」となっています。



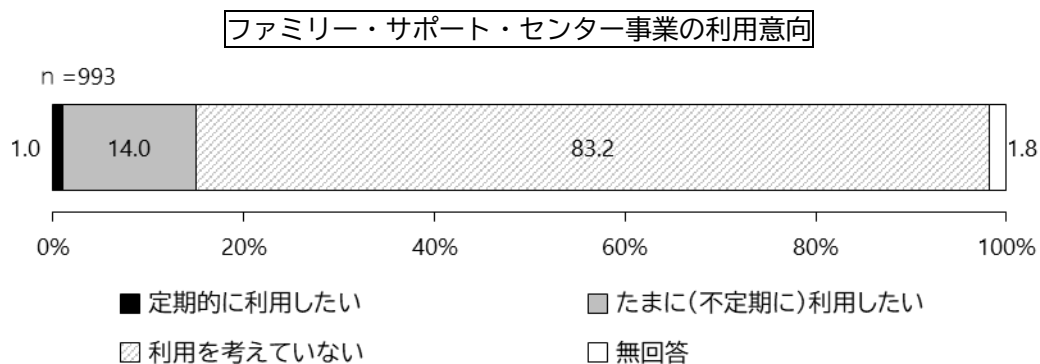
問17 普段、ファミリー・サポート・センター事業を利用されていますか。

ファミリー・サポート・センター事業の利用状況は「利用したことはない」が94.1%と多くを占め、「不定期に利用している、利用したことがある」は4.1%、「定期的に利用している」は0.2%となっています。



問18 今後、ファミリー・サポート・センター事業を利用したいですか。

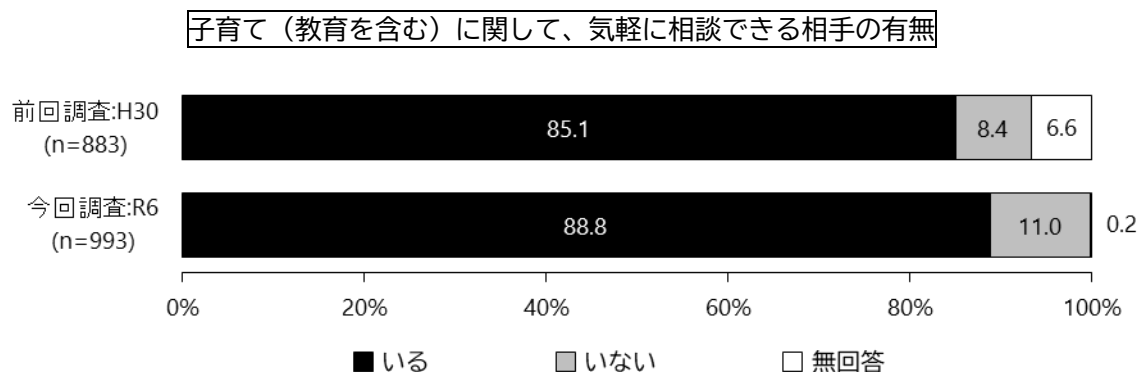
ファミリー・サポート・センター事業の利用意向は「定期的に利用したい」が1.0%、「たまに（不定期に）利用したい」が14.0%となっています。



子どもの育ちを巡る環境について

問19 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。

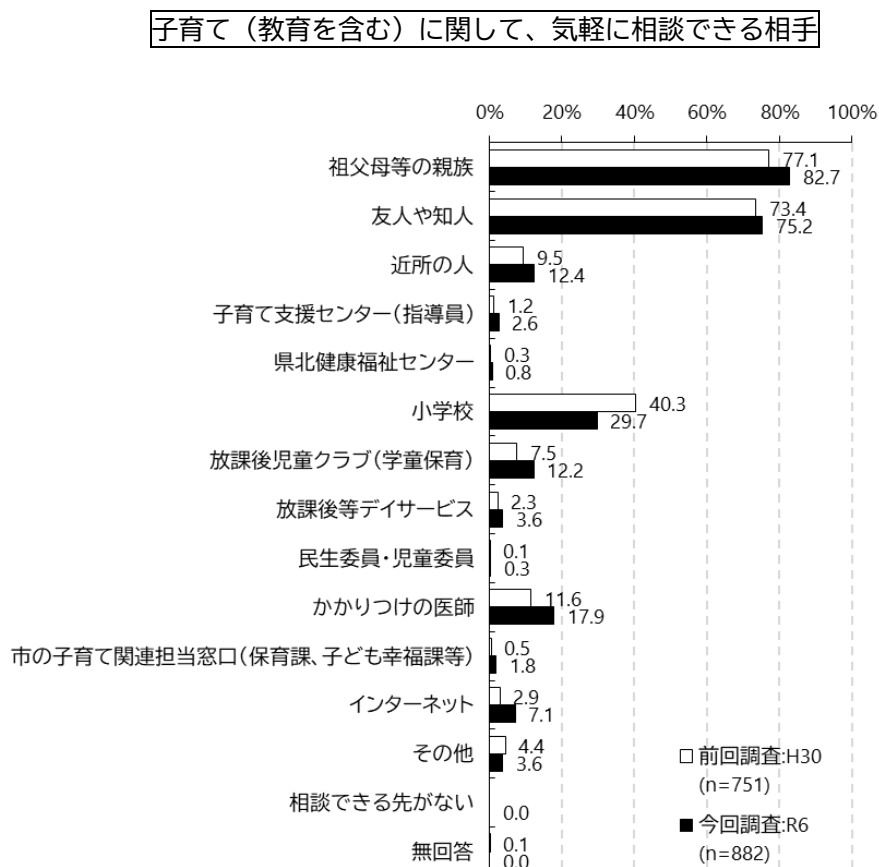
子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手の有無は「いる」が88.8%、「いない」が11.0%となっています。



問19で「1. いる」を選んだ方

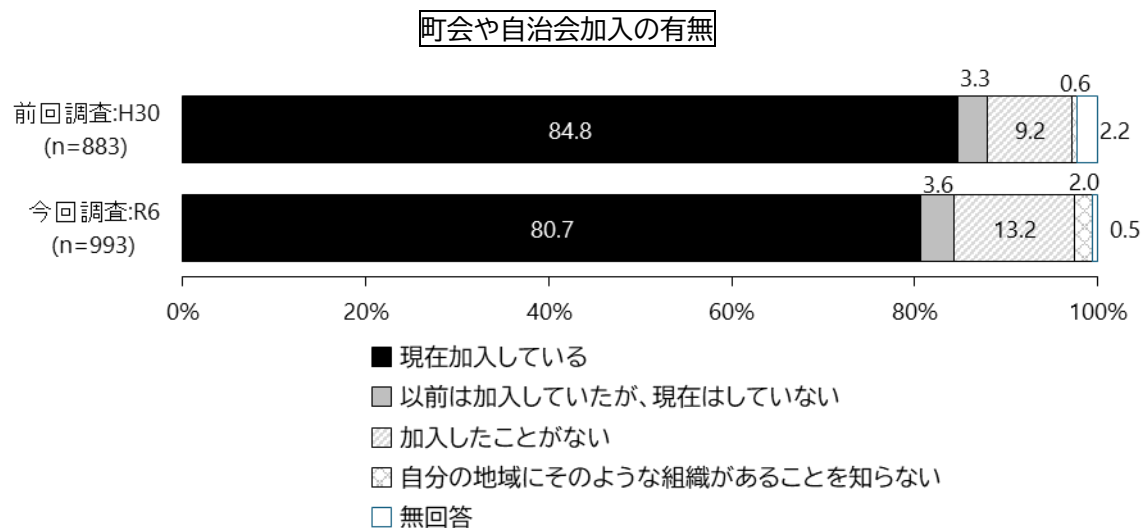
問19-1 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（複数回答）

子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手は「祖父母等の親族」が82.7%と最も多く、次いで「友人や知人」が75.2%、「小学校」が29.7%となっています。



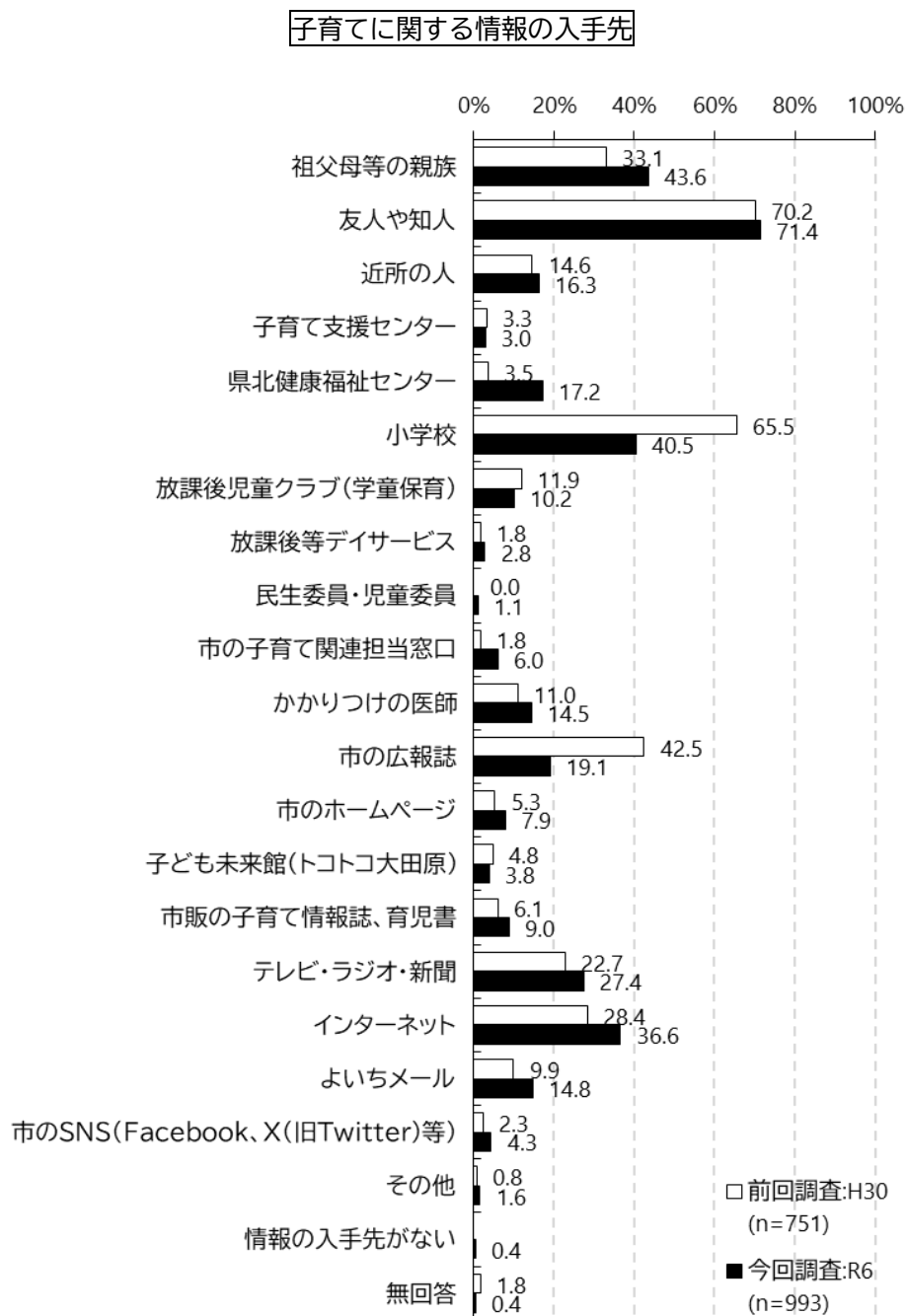
問20 あなたのご家庭は、町会や自治会に加入していますか。

町会や自治会加入の有無は「現在加入している」が 80.7%、「加入したことがない」が 13.2% となっています。



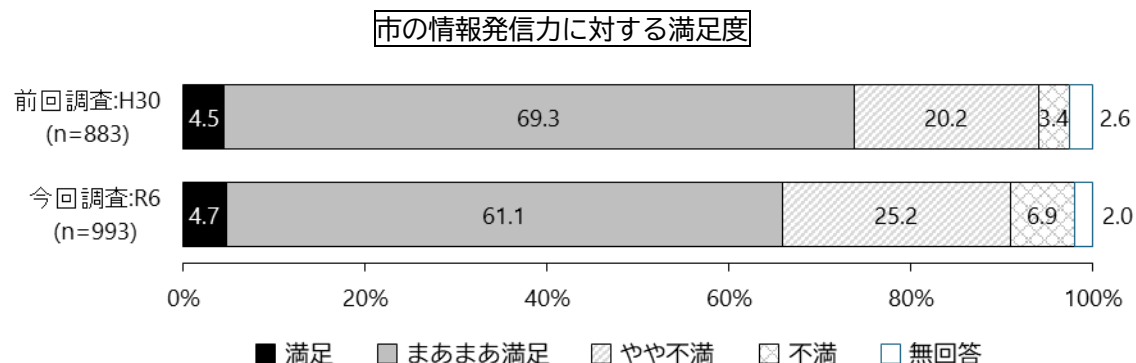
問21 子育てに関する情報は、どちらから入手していますか。(複数回答)

子育てに関する情報の入手先は「友人や知人」が71.4%と最も多く、次いで「祖父母等の親族」が43.6%、「小学校」が40.5%となっています。



問22 市の情報発信力に対する満足度をお答えください。

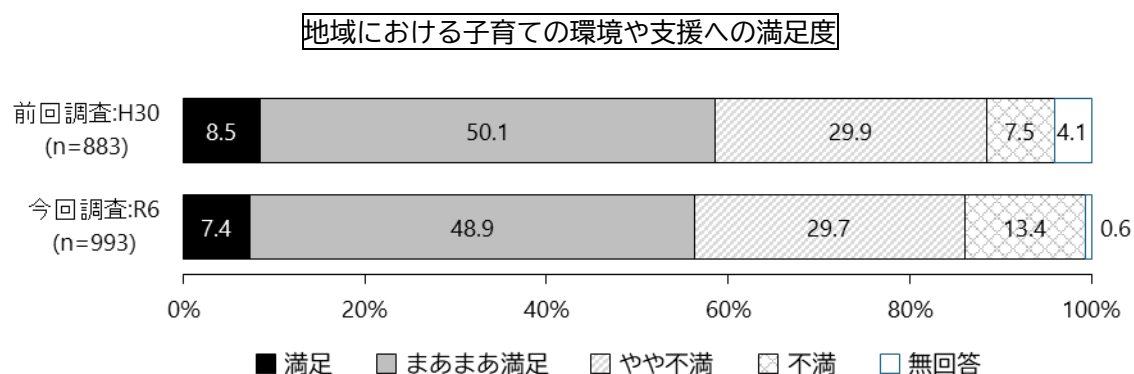
市の情報発信力に対する満足度は「満足」が 4.7%、「まあまあ満足」が 61.1%と合わせると、65.8%が『満足』と回答しています。



子育て支援について

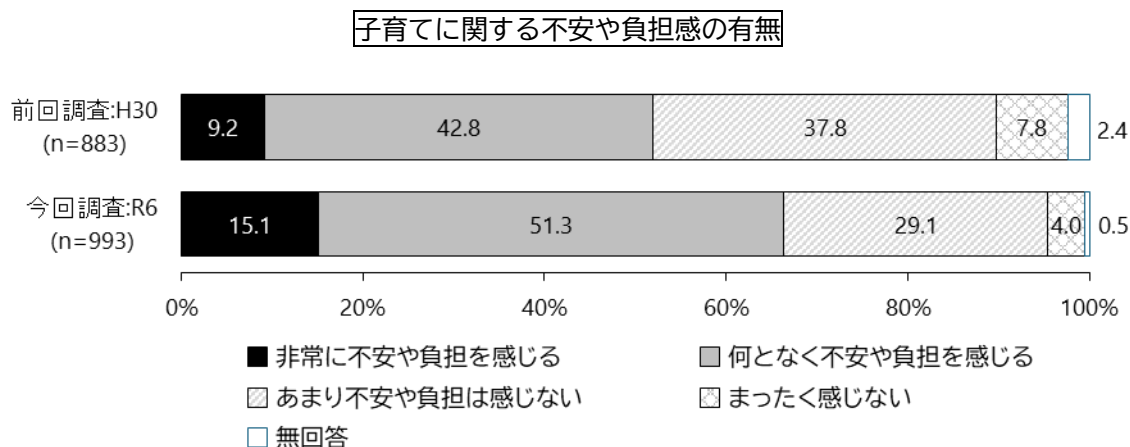
問23 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。

地域における子育ての環境や支援への満足度は「満足」が 7.4%、「まあまあ満足」が 48.9%と合わせると、56.3%が『満足』と回答しています。



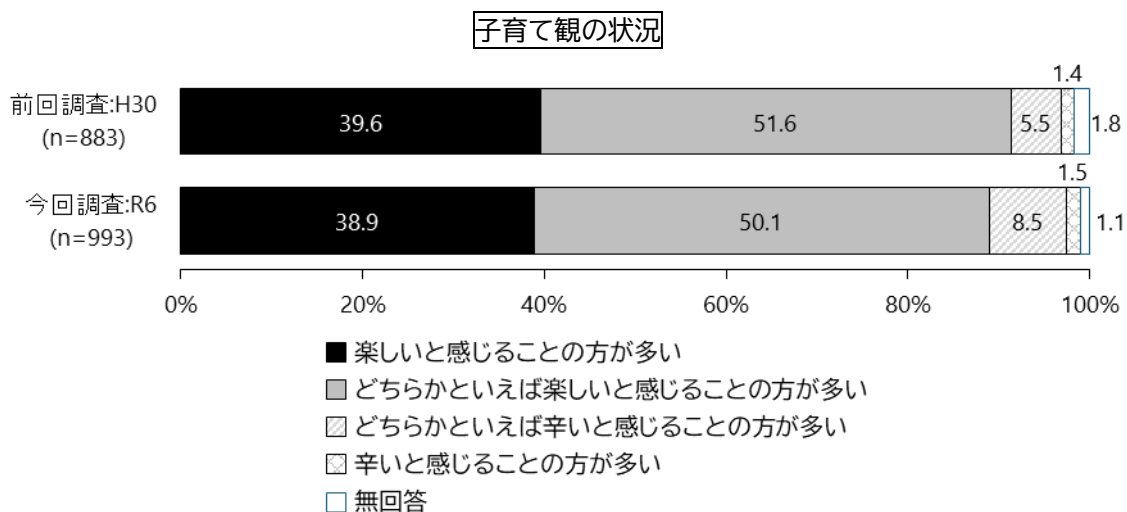
問24 子育てに関して不安や負担を感じることがありますか。

子育てに関する不安や負担感の有無は「非常に不安や負担を感じる」が 15.1%、「何となく不安や負担を感じる」が 51.3%と合わせると、66.4%が『不安や負担を感じる』と回答しています。



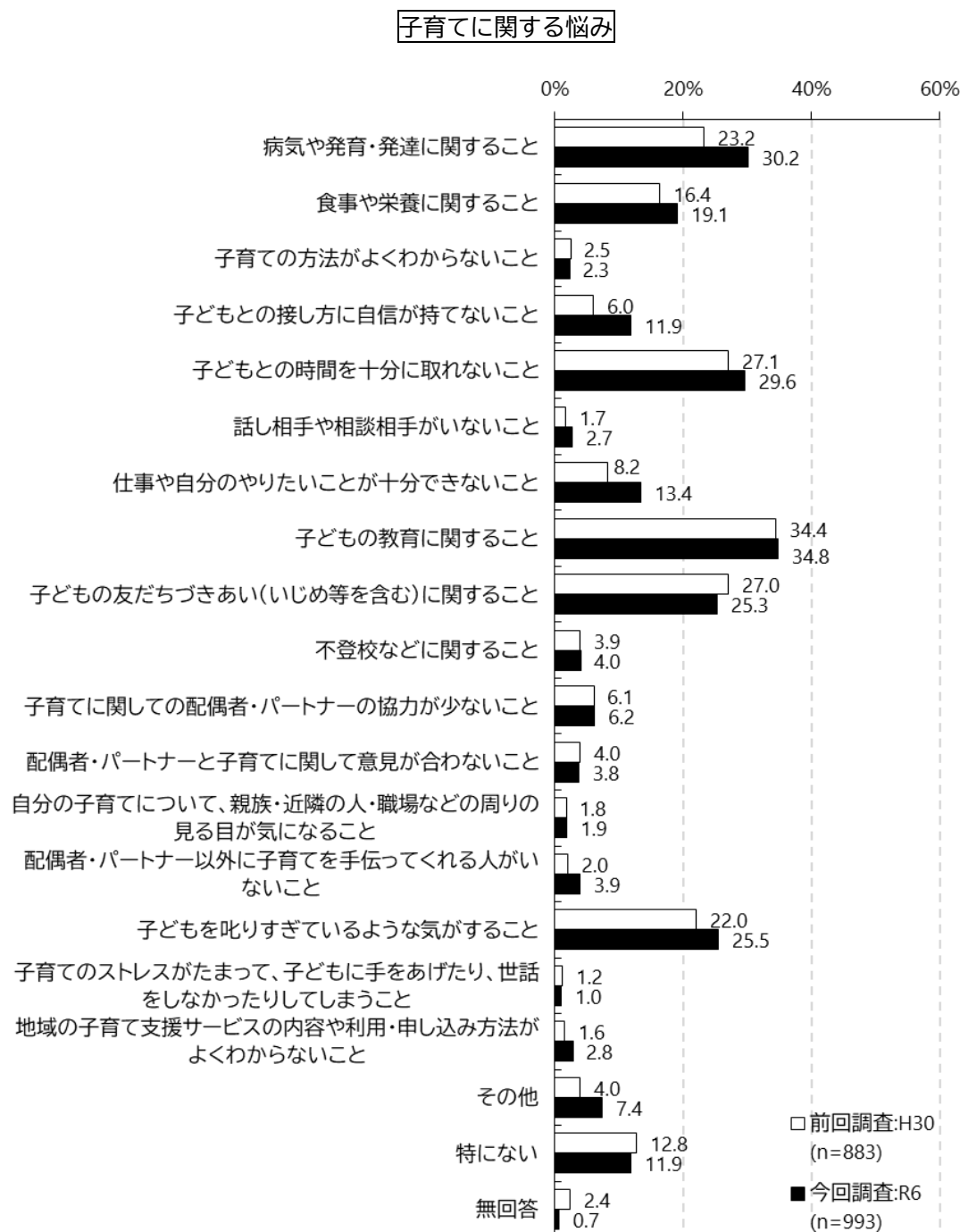
問25 あなたは、自分にとって子育てを楽しんでいると感じるときが多いと思いますか。それとも辛いと感じるときが多いと思いますか。

子育て観の状況は「楽しいと感じることの方が多い」が 38.9%、「どちらかといえば楽しいと感じることの方が多い」が 50.1%と合わせると、89.0%が『楽しいと感じることの方が多い』と回答しています。



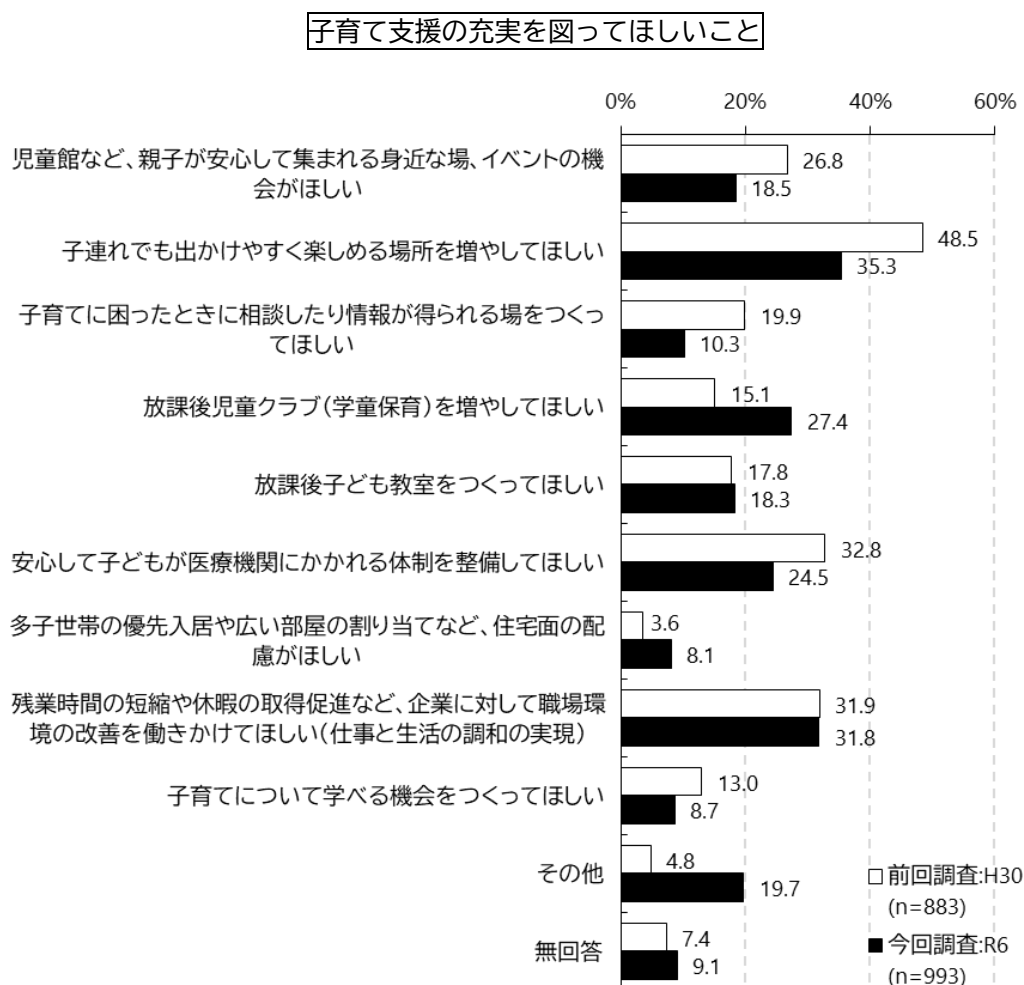
問26 子育てに関して、日頃悩んでいること、気になることはどのようなことですか。
(複数回答)

子育てに関する悩みは「子どもの教育に関すること」が34.8%と最も多く、次いで「病気や発育・発達に関すること」が30.2%、「子どもとの時間を十分に取れないこと」が29.6%となっています。



問27 行政に対して、今後どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待しますか。
(複数回答)

子育て支援の充実を図ってほしいことは「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が35.3%と最も多く、次いで「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい(仕事と生活の調和の実現)」が31.8%、「放課後児童クラブ(学童保育)を増やしてほしい」が27.4%となっています。また、「その他」は19.7%で、記述の内容は「給食費の補助」、「小児科、耳鼻科の充実」、「多子世帯への金銭的支援」等が多くなっています。



問28 最後に、教育・保育事業の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。(自由記述)

意見欄に記入があったのは 353 件で主な意見は以下のとおりです。

- ・低料金で勉強を教えてもらえるような塾のような場所をつくってほしい。
- ・遊具が充実した公園が少ないように思います。例えば、与一の里や美原公園などに大きな遊具がある広々とした公園を整備してくれるといいなと思う。中央公園の遊具は小さい子ども向けで小学生には物足りない。
- ・女性が小さい子どもがいても、若くなくても、転職、再就職ができるようになってほしい。思っていたように子育てができずにキャリアをあきらめなければならなかったり、子どもと過ごせる時間を働きながらも確保できるようになったり…それぞれの家庭の状況に合わせて、子どもと向き合いながらも生活を維持できる世の中になってほしいです。常に世の中の動きに合わせて支援もアップデートしていったほしいです。昔は…というのはなしで。
- ・ひとり親で、自分の親（子どもからしたら祖父や祖母）がいないと、なかなか1人の時間が持てずストレスがたまりやすい。ファミサポなどで割引があると助かる（無料でなくてOKなので20%オフなど）。障がいや発達がある子の親の交流もあるとよい。一緒にお外で自然の観察をしたり、のびのびできる交流活動など、周りの目を気にしなくてすむ交流活動があったらよいと思う。
- ・給食費の補助金がなくなってしまったことがとても残念です。現在の給食費も他の市と比べたら安い方なのかもしれませんが、元々無償だったので、負担に感じます。また、現在通学している学童の料金が高く、夏休み等は数万円かかってしまい短時間パートでは負担が大きいです。子どもの運動不足も心配なので、スポーツなどの習い事が近場で増えたらうれしいです。
- ・子どもはすべての大人にとって宝です。将来、大田原に定住し生活できるように施策を実施してほしいです。現在の日本を支えてくれた先人への感謝は当然ありますが、今の政治は子育て現役世代にとって厳しすぎます。大田原市から子育てに関する施策を発信し、模範となしてほしいです。子どもたちが未来に希望を持てる施策をお願いします。また、子育てをしている親に少しでも寄り添う施策をしてください。給食費の無償化、市独自の奨学金制度、大学の誘致、また農業を中心に市内で生産されたものの子どもたちへの提供など。
- ・母親が午前中アルバイトで短時間勤務していますが、夏休み等長期休暇中に午前中2～3時間のみ預かっていただける場所（学童等）があったらなと思います。通常の学童だと金額的にも利用しづらいです。

- ・ コロナ禍の時は、支援センターが人数制限で入れなかったり、公園が立ち入り禁止になっていて利用できなかったりと、とても孤独で世の中から拒否されているような気持ちで子育てしていました。今は緩和され、子ども未来館等安心して遊べる場所があり、助けられています。子育ては孤立してはダメだと思います。ママやパパが気軽にいつでも子どもを連れて遊べる場所がある町づくりをこれからもよろしくお願いします。
- ・ 地域に、子どもたちが集まれる場所がありません。市内では大きな公園があり、子ども同士で待ち合わせしたり、買い物の経験ができますが、この地域では全くありません。土・日、学校が休みの日は自宅にいます。もっと社会経験がさせたいです。環境が違いすぎて、市内の子どもたちとの格差がすごいです。公園、子どもが遊びに行くにも車が必要で、地域内で遊ぶにもお金がかかります。
- ・ 育休を利用し、職場復帰しましたが、周りの方に負担（仕事面）が出てしまうので、急な休みなど、休みを取りやすい環境づくりが大切だと思います。また、子どもがいない方に対して負担が大きくなると不公平を感じたりするので、何か対策をしていただけるとよいのですが…。
- ・ 就労したくても学童に預けられない（定員オーバー）。パートタイムは厳しいらしい。学童の情報がわかりづらい。
- ・ コロナ以降、子どもたちが楽しめるイベントが減少していると思います。子どもたちが”体験”できる環境の充実を希望します。与一まつり（流し踊り）など、子どもたちがたくさん参加できるイベントを計画いただけると幸いです。
- ・ ひとり親世帯は時間にも制限があり、収入にも不利な部分があります。自分の都合で選んだ道ですが、そうせざるを得なかったことも事実であり、ひとり親世帯になってしまった場合、頑張っても夫婦共働き家庭との収入差は明らかで、今後の育児や教育にも不安が残ります。支援をご検討の際には個人収入ではなく、世帯収入でご検討いただけると幸いです。
- ・ 子どもへの接し方、声のかけ方など教師、保育士に定期的に指導を行ってほしい。不適切な言葉をかけられていたケースが何度かあった。子どもを育てる上で両親が使わないような言葉を使われるのはいかなものかなと。

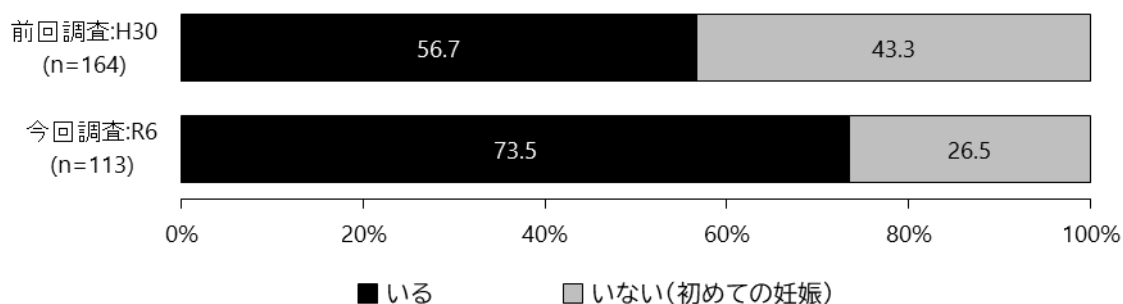
妊産婦調査 集計結果

子どもの状況について

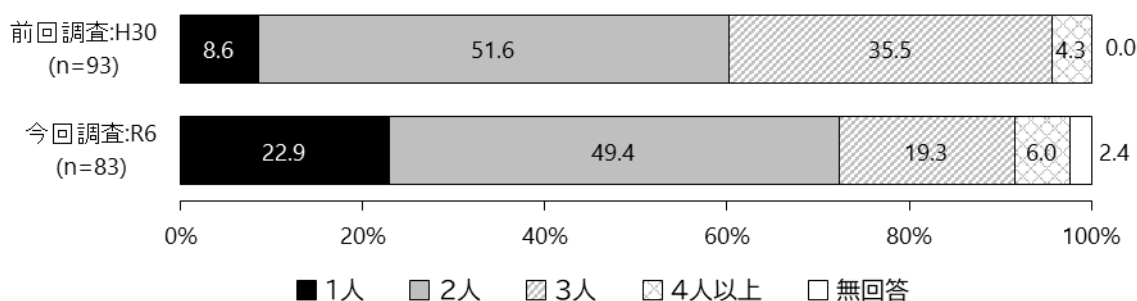
問1 あなたは、現在お子さんがいらっしゃいますか。いる場合は、今度のお子さんは何人目ですか。

子どもの有無は「いる」が73.5%、「いない（初めての妊娠）」が26.5%となっています。
また、子どもの人数は「2人」が49.4%、「1人」が22.9%、「3人」が19.3%となっています。

子どもの有無

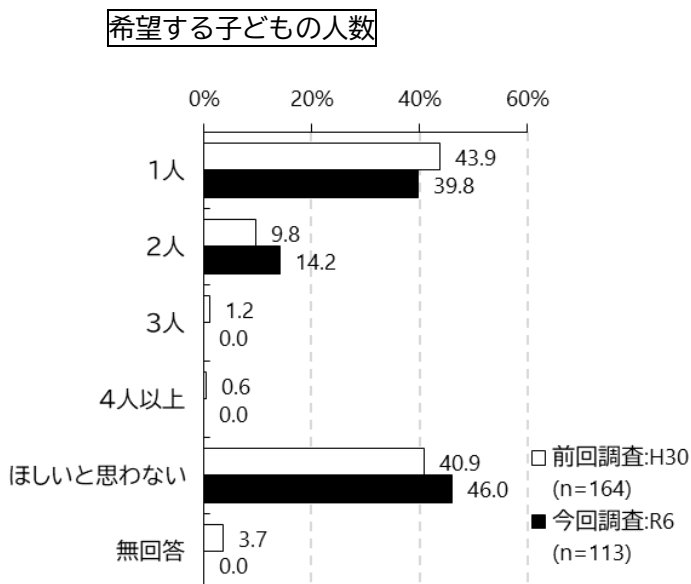


子どもの人数



問2 あと何人子どもがほしいと思いますか。

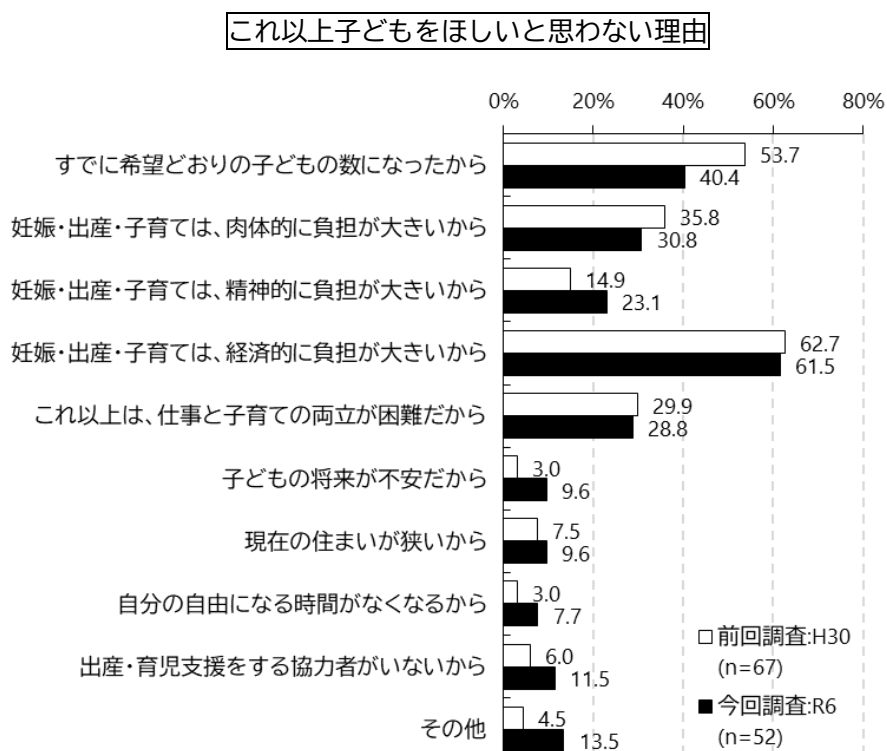
希望する子どもの人数は「1人」が39.8%、「2人」が14.2%となっています。また、「ほしいと思わない」は46.0%となっています。



問2で「5. ほしいと思わない」と回答した方

問2-1 これ以上子どもをほしいと思わない理由は何ですか。(複数回答)

これ以上子どもをほしいと思わない理由は「妊娠・出産・子育ては、経済的に負担が大きいから」が61.5%と最も多く、次いで「すでに希望どおりの子どもの数になったから」が40.4%となっています。



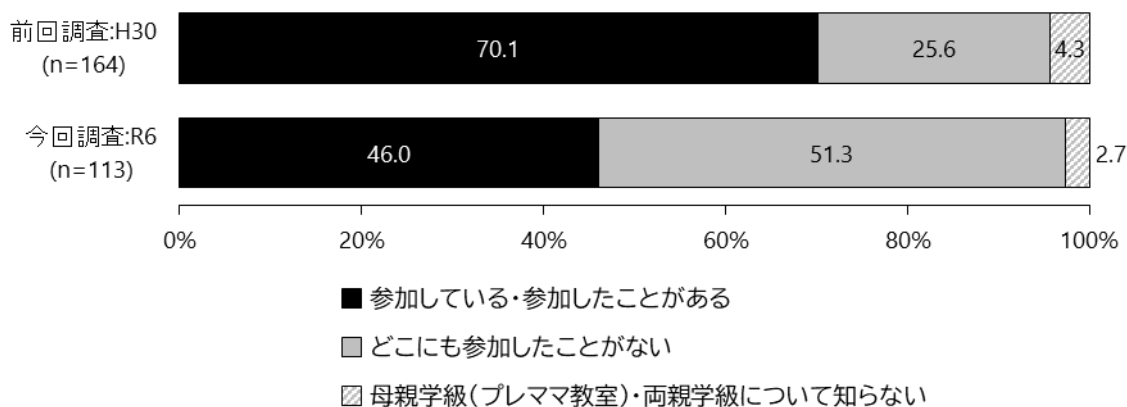
母親学級（プレママ教室）・両親学級について

問3 母親学級（プレママ教室）・両親学級に参加していますか、または参加したことがありますか。

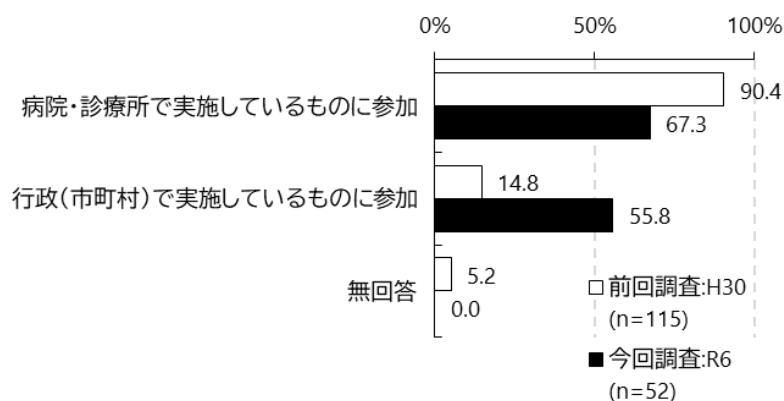
母親学級（プレママ教室）・両親学級の参加状況は「参加している・参加したことがある」が46.0%、「どこにも参加したことがない」が51.3%となっています。

また、参加している・参加したことがある場合の実施場所は「病院・診療所で実施しているものに参加」が67.3%、「行政（市町村）で実施しているものに参加」が55.8%となっています。

母親学級（プレママ教室）・両親学級の参加状況



母親学級（プレママ教室）・両親学級の実施場所（複数回答）

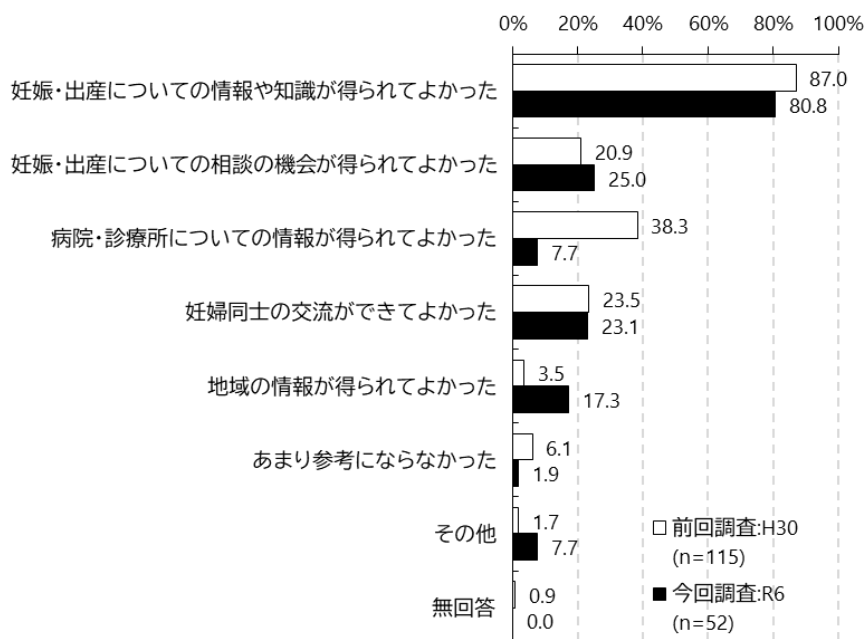


問3で「1. 参加している・参加したことがある」を選んだ方

問3-1 参加した感想はいかがでしたか。(複数回答)

母親学級（プレママ教室）・両親学級の感想は「妊娠・出産についての情報や知識が得られてよかった」が 80.8%と最も多く、次いで「妊娠・出産についての相談の機会が得られてよかった」が 25.0%、「妊婦同士の交流ができてよかった」が 23.1%となっています。

母親学級（プレママ教室）・両親学級の感想

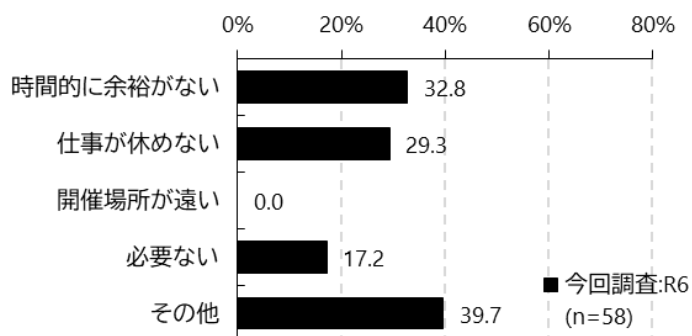


問3で「2. どこにも参加したことがない」を選んだ方

問3-2 母親学級（プレママ教室）・両親学級に参加したことがない理由は何ですか。(複数回答)

母親学級（プレママ教室）・両親学級に参加したことがない理由は「時間的に余裕がない」が 32.8%、「仕事が休めない」が 29.3%、「必要ない」が 17.2%となっています。「その他」は 39.7%となっており、記述内容は「コロナ禍だった」、「どこで開催しているかわからない」等となっています。

母親学級（プレママ教室）・両親学級に参加したことがない理由

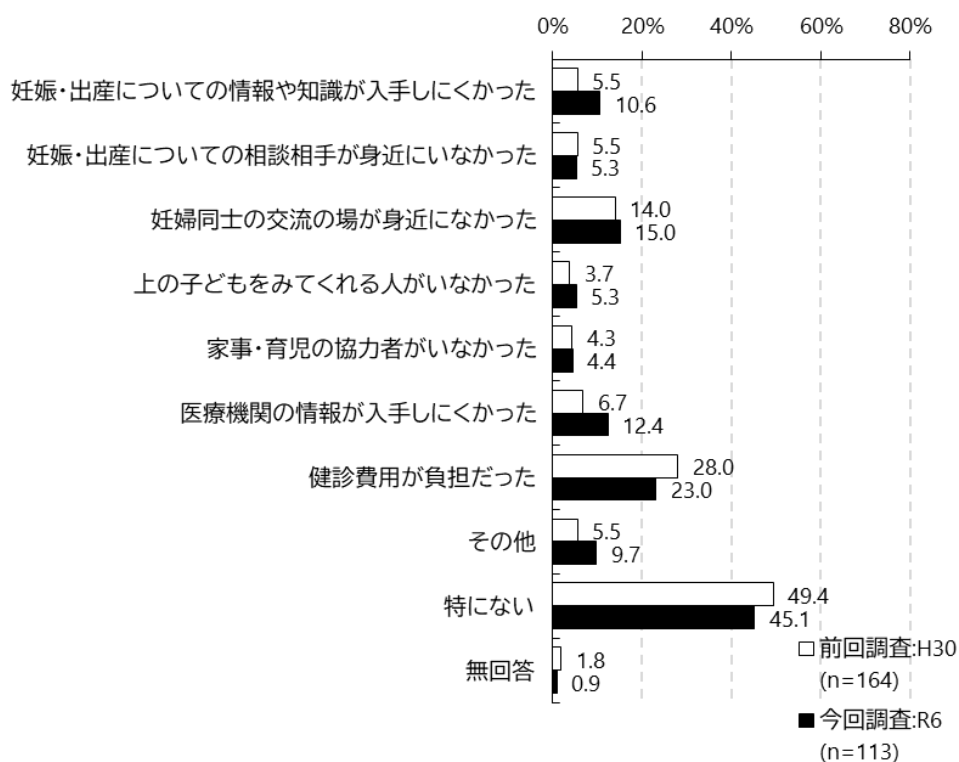


困りごとや相談先等について

問4 妊娠・出産に関して、困ったことはありませんでしたか。(複数回答)

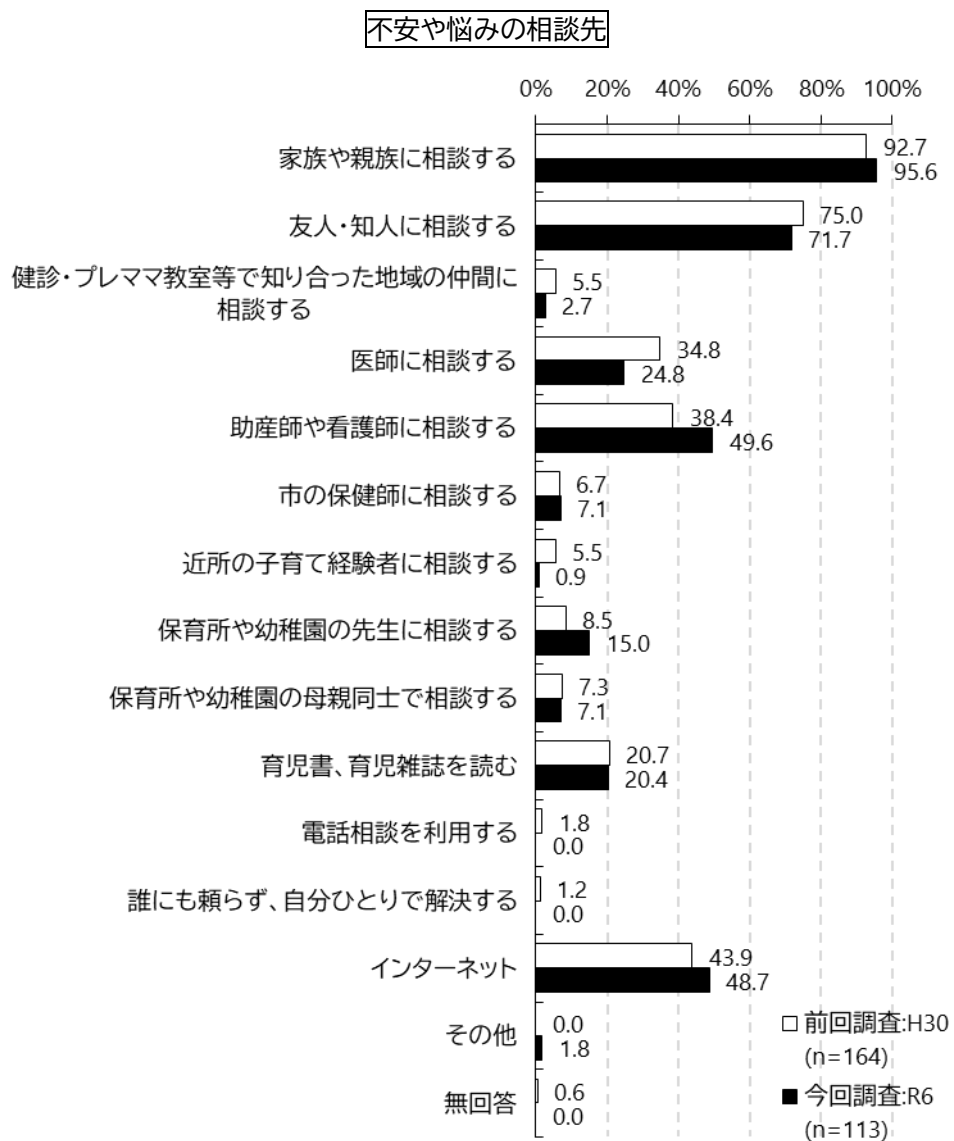
妊娠・出産に関して困ったことは「健診費用が負担だった」が23.0%、「妊婦同士の交流の場が身近になかった」が15.0%、「医療機関の情報が入手しにくかった」が12.4%となっています。また、「特にない」は45.1%となっています。

妊娠・出産に関して困ったこと



問5 不安や悩みをどのような方に相談しますか。(複数回答)

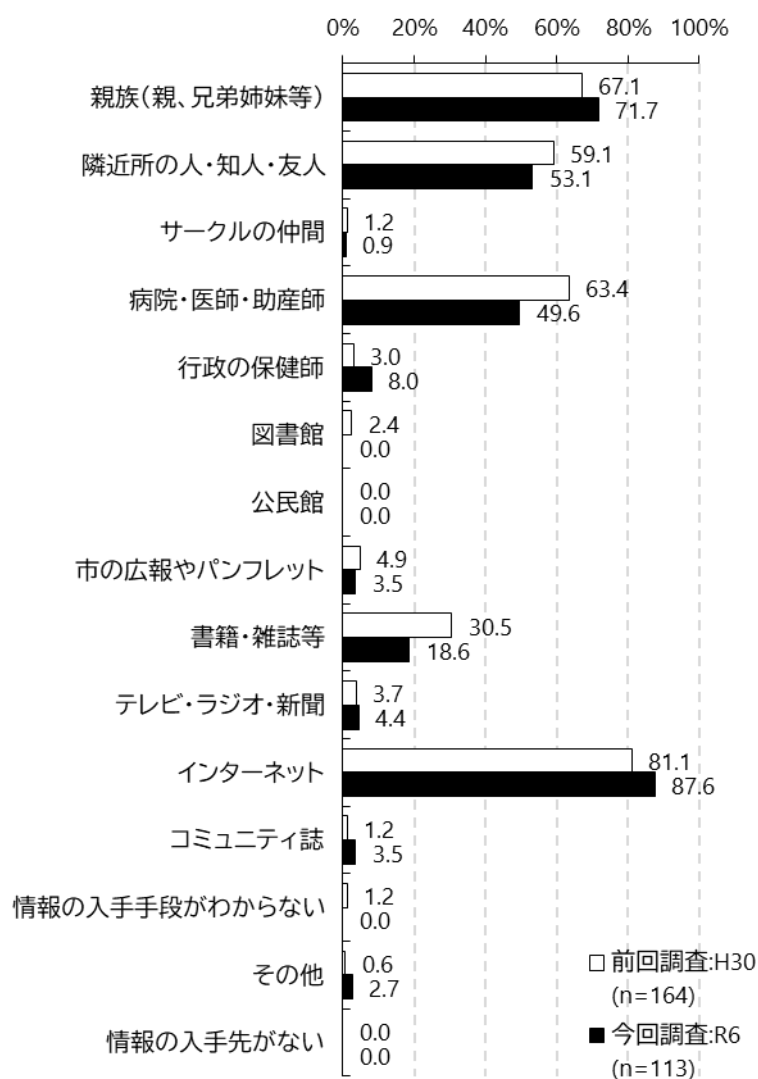
不安や悩みの相談先は「家族や親族に相談する」が95.6%と最も多く、次いで「友人・知人に相談する」が71.7%、「助産師や看護師に相談する」が49.6%、「インターネット」が48.7%となっています。



問6 妊娠・出産に関する情報をどのように入手されていますか。(複数回答)

妊娠・出産に関する情報の入手先は「インターネット」が87.6%と最も多く、次いで「親族(親、兄弟姉妹等)」が71.7%、「隣近所の人・知人・友人」が53.1%、「病院・医師・助産師」が49.6%となっています。

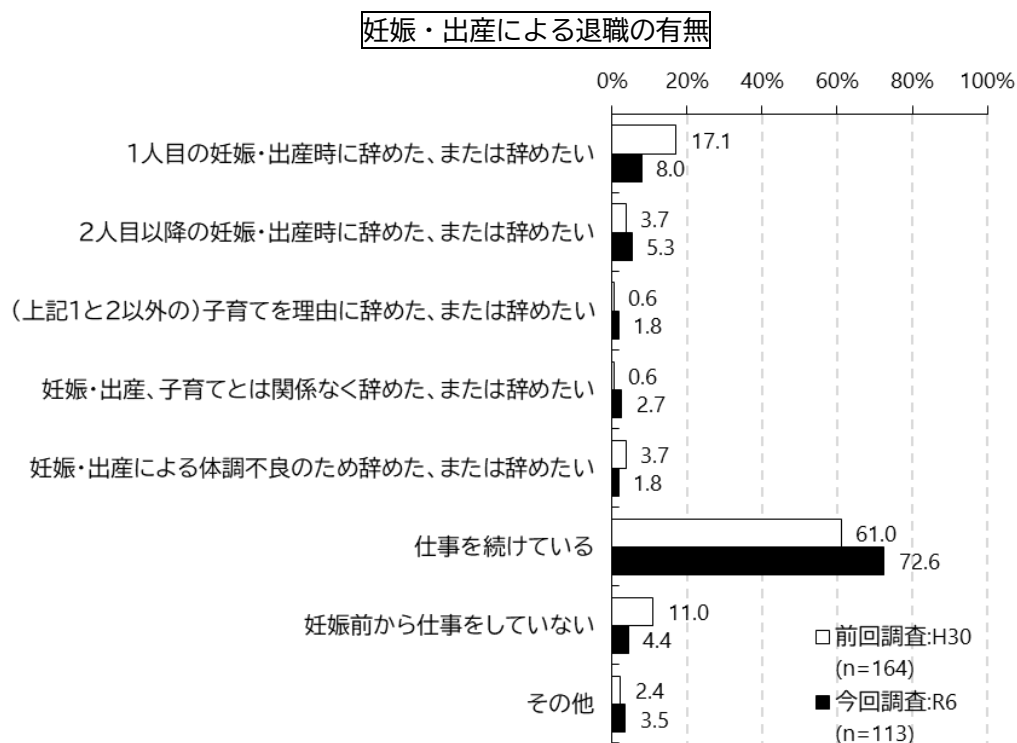
妊娠・出産に関する情報の入手先



就労状況について

問7 妊娠・出産等をきっかけに仕事を辞めた、また辞めようと思っていますか。

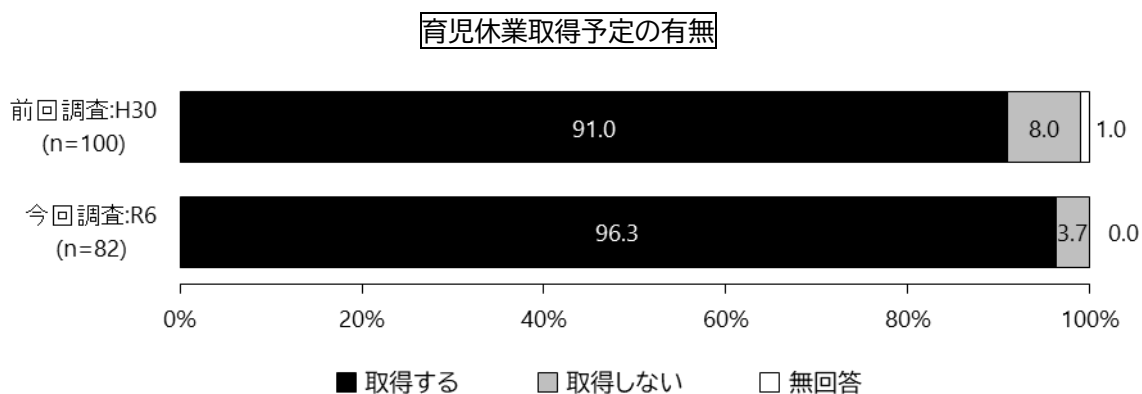
妊娠・出産による退職の有無は「1人目の妊娠・出産時に辞めた、または辞めたい」が8.0%、「2人目以降の妊娠・出産時に辞めた、または辞めたい」が5.3%となっています。また、「仕事を続けている」は72.6%となっています。



問7で「6. 仕事を続けている」を選んだ方

問7-1 あなたは、育児休業を取得する予定ですか。

育児休業取得予定の有無は「取得する」が96.3%、「取得しない」が3.7%となっています。

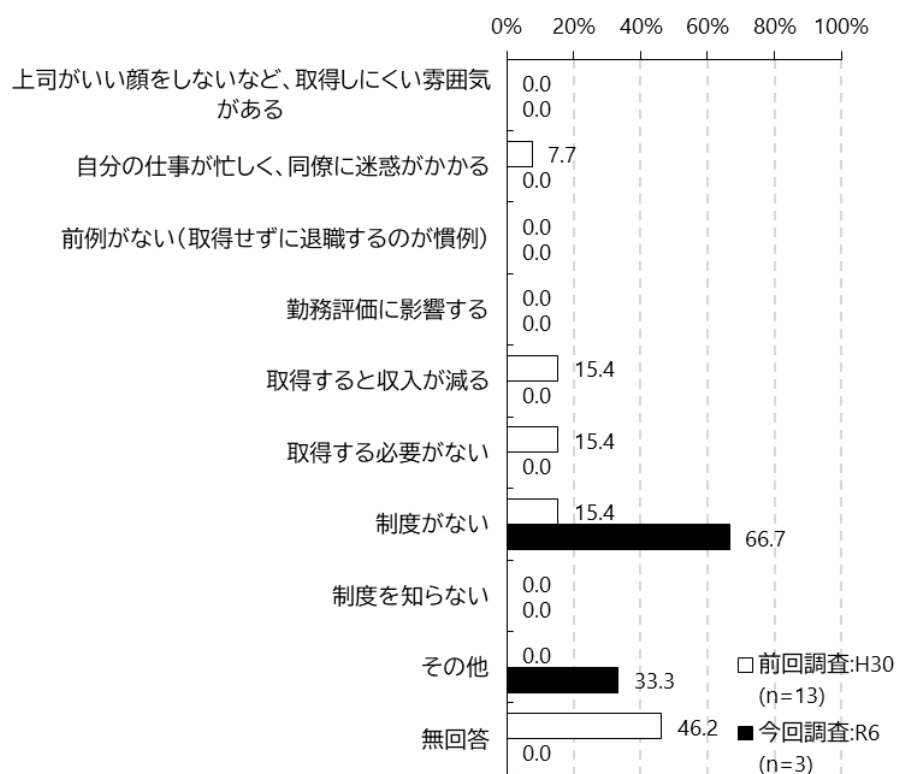


問7-1で「2. 取得しない」を選んだ方

問7-2 育児休業を取得しない理由は何ですか。(複数回答)

育児休業を取得しない理由は、3件中「制度がない」が2件となっています。「その他」の記述内容は「業務の担い手が他にいないため」となっています。

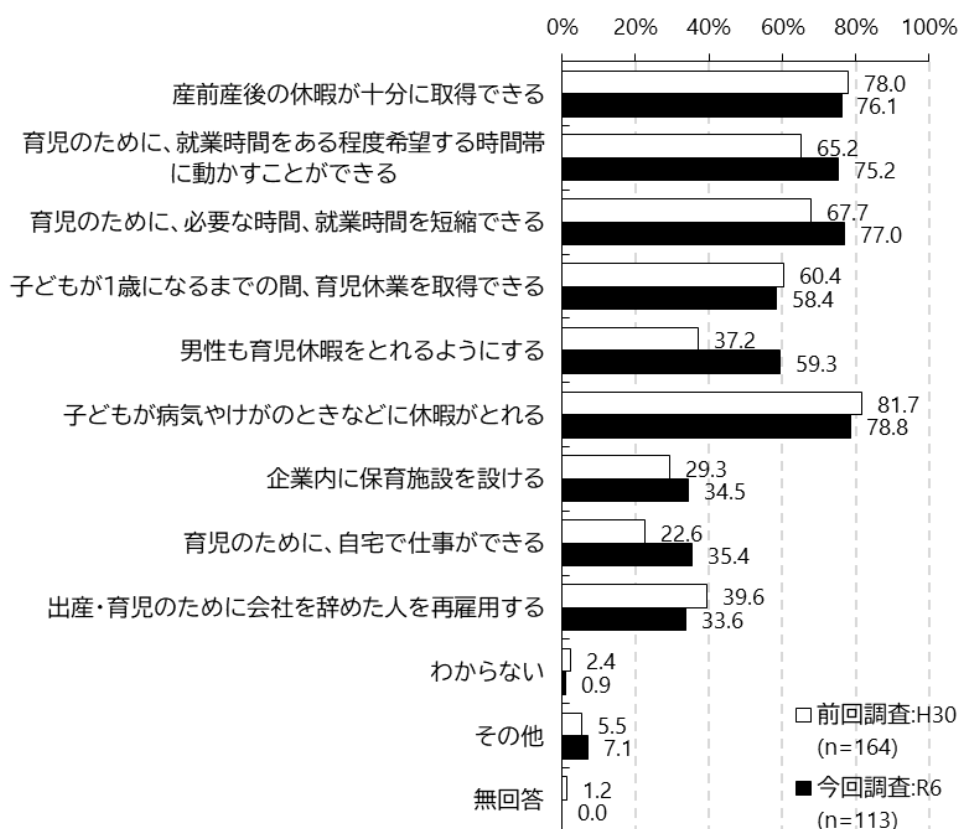
育児休業を取得しない理由



問8 仕事を持っている女性が妊娠・出産や子育てと仕事の両立を図りやすくするために、企業に普及してもらいたいと思うことは、どのようなものですか。(複数回答)

妊娠・出産や子育てと仕事の両立を図るために企業に希望することは「子どもが病気やけがのときなどに休暇がとれる」が78.8%と最も多く、次いで「育児のために、必要な時間、就業時間を短縮できる」が77.0%、「産前産後の休暇が十分に取得できる」が76.1%、「育児のために、就業時間のある程度希望する時間帯に動かすことができる」が75.2%となっています。

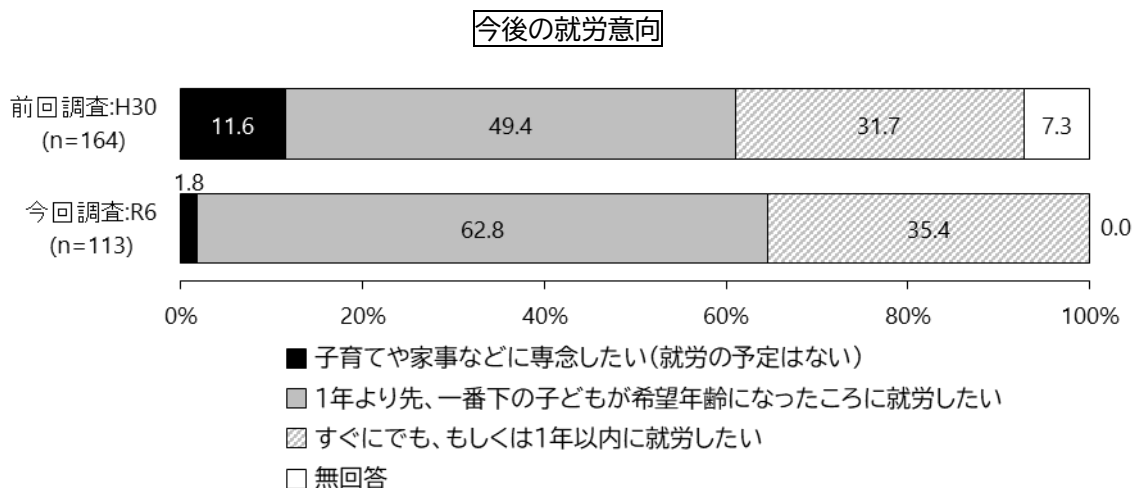
妊娠・出産や子育てと仕事の両立を図るために企業に希望すること



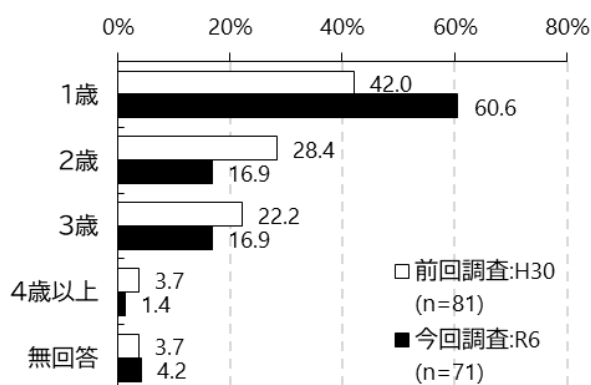
問9 今後の就労意向をおうかがいします。

今後の就労意向は「1年より先、一番下の子どもが希望年齢になったところに就労したい」が62.8%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が35.4%となっています。

希望する就労時期は末子の年齢が「1歳」が60.6%、「2歳」、「3歳」が16.9%となっています。



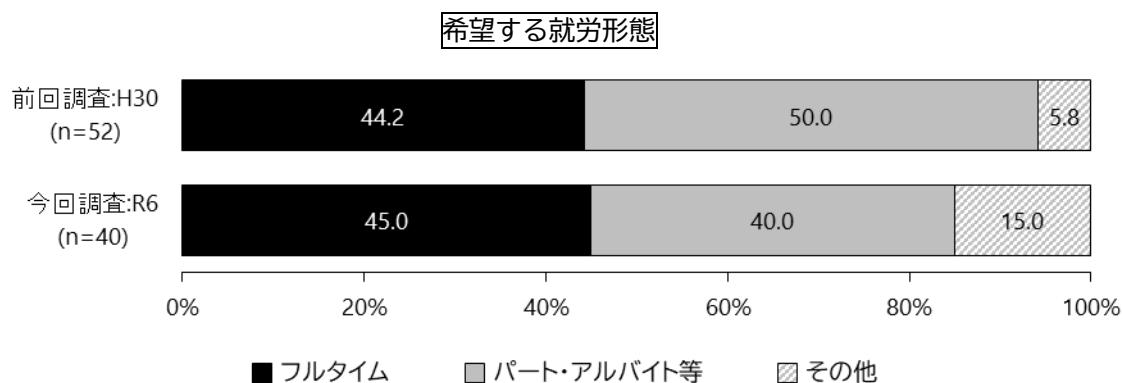
希望する就労時期（末子の子どもの年齢）



問9で「3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方

問9-1 希望する就労形態をお答えください。

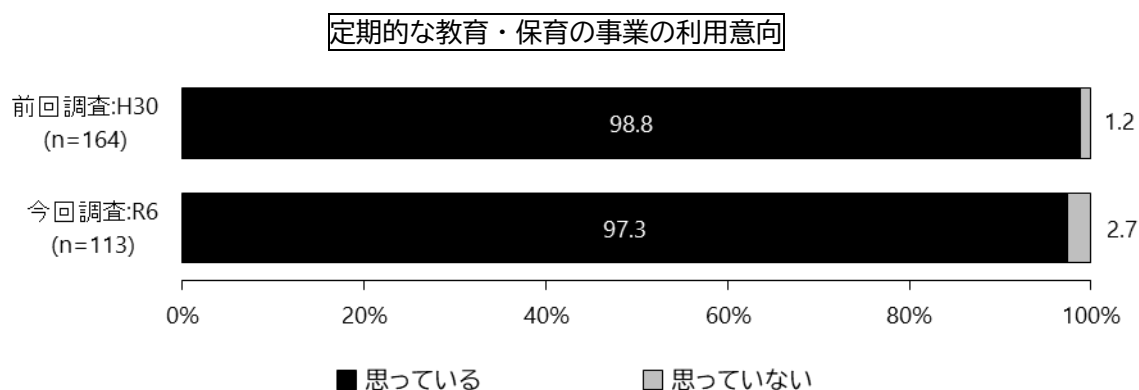
希望する就労形態は「フルタイム」が45.0%、「パート・アルバイト等」が40.0%となっています。



教育・保育の事業や地域の子育て支援事業について

問10 出産後、「お子さん」を保育所や幼稚園などの「定期的な教育・保育の事業」に通わせたいと思っていますか。

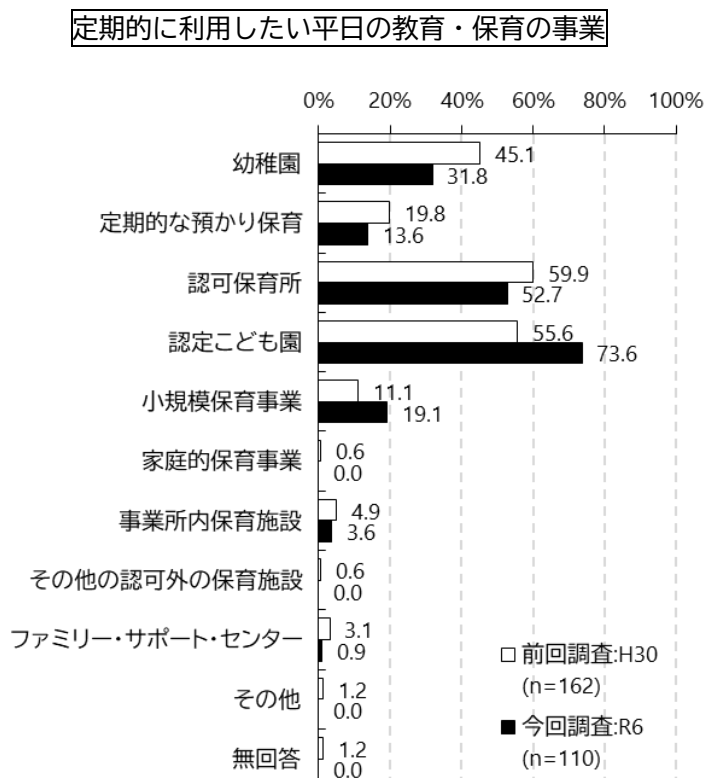
定期的な教育・保育の事業の利用意向は、通わせたいと「思っている」が97.3%、「思っていない」が2.7%となっています。



問10で「1. 思っている」を選んだ方

問10-1 出産後、お子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(複数回答)

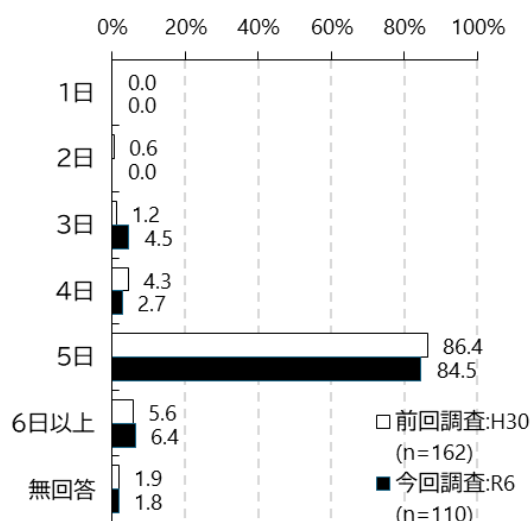
定期的に利用したい平日の教育・保育の事業は「認定こども園」が73.6%と最も多く、次いで「認可保育所」が52.7%、「幼稚園」が31.8%となっています。



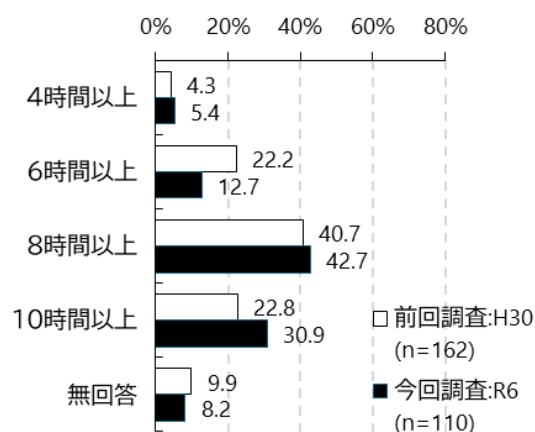
問10-2 平日に定期的に利用したい教育・保育の事業について、どのくらい利用したいですか。

平日の定期的な教育・保育事業の1週あたり利用希望日数は「5日」が84.5%となっています。
1日あたり利用希望時間は「8時間以上」が42.7%、「10時間以上」が30.9%となっています。
利用希望開始時間は「8時台」が44.5%、「9時台」が30.0%、「7時台」が20.9%となっています。
利用希望終了時間は「18時台」が49.4%、「17時台」が25.5%、「16時台」が17.3%となっています。

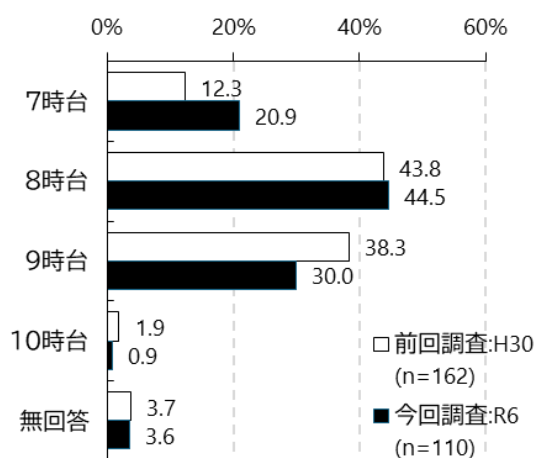
平日の定期的な教育・保育事業の
1週あたり利用希望日数



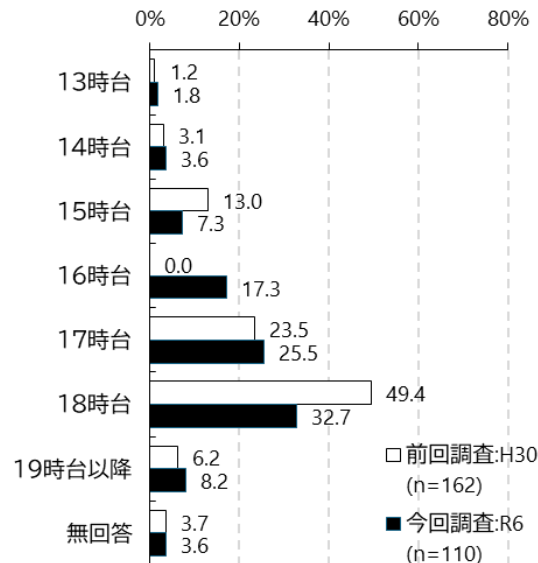
平日の定期的な教育・保育事業の
1日あたり利用希望時間



平日の定期的な教育・保育事業の
利用希望開始時間



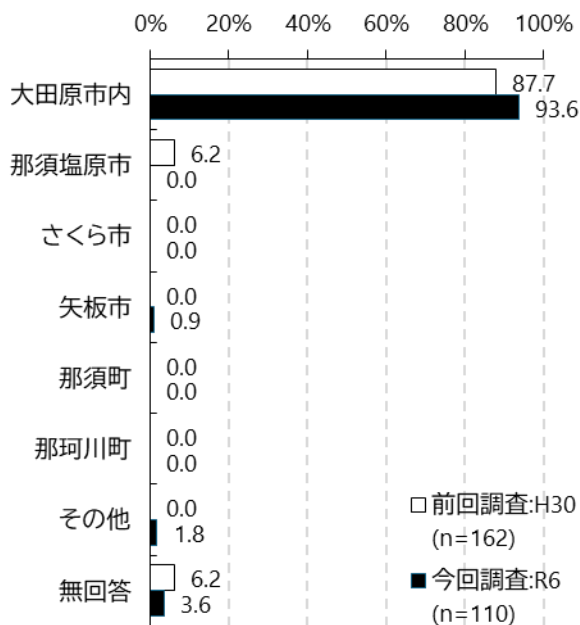
平日の定期的な教育・保育事業の
利用希望終了時間



問10-3 利用したい教育・保育の事業の実施場所はどちらですか。

教育・保育事業の希望の実施場所は「大田原市内」が93.6%と多くを占めています。

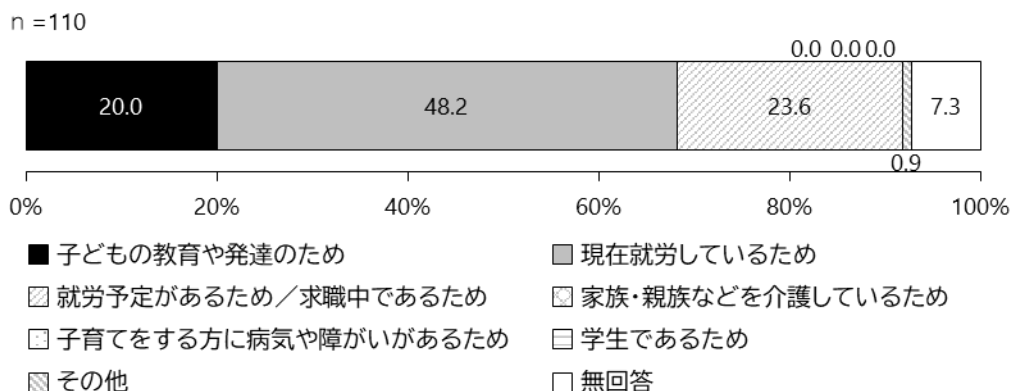
教育・保育事業の希望の実施場所



問10-4 平日に定期的な教育・保育の事業を利用したい理由は何ですか。

平日に定期的な教育・保育事業を利用したい理由は「現在就労しているため」が48.2%、「就労予定があるため／求職中であるため」が23.6%、「子どもの教育や発達のため」が20.0%となっています。

平日に定期的な教育・保育事業を利用したい理由

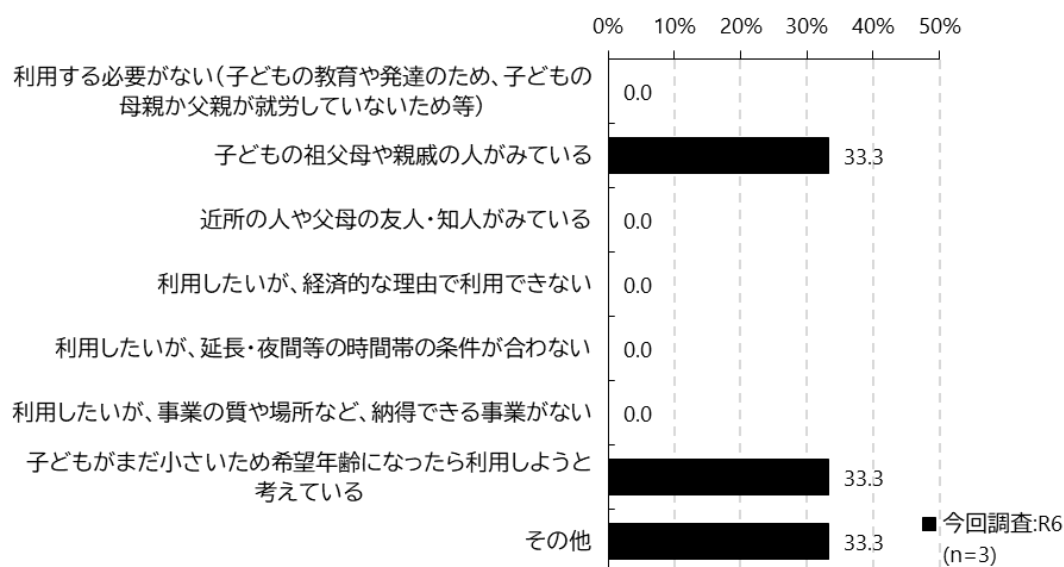


問10で「2. 思っていない」を選んだ方

問10-5 平日に定期的な教育・保育の事業を利用したいと思っていない主な理由は何ですか。

平日に定期的な教育・保育事業を利用したいと思っていない理由は3件中「子どもの祖父母や親戚の人がみている」、「子どもがまだ小さいため希望年齢くらいになったら利用しようと考えている」がともに1件となっています。

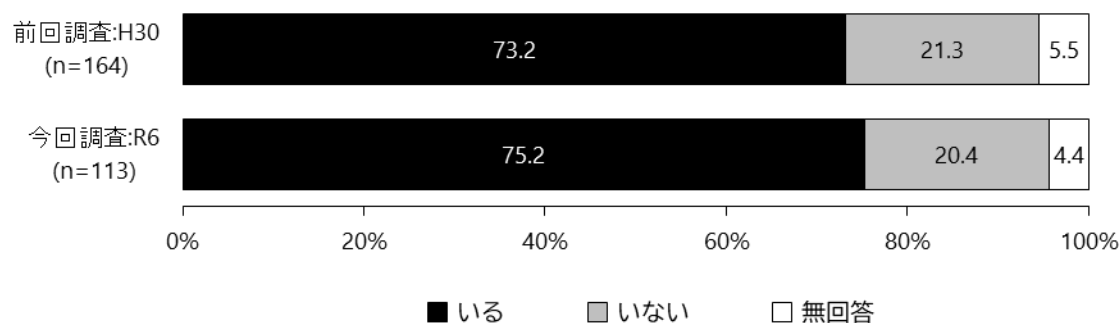
平日に定期的な教育・保育事業を利用したいと思っていない理由



問11 一時的に子どもを預かってくれる方はいますか。

一時的に子どもを預かってくれる人の有無は「いる」が75.2%、「いない」が20.4%となっています。

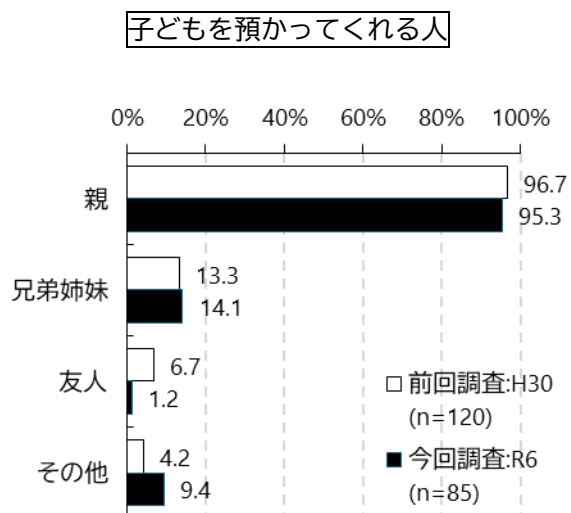
一時的に子どもを預かってくれる人の有無



問11で「1. いる」を選んだ方

問11-1 子どもを預かってくれる方はどなたですか。(複数回答)

子どもを預かってくれる人は「親」が95.3%と最も多く、次いで「兄弟姉妹」が14.1%となっています。また、「その他」は9.4%で、記述の内容は「義父母」が多くなっています。

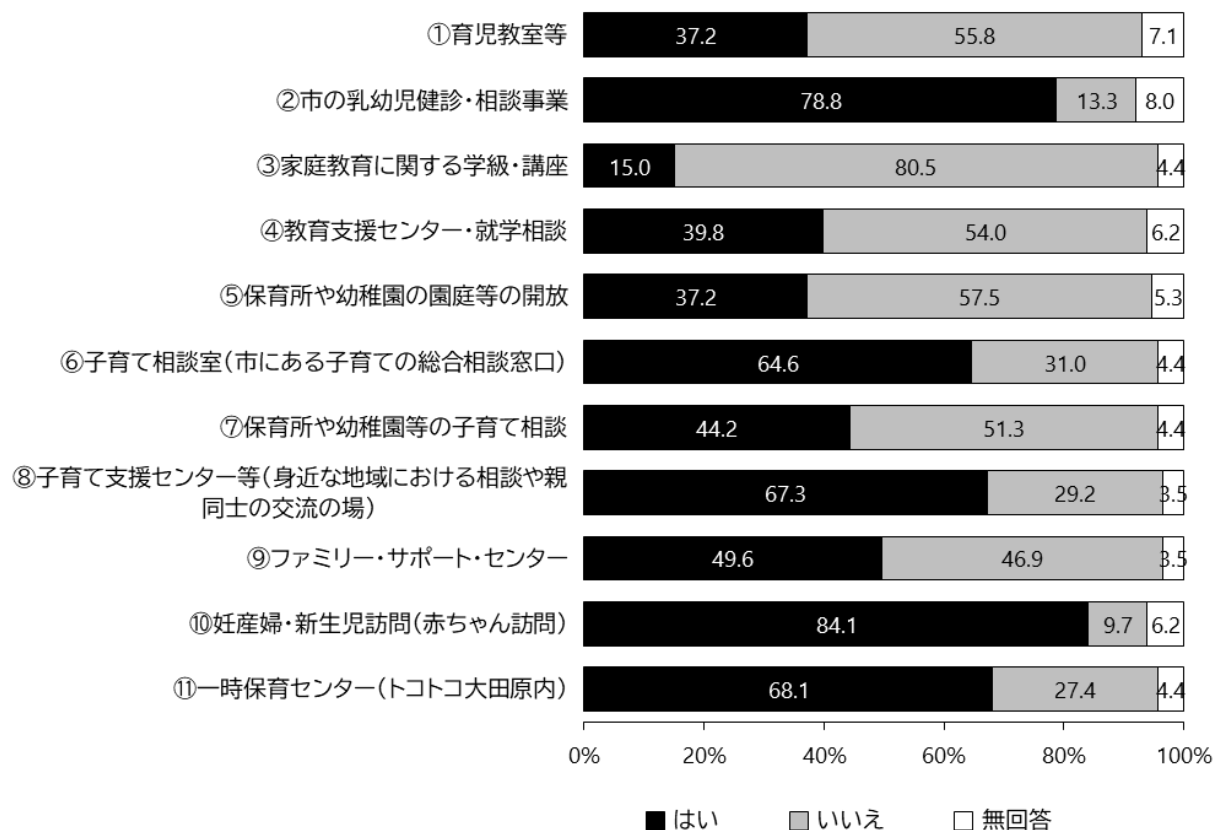


問12 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。

A 知っている

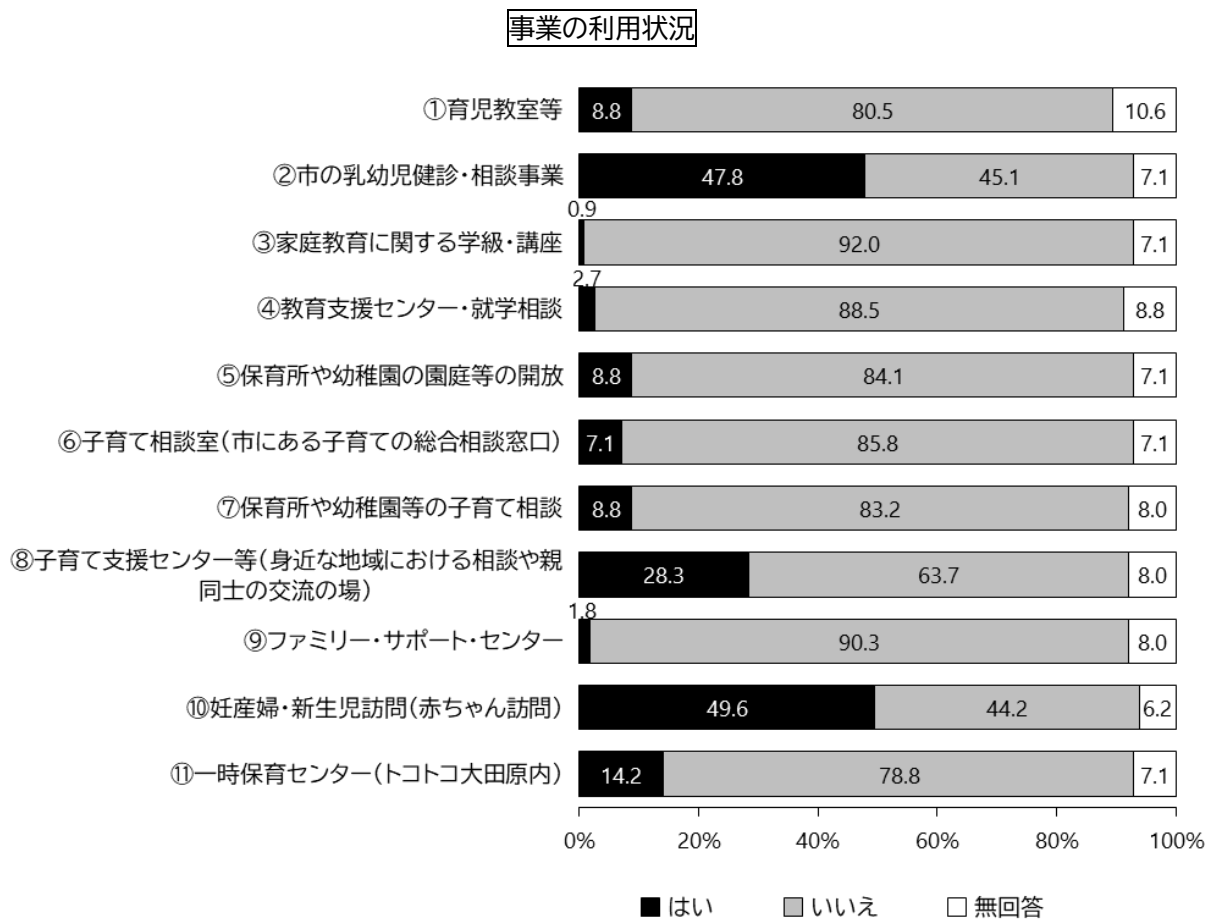
知っているかとの問いに「はい」と回答した人が「⑩妊産婦・新生児訪問（赤ちゃん訪問）」で84.1%、「②市の乳幼児健診・相談事業」で78.8%と多くなっています。

事業の認知度



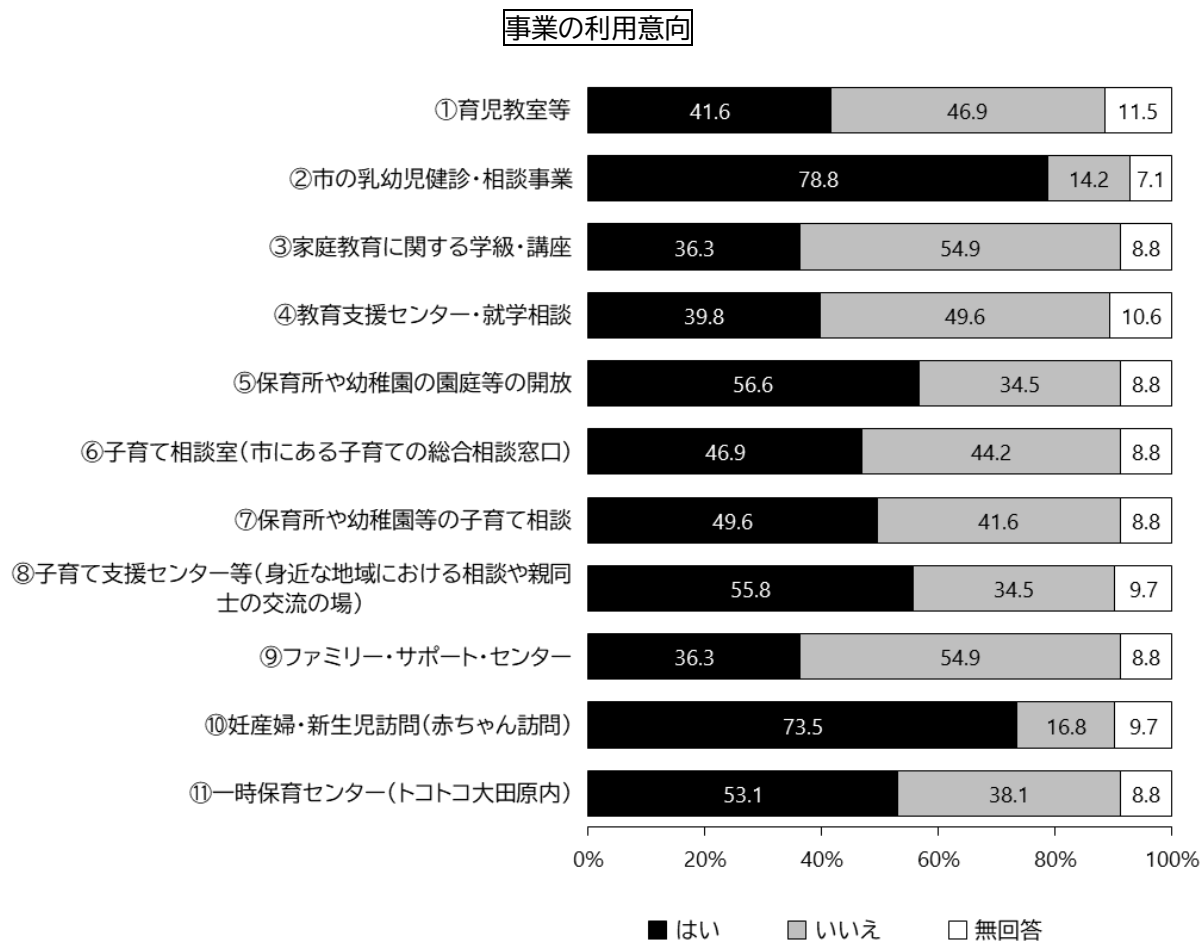
B これまでに利用したことがある

これまでに利用したことがあるかとの問いに「はい」と回答した人が「⑩妊産婦・新生児訪問（赤ちゃん訪問）」で49.6%、「②市の乳幼児健診・相談事業」で47.8%と多くなっています。



C 今後利用したい

今後利用したいかとの問いに「はい」と回答した人が「②市の乳幼児健診・相談事業」で 78.8%、「⑩妊産婦・新生児訪問（赤ちゃん訪問）」で 73.5%と多くなっています。

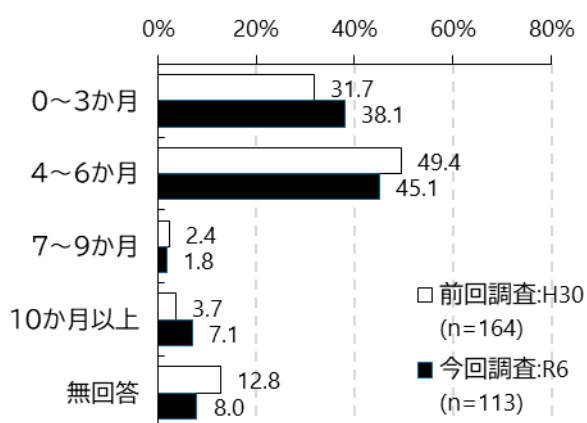


問13 地域子育て支援拠点事業及び母子保健事業について、お子さんが生後何か月から利用したいと思いますか。

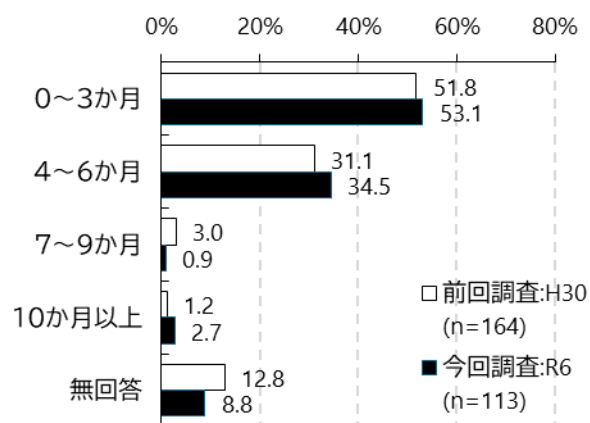
地域子育て支援拠点事業の利用希望時期は「4～6か月」が45.1%、「0～3か月」が38.1%となっています。

母子保健事業（乳幼児相談・教室）の利用希望時期は「0～3か月」が53.1%、「4～6か月」が34.5%となっています。

地域子育て支援拠点事業の利用希望時期

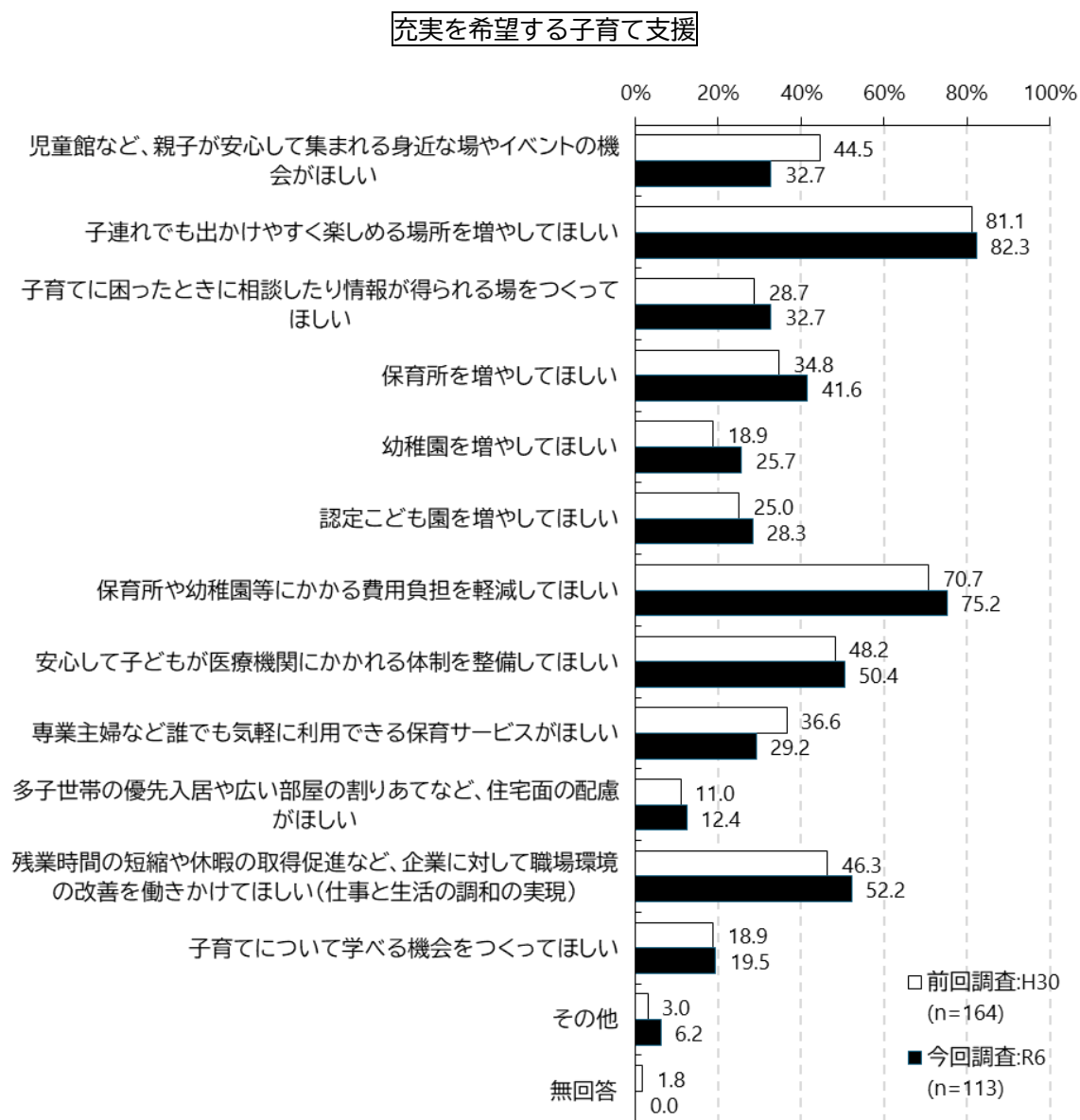


母子保健事業（乳幼児相談・教室）の利用希望時期



問14 行政に対して、今後どのような子育て支援の充実を図って欲しいと期待していますか。
(複数回答)

充実を希望する子育て支援は「子連れでも出かけやすく楽しめる場所を増やしてほしい」が82.3%と最も多く、次いで「保育所や幼稚園等にかかる費用負担を軽減してほしい」が75.2%、「残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい（仕事と生活の調和の実現）」が52.2%となっています。

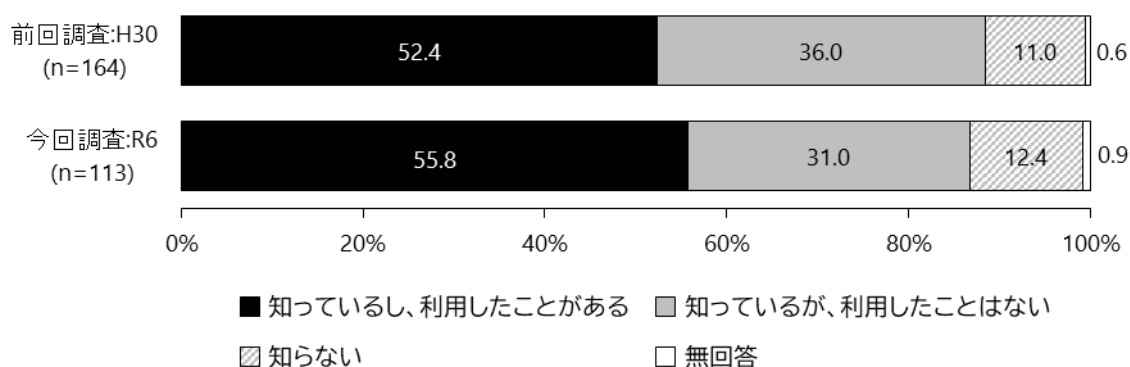


子育て情報について

問15 子ども未来館（トコトコ大田原）を知っていますか。

子ども未来館（トコトコ大田原）の認知度は「知っているし、利用したことがある」が 55.8%、「知っているが、利用したことはない」が 31.0%と合わせると、86.8%が『知っている』と回答しています。

子ども未来館（トコトコ大田原）の認知度

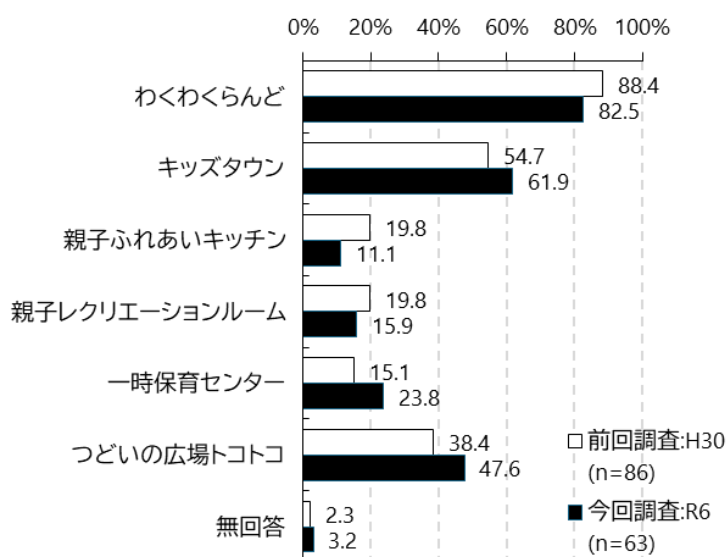


問 15 で「1. 知っているし、利用したことがある」を選んだ方

問15-1 子ども未来館では、様々な目的や用途に応じたスペースを用意していますが、利用している、または利用したことがあるスペースを教えてください。（複数回答）

子ども未来館で利用したスペースは「わくわくらんど」が 82.5%と最も多く、次いで「キッズタウン」が 61.9%、「つどいの広場トコトコ」が 47.6%となっています。

子ども未来館で利用したスペース

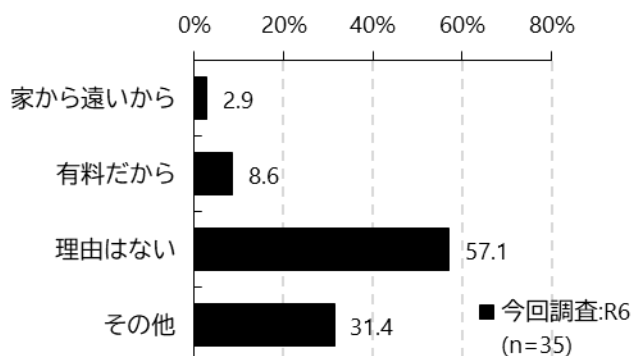


問 15 で「2. 知っているが、利用したことはない」を選んだ方

問15-2 利用したことがない理由を教えてください。（複数回答）

子ども未来館を利用したことがない理由は「理由はない」が 57.1%、「有料だから」が 8.6%、「家から遠いから」が 2.9%となっています。「その他」の記述内容は「生まれる前、生まれたばかりのため」、「子ども連れでないと行けないと思っていた」、「大きい子もいて危なく感じる」等となっています。

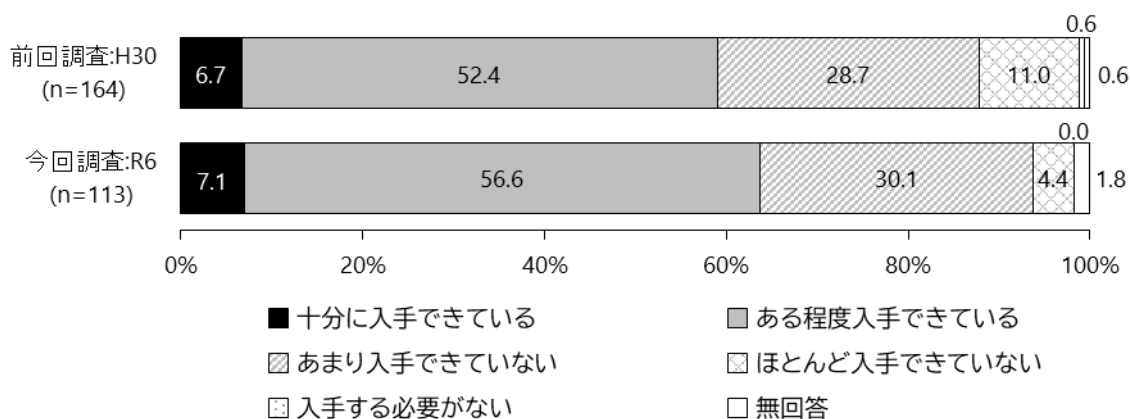
子ども未来館を利用したことがない理由



問16 子育てに関する情報をどの程度入手できていると感じていますか。

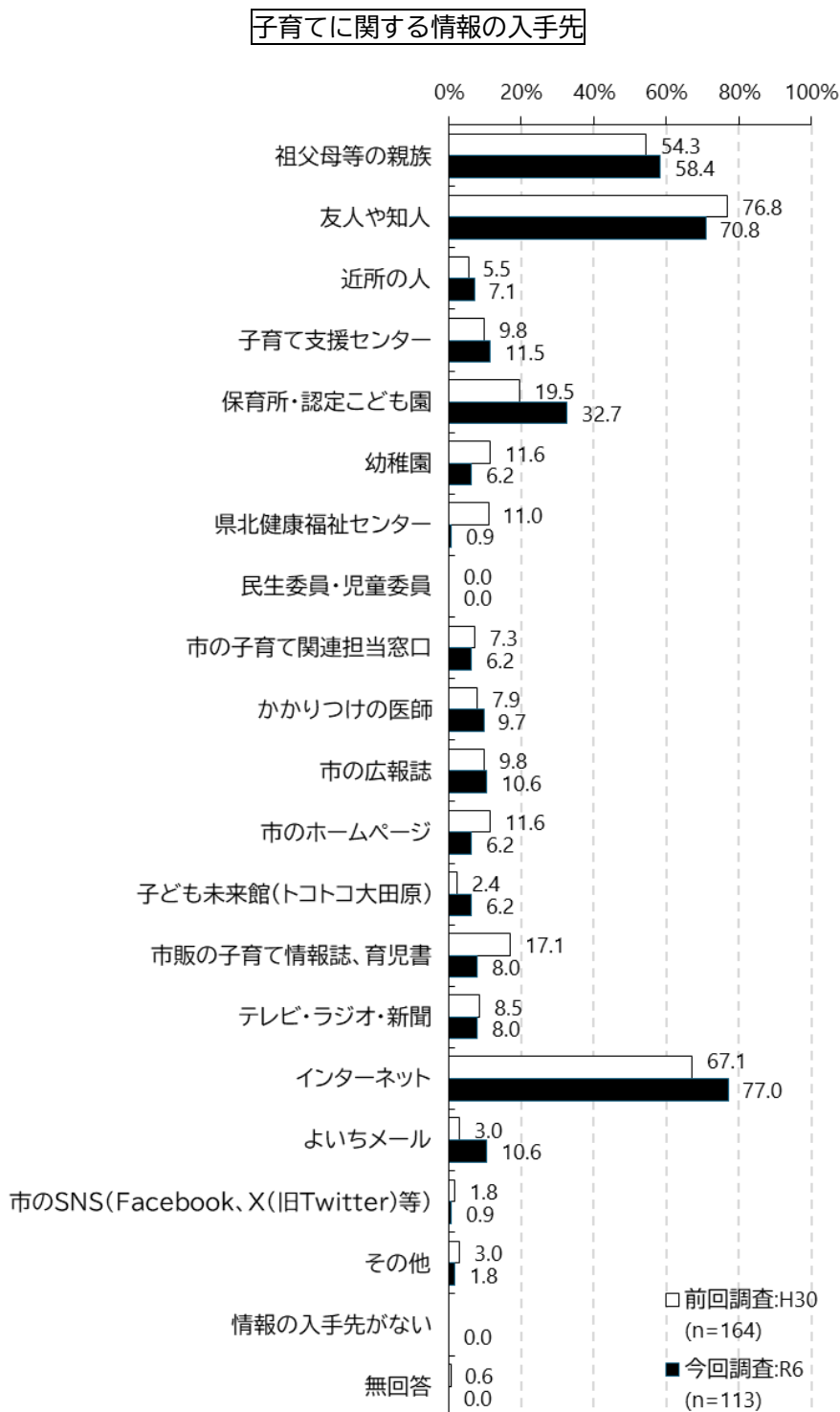
子育てに関する情報の入手状況は「十分に入手できている」が 7.1%、「ある程度入手できている」が 56.6%と合わせると、63.7%が『入手できている』と回答しています。

子育てに関する情報の入手状況



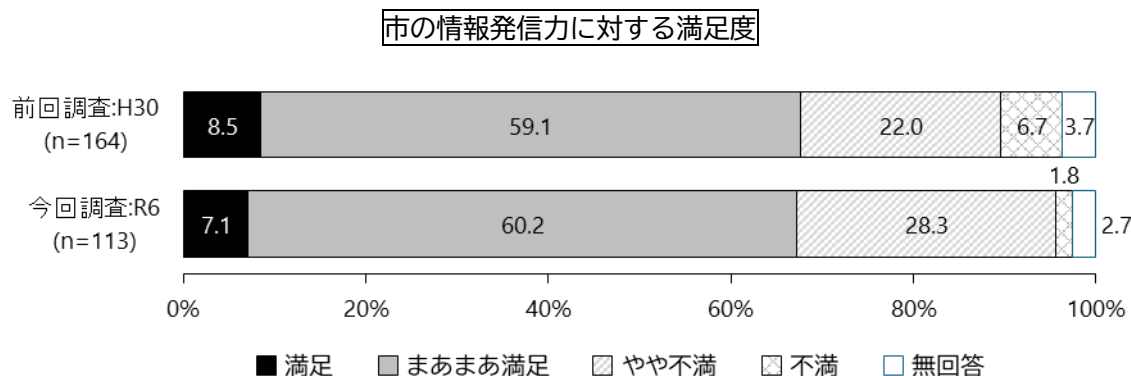
問17 子育てに関する情報は、どちらから入手していますか。(複数回答)

子育てに関する情報の入手先は「インターネット」が 77.0%と最も多く、次いで「友人や知人」が 70.8%、「祖父母等の親族」が 58.4%となっています。



問18 市の情報発信に対する満足度はいかがですか。

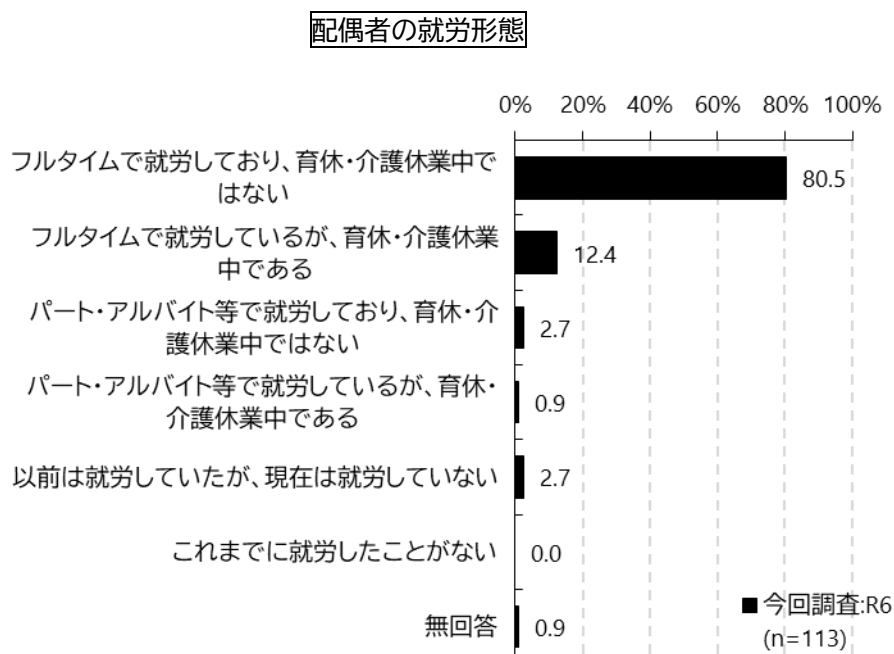
市の情報発信力に対する満足度は「満足」が 7.1%、「まあまあ満足」が 60.2%と合わせると、67.3%が『満足』と回答しています。



配偶者（パートナー）について

問 19 現在の就労形態（自営業、家族従業者含む）はどれにあたりますか。

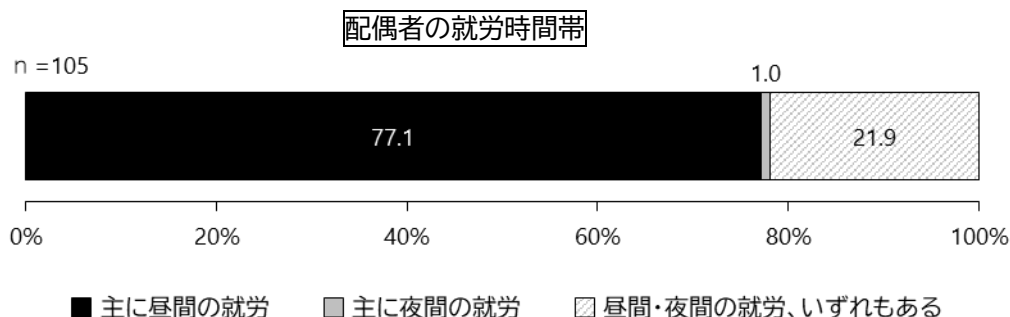
配偶者の就労形態は「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が 80.5%と多くなっています。



問 19 で「1. フルタイム（育休・介護休業中ではない）」「2. フルタイム（育休・介護休業中である）」を選んだ方

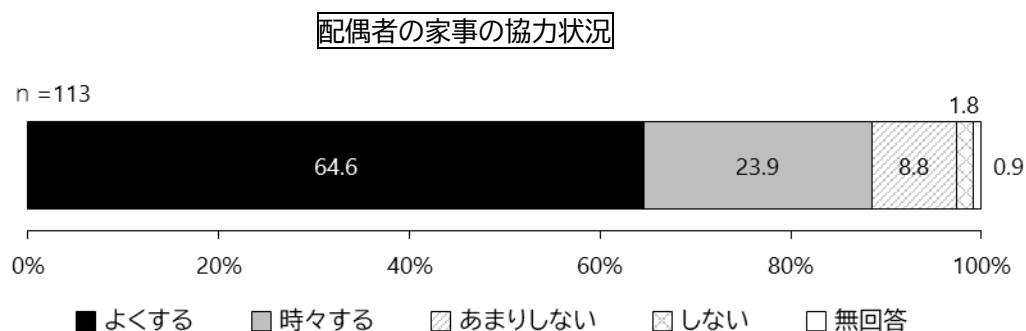
問 19－1 普段の就労時間帯について、最も多いパターンはどれにあたりますか。

配偶者の就労時間帯は「主に昼間の就労」が 77.1%、「昼間・夜間の就労、いずれもある」が 21.9%となっています。



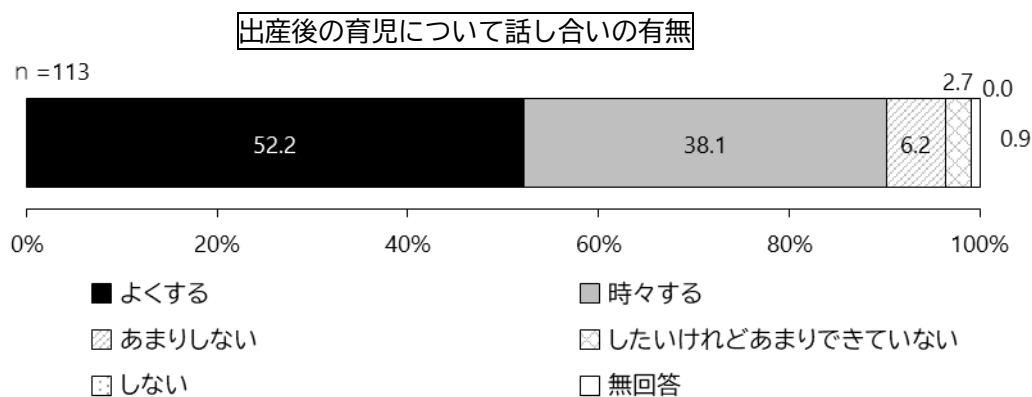
問 20 配偶者（パートナー）は掃除や洗濯などの家事について協力してくれますか。

配偶者の家事の協力状況は「よくする」が 64.6%、「時々する」が 23.9%と合わせると、88.5%が『する』と回答しています。



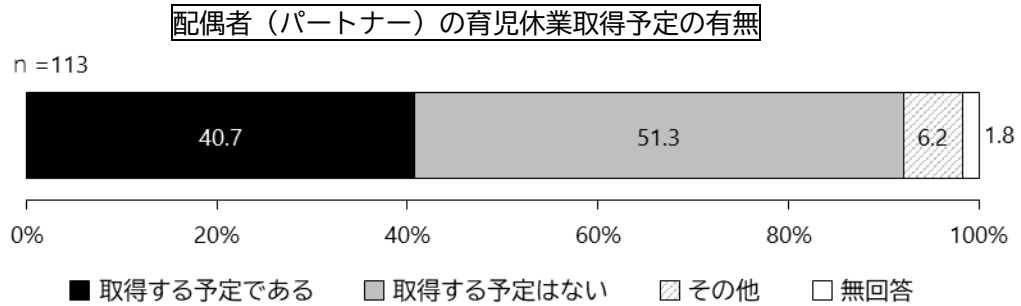
問 21 出産後の育児について配偶者（パートナー）と話し合うことはありますか。

出産後の育児について話し合いの有無は「よくする」が 52.2%、「時々する」が 38.1%と合わせると、90.3%が『する』と回答しています。「したいけれどあまりできていない」は 2.7%となっています。



問 22 配偶者（パートナー）は育児休業を取得する予定がありますか。

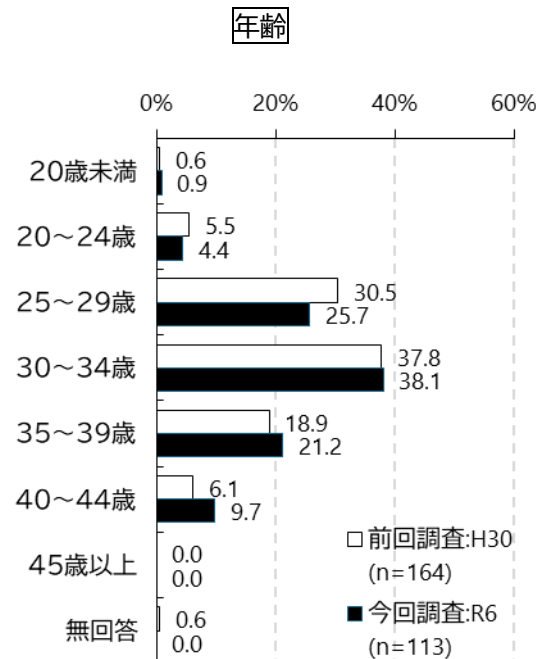
配偶者（パートナー）の育児休業取得予定の有無は「取得する予定である」が40.7%、「取得する予定はない」が51.3%となっています。



あなたご自身のことについて

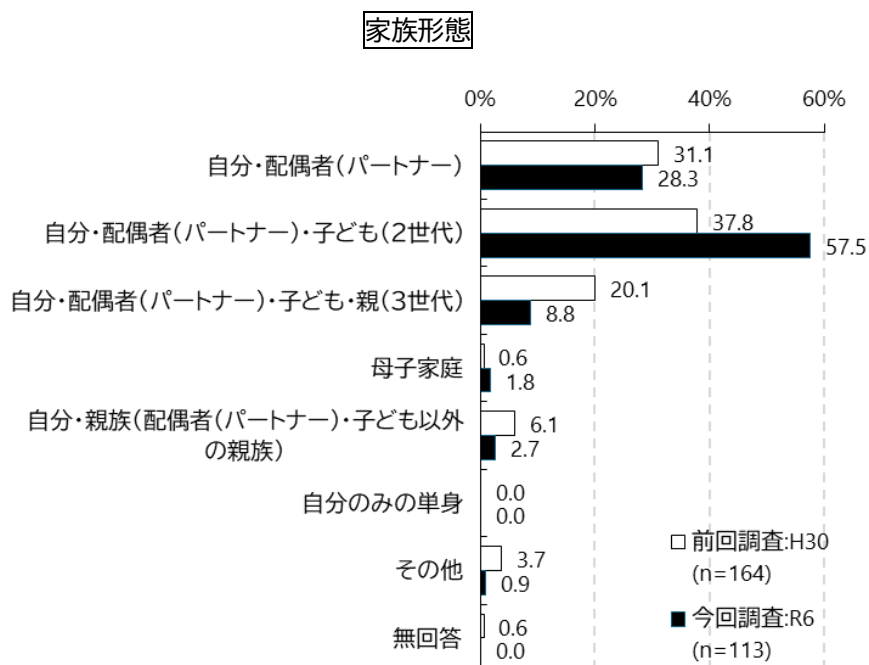
問 23 あなたの年齢は、何歳ですか。

年齢は「30～34 歳」が38.1%、「25～29 歳」が25.7%、「35～39 歳」が21.2%となっています。



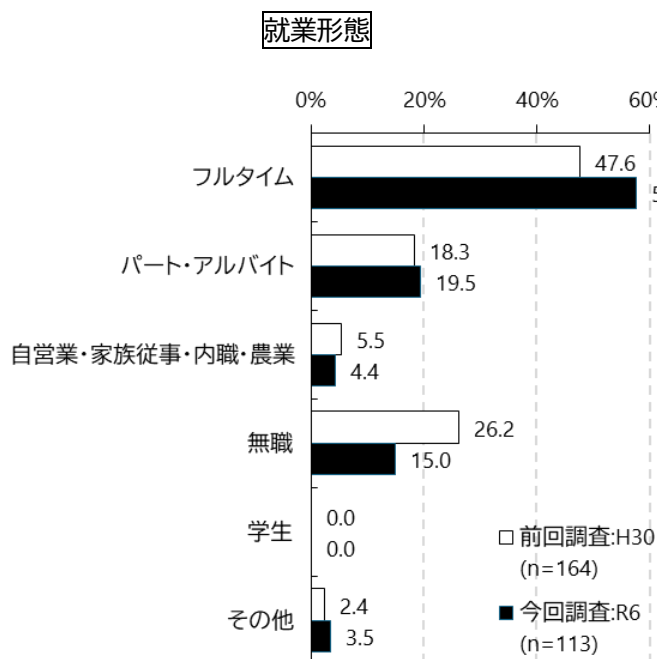
問 24 あなたの家族の形態は、どれにあたりますか。

家族形態は「自分・配偶者（パートナー）・子ども（2世代）」が57.5%、「自分・配偶者（パートナー）」が28.3%、「自分・配偶者（パートナー）・子ども・親（3世代）」が8.8%となっています。



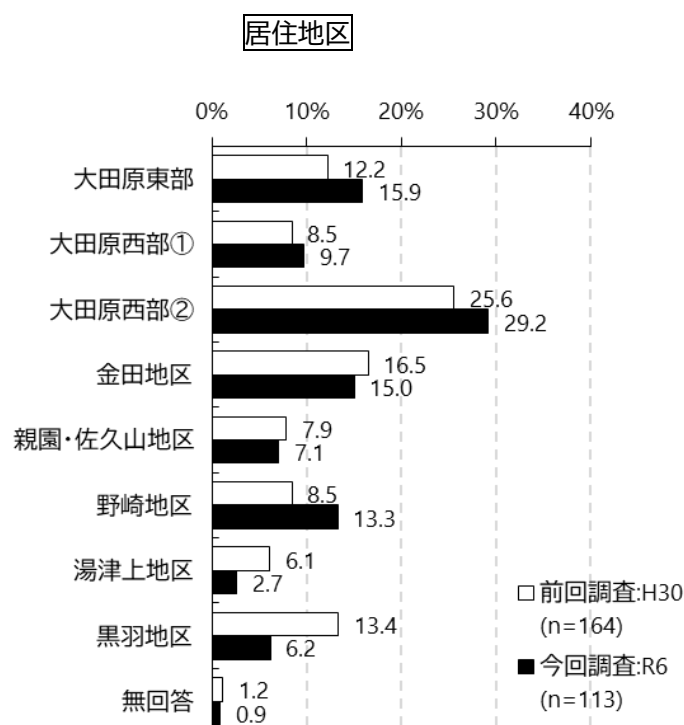
問 25 あなたの職業（就業形態）は何ですか。

就業形態は「フルタイム」が57.5%、「パート・アルバイト」が19.5%、「無職」が15.0%となっています。



問 26 お住まいの地区はどちらですか。

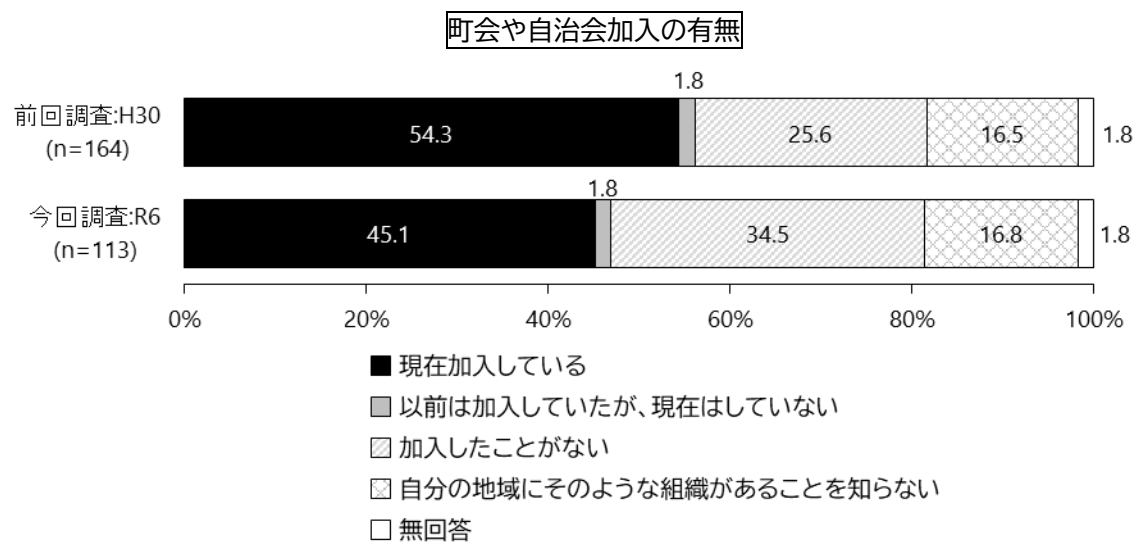
居住地区は「大田原西部②」が 29.2%、「大田原東部」が 15.9%、「金田地区」が 15.0%となっています。



選択肢	行政区
1. 大田原東部	山の手、城山、元町、新富町、中央1丁目、若松町、富士見、若草
2. 大田原西部①	中央2丁目、住吉町、紫塚、本町
3. 大田原西部②	末広、美原、浅香、加治屋
4. 金田地区	中田原、町島、荒井、岡、今泉、戸野内、富池、市野沢、練貫、羽田、乙連沢、小滝、北金丸、南金丸、上奥沢、奥沢、鹿畑、倉骨、赤瀬、北大和久
5. 親園・佐久山地区	親園、実取、滝沢、滝岡、花園、宇田川、荻野目、佐久山、藤沢、大神、福原
6. 野崎地区	上石上、下石上、薄葉、平沢、野崎
7. 湯津上地区	狭原、小船渡、湯津上、佐良土、蛭畑、蛭田、新宿、片府田
8. 黒羽地区	黒羽田町、前田、堀之内、北野上、八塩、北滝、片田、亀久、矢倉、黒羽向町、大豆田、余瀬、蜂巢、桧木沢、寒井、中野内、河原、両郷、寺宿、木佐美、大久保、久野又、大輪、川田、須佐木、須賀川、雲岩寺、川上、南方

問 27 あなたのご家庭は、町会や自治会に加入していますか。

町会や自治会加入の有無は「現在加入している」が 45.1%、「加入したことがない」が 34.5%、「自分の地域にそのような組織があることを知らない」が 16.8%となっています。



問28 最後に、教育・保育事業の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。(自由記述)

意見欄に記入があったのは24件で主な意見は以下のとおりです。

- ・子育てにはとてもお金がかかります。金銭面での補助をぜひお願いします。
- ・平日はまだいいが、休日は雨の日や天気の激しい日（暑すぎる、寒すぎる、風が強すぎる）等、外遊びが難しいときに、子どもを遊ばせる場所がほとんどない。外遊びできない日に、室内で遊ばせられるような場所がほしい。
- ・他の市町村から大田原市に引っ越したばかりのため、色々とサービスがあっても知らないことが多いです。転入者への情報発信がほしいです。
- ・初めての妊娠で不明なこと（手続き等）があった際、ご丁寧に対応していただき感謝しております。今後子育てをしていく中で、不明なことや心配なことがあったらご相談させていただきます。
- ・保育園の充実（保育士の数を増やすなど）に、より力を入れてほしい。市外への転居も考える必要が出てくるので。
- ・保育料の負担が大きく子どもがほしくても2人が限界と思い、今回の出産（2人目）を最後にしようと考えているところです。1人目の出産のときも無職から仕事復帰したくても保育先が見つからずなかなか働けませんでした。保育料の負担軽減（2人目からは保育料を無料にしてほしいです）と休職中でも保育園に入りやすくしてほしいです。あと、第二子は必ず第一子と同じ保育園に入れるようにしてほしいです。2人目が保育園に入れなかったら、また仕事を辞めなくてはいけないのか…と不安な毎日です。
- ・パート時間が少ないため、一時保育を利用したいのですが、9:00～しかやっていただけるところが少なく（あるにはあるのですが…）、9:00では間に合いません。トコトコ大田原などは、もう少し早めに開いていただけると助かります。子どもが多く、家を広くしたいと思っても固定資産税が高すぎます。
- ・妊婦健診を全額負担してほしい。産育休中の収入の低下を改善してほしい。現在は保育園の場合3歳になったとしても保育料が次年度まで無償化にはならず、幼稚園の場合は無償化となっている。保育園、幼稚園関係なく、3歳になった時点で無償化にしてほしい。不公平だと思う。小学1年生になったときの下校後に面倒をみてもらえる施設を増やしてほしい。

大田原市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
結果報告書

発行年月：令和6年9月

発行：大田原市

編集：大田原市 保健福祉部 保育課 保育係

〒324-8641 大田原市本町1丁目4番1号

電話番号：0287-23-8769 FAX：0287-23-7632